

## 〔4〕 写真管理基準

## 〔4〕 写真管理基準

## 目 次

写真管理基準	
適用範囲	4-2
工事写真の分類	4-2
工事写真の撮影基準	4-2
情報化施工及び3次元データによる施工管理	4-2
写真の省略	4-3
写真の色彩	4-3
写真の大きさ	4-3
工事写真帳の大きさ	4-3
工事写真の提出部数及び形式	4-3
工事写真の整理方法	4-4
留意事項等	4-4
電子小黑板化	4-4
その他	4-5
撮影箇所一覧表	4-6
品質管理写真撮影箇所一覧表	4-8
出来形管理写真撮影箇所一覧表	4-16
第1編 共通編	4-16
第3編 土木工事共通編	4-17
第4編 港湾・水産編	4-22
第5編 農林土木編	4-22
第6編 河川編	4-23
第7編 河川海岸編	4-31
第8編 砂防編	4-33
第9編 ダム編	( 主 管 課 協 議 )
第10編 道路編	4-36
第11編 公園緑地編	4-46
第12編 下水道編	4-46
第13編 上水道編	4-47
その他	4-47

## 〔 4 〕 写真管理基準

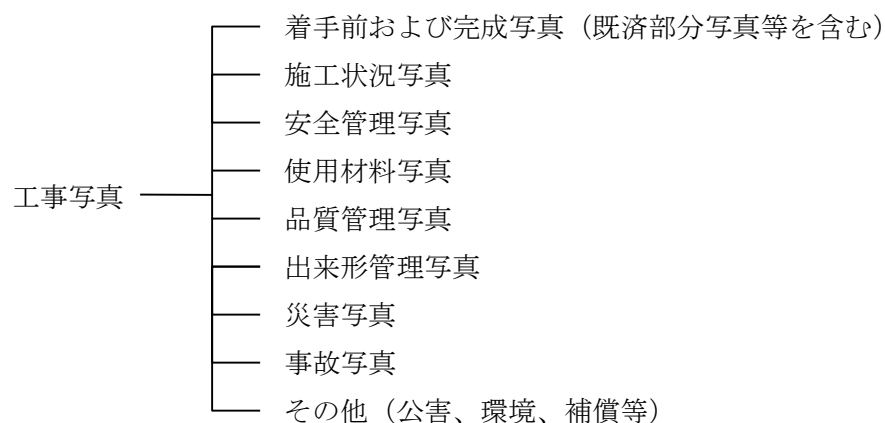
(適用範囲)

1. この写真管理基準は、土木工事施工管理基準に定める土木工事の工事写真（電子媒体によるものを含む）の撮影に適用する。

また、写真を映像と読み替えることも可とする。

(工事写真の分類)

2. 工事写真は次のように分類する。



(工事写真の撮影基準)

3. 工事写真の撮影は以下の要領で行う。

## (1) 撮影頻度

工事写真の撮影頻度は別紙撮影箇所一覧表に示すものとする。

## (2) 撮影方法

写真撮影にあたっては、次の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- ① 工 事 名
- ② 工 種 等
- ③ 測点（位置）
- ④ 設 計 寸 法
- ⑤ 実 測 寸 法
- ⑥ 略 図

小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。

また、特殊な場合で監督員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

(情報化施工及び3次元データによる施工管理)

4. 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「空中写真測量（無人航空機）を用

#### 4 写真管理基準

いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「T S 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「T S（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

また、「T S・G N S Sを用いた盛土の締固め管理要領」による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

（写真の省略）

5. 工事写真は次の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- (3) 監督員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略するものとする。

（写真の色彩）

6. 写真はカラーとする。

（写真の大きさ）

7. 写真の大きさはサービスサイズ程度とする。ただし、監督員が指示するものはその指示した大きさとする。

（撮影の仕様）

8. 写真のサイズは以下のとおりとする。

- (1) 有効画素数は小黒板の文字が判読できることを指標とする。

（100万画素程度～300万画素程度＝1,200×900程度～2,000×1,500程度）

映像と読み替える場合は、以下も追加する。

- (2) 夜間など通常のカメラによる撮影が困難な場合は、赤外線カメラを用いる等確認可能な方法で撮影する。
- (3) フレームレートは、実速度で撮影する場合は、30fps程度を基本とする。高倍速での視聴を目的とする場合は、監督員と協議の上、撮影時に必要な間隔でタイムラプス映像を撮影することができる。

（工事写真帳の大きさ）

9. 工事写真帳は、4切版のフリーアルバムまたはA4版とする。

（工事写真の提出部数及び形式）

10. 工事写真の提出部数及び形式は次によるものとする。

- (1) 工事写真としては、工事写真帳を工事完成時に1部提出する。
- (2) 電子納品については、「電子納品の手引き（土木工事編）」による。

（工事写真の整理方法）

1 1. 工事写真の整理方法は次によるものとする。

- (1) フィルムカメラで撮影した場合は、写真をL版に現像した後にA4版に整理して提出する。また、デジタルカメラで撮影した場合は、写真ファイルをL版に印刷した後、A4版に整理して提出する。若しくは写真ファイルを写真管理ソフトウェア等で工事アルバムの形式に編集し、説明を余白に加えた後に、A4版で紙にプリントアウトして提出する。なお、その場合は「両面印刷」を原則とし、両面に印刷した結果、紙面が滲むなどの理由により写真の視認性が著しく悪化する場合に限り、片面による印刷も認めるものとする。
- (2) 工事写真帳の整理については、工種毎に別紙撮影箇所一覧表の提出頻度に示すものを標準とする。

なお、提出頻度とは受注者が撮影頻度に基づき撮影した工事写真のうち、工事写真帳として貼付整理し提出する枚数を示したものである。

（留意事項等）

1 2. 別紙撮影箇所一覧表の適用について、次の事項を留意するものとする。

- (1) 撮影項目、撮影頻度等が工事内容に合致しない場合は、監督員の指示により追加、削減するものとする。
- (2) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (3) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図等を工事写真帳に添付する。
- (4) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督員と写真管理項目を協議のうえ取り扱いを定めるものとする。

（小黑板情報電子化）

1 3. デジタル工事写真の小黑板情報電子化については、次のとおりとする。

(1) 目的

工事写真の小黑板情報電子化は、受注者の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黑板の記載情報の電子的記入及び工事写真の信憑性確認を行うことが可能であり、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図ることができるものである。

(2) 必要な機器の導入

- ① 受注者は、工事着手前に監督員へ小黑板情報電子化の実施を選定する旨及び本工事での使用機器について申し出、書面による承諾を得るものとする。
- ② 導入に必要な機器・ソフトウェア等は、受注者にて調達する。調達する機器・ソフトウェア等については、工事に必要な事項を記載した小黑板の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載している技術を使用していること。

- ③ 使用機器の事例として、URL「<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>」記載の「デジタル工事写真の黒板情報電子化対応ソフトウェア」を参照できる。ただし、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。
- ④ 導入に必要な機器・ソフトウェア等の選定は、受注者が選定するものとする。
- ⑤ 機器・ソフトウェア等の導入に係る費用は、土木工事・プラント工事については技術管理費、建築工事・建築付帯設備工事については現場管理費に含まれるものとする。機器・ソフトウェア等の導入に係る費用とは、黒板情報電子化の実施に必要な機器・ソフトウェア、チェックシステム(信憑性)チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトの機器経費及び電算使用料等を指す。

(3) 工事写真における黒板情報の電子的記入の取り扱いについて

- ① 受注者は、上記2の機器を用いて工事写真における黒板情報の電子的記入をする場合は、同時に黒板情報の電子画像を記録するものとする。(黒板情報の電子画像を後で貼り付けてはならない)
- ② 黒板情報の電子的記入は「平成27年6月11日 事務連絡 工事写真の取り扱いについて(通知) - 2①」の工事写真の修正・編集には該当しない。また、同通知 - 2②に認める以外の画像の合成・回転・部分修正等の加工は禁止する。
- ③ 黒板情報の電子画像の記載事項に不足があり補足説明が必要な場合又は内容に誤記が生じた場合は、写真台紙等の記事欄に補足説明又は誤記訂正等の記入を行うこと。

(4) 黒板情報電子化を行った写真の整理・納品

- ① 受注者は上記3に示す黒板情報の電子的記入を行った写真を工事完成時に監督員へ納品すること。
- ② 受注者は納品時に URL「<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>」のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、黒板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督員へ報告すること。
- ③ 監督員は、提出された信憑性確認結果に疑義がある場合は、受注者に対しデジタル工事写真の原本の提出を求め、チェックシステム(信憑性チェックツール)を用いて信憑性の確認を行う。

(その他)

1.4. 用語の定義

- (1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所とその仕様が確認できる箇所をいう。
- (2) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。
- (3) 提出頻度の不要とは、工事写真帳として貼付整理し提出する必要がないことをいう。

## 撮影箇所一覧表

[注意事項] 本撮影箇所一覧表の撮影項目及び撮影頻度は標準を示したものであるから、工事内容により必要に応じて増減することができる。  
品質管理写真のうち試験場持ち込み分については、不要である。

区分		写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
着手前・完成	着手前	全景又は代表部分写真	着手前1回 [着手前]	着手前1枚	
	完成	全景又は代表部分写真	施工完了後1回 [完成後]	施工完了後1枚	
施工状況	工事施工中	全景又は代表部分の工事進捗状況	月1回 [月末]	全景1枚	
		施工中の写真	工種、種別毎に設計図書、施工計画書に従い施工していることが確認できるように適宜 [施工中]	全景1枚	
			高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜 [施工中]	適宜	高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況の提出資料に添付
	仮設(指定仮設)	使用材料、仮設状況、形状寸法	1施工箇所に1回 [施工前後]	代表箇所1枚	
図面との不一致	図面と現地との不一致の写真	必要に応じて [発生時]	適宜	工事打合簿に添付する。	
		ただし、「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による場合は、撮影毎に1回 [発生時]	ただし、「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による場合は、写真測量に使用したすべての画像(ICONフォルダに格納)		
		ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による場合は、計測毎に1回 [発生時]	ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による場合は、代表箇所各1枚		

安全管理	安全管理	各種標識類の設置状況	各種類毎に1回〔設置後〕	全景1枚	
		各種保安施設の設置状況	各種類毎に1回〔設置後〕		
		監視員交通整理状況	各1回〔作業中〕		
		安全訓練等の実施状況	実施毎に1回〔実施中〕	実施毎1枚	安全訓練等の活動報告書に添付する。
使用材料	使用材料	形状寸法 使用数量 保管状況	各品目毎に1回〔使用前〕	適宜 (不可視となる 重要構造物は 必須)	品質証明に添付する。
		品質証明 (JISマーク表示)	各品目毎に1回		
		検査実施状況	各品目毎に1回〔検査時〕		
品質管理	別添 品質管理写真撮影箇所一覧表に準じて撮影				
	不可視部分の施工	適宜	適宜		
出来形管理	別添 出来形管理写真撮影箇所一覧表に準じて撮影				
	不可視部分の施工	適宜	適宜		
	出来形管理基準が定められていない	監督員と協議事項			
災害	被災報告	被災状況及び 被災規模等	その都度 〔可能な場合、被災前及び被災中〕 〔被災直後〕 〔被災後〕	適宜	発生前は付近の写真でも可
事故	事故報告	事故の状況	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	適宜	発生前は付近の写真でも可
補償関係外	補償関係	被害又は損害状況等	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	適宜	
	環境対策 イメージアツプ等	各施設設置状況	各種毎1回〔設置後〕	適宜	



品質管理写真撮影箇所一覧表

品質管理写真のうち試験場持ち込み分については、不要である。

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
1	セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く) (施工)	塩化物総量規制	コンクリートの種類毎に1回 〔試験実施中〕	実施毎各1枚	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの
		スランブ試験			
		コンクリートの圧縮強度試験			
		空気量測定	品質に変化が見られた場合 〔試験実施中〕		コンクリート舗装の場合適用
		コンクリートの曲げ強度試験	コンクリートの種類毎に1回 〔試験実施中〕		
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕		
	コンクリートの洗い分析試験				
	セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く) (施工後試験)	ひび割れ調査	対象構造物毎に1回 〔試験実施中〕		
		テストハンマーによる強度推定調査			
		コアによる強度試験	テストハンマー試験により必要が認められた時 〔試験実施中〕		
2	ガス圧接	外観検査	検査毎に1回 〔検査実施中〕	代表箇所各1枚	
		超音波探傷検査			
3	既成杭工	外観検査	検査毎に1回 〔検査実施中〕	代表箇所各1枚	
		浸透探傷試験	試験毎に1回 〔試験実施中〕		
		放射線透過試験			
		超音波探傷試験			
		水セメント比試験			
		セメントミルクの圧縮強度試験			
4	下層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚	
		ブルフローリング	路盤毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		平板載荷試験	各種路盤毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚	
		骨材のふるい分け試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕	不要	
		土の液性限界・塑性限界試験			
		含水比試験			
5	上層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚	
		粒度			
		平板載荷試験			
		土の液性限界・塑性限界試験	観察により異常が認められた場合 〔試験実施中〕	不要	
		含水比試験			

## 品質管理写真撮影箇所一覧表

品質管理写真のうち試験場持ち込み分については、不要である。

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
6	アスファルト安定処理路盤	アスファルト舗装に準拠			
7	セメント安定処理路盤(施工)	粒度	各種路盤毎に1回〔試験実施中〕	代表箇所各1枚	
		現場密度の測定			
		含水比試験	観察により異常が認められた場合〔試験実施中〕		
		セメント量試験	品質に異常が認められた場合〔試験実施中〕		
8	アスファルト舗装(プラント)	粒度	合材の種類毎に1回〔試験実施中〕	代表箇所各1枚	
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
		温度測定			
	アスファルト舗装(舗設現場)	現場密度の測定	合材の種類毎に1回〔試験実施中〕	不要	代表箇所各1枚
		温度測定		代表箇所各1枚	
		外観検査			
		すべり抵抗試験		不要	
	9	転圧コンクリート(施工)	コンシステンシーVC試験	コンクリートの種類毎に1回〔試験実施中〕	代表箇所各1枚
マーシャル突き固め試験					
ランマー突き固め試験					
コンクリートの曲げ強度試験					
温度測定(コンクリート)			コンクリートの種類毎に1回〔温度測定中〕		
現場密度の測定			コンクリートの種類毎に1回〔試験実施中〕		
コアによる密度測定					
10	グースアスファルト舗装(プラント)	貫入試験40℃	合材の種類毎に1回〔試験実施中〕	代表箇所各1枚	
		リュエル流動性試験240℃			
		ホイールトラッキング試験			
		曲げ試験			
		粒度			
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
		温度測定			
	グースアスファルト舗装(舗設現場)	温度測定	合材の種類毎に1回〔試験実施中〕		

品質管理写真撮影箇所一覧表

品質管理写真のうち試験場持ち込み分については、不要である。

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11	路床安定処理工	現場密度の測定	路床または施工箇所毎に1回 〔試験実施中〕 ただし、「T S・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する	代表箇所各1枚	
		ブルーフローリング	路床毎に1回 〔試験実施中〕		
		平板載荷試験			
		現場CBR試験			
		含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 〔試験実施中〕		
	たわみ量	ブルーフローリングの不良箇所について実施 〔試験実施中〕			
12	表層安定処理工 (表層混合処理)	含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚	
		現場密度の測定	材質毎に1回 〔試験実施中〕 ただし、「T S・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する		
		ブルーフローリング	工種毎に1回 〔試験実施中〕		
		平板載荷試験	材質毎に1回 〔試験実施中〕		
		現場CBR試験			
	たわみ量	ブルーフローリングの不良箇所について実施 〔試験実施中〕			
13	固結工	土の一軸圧縮試験	材質毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚	
14	アンカー工	モルタルのフロー値試験	適宜 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚	
		モルタルの圧縮強度試験			
		多サイクル確認試験			
		1サイクル確認試験			
15	補強土壁工	現場密度の測定	土質毎に1回 〔試験実施中〕 ただし、「T S・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する	代表箇所各1枚	

品質管理写真撮影箇所一覧表

品質管理写真のうち試験場持ち込み分については、不要である。

番号	工種	写真管理項目			概要	
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度		
16	吹付工(施工)	塩化物総量規制	配合毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚		
		コンクリートの圧縮強度試験				
		スランブ試験	品質に変化がみられた場合 〔試験実施中〕			モルタルを除く
		空気量測定				
	コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕				
17	現場吹付法砕工	コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚	モルタルを除く	
		塩化物総量規制				
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕			
		スランブ試験	品質に変化がみられた場合 〔試験実施中〕			
		空気量測定				
		ロックボルトの引抜き試験	試験毎に1回 〔試験実施中〕			
18	河川・海岸土工 (施工)	現場密度の測定	土質毎に1回 〔試験実施中〕 ただし、「T S・GNSSを 用いた盛土の締固め管理要領」 による場合は、写真管理を省略 する	代表箇所各1枚		
		土の含水比試験				含水比に変化が認められた場合 〔試験実施中〕
		コーン指数の測定				トラフィカビリティが悪い場合 〔試験実施中〕
19	砂防土工	現場密度の測定	土質毎に1回 〔試験実施中〕 ただし、「T S・GNSSを 用いた盛土の締固め管理要領」 による場合は、写真管理を省略 する	代表箇所各1枚		
20	道路土工 (施工)	現場密度の測定	土質毎に1回 〔試験実施中〕 ただし、「T S・GNSSを 用いた盛土の締固め管理要領」 による場合は、写真管理を省略 する	代表箇所各1枚		
		ブルーフローリング				工種毎に1回 〔試験実施中〕
		平板載荷試験				土質毎に1回 〔試験実施中〕
		現場CBR試験				
		含水比試験				降雨後又は含水比の変化が認め られた場合〔試験実施中〕
		コーン指数の測定				トラフィカビリティが悪い場合 〔試験実施中〕
		たわみ量				ブルーフローリングの不良箇所 について実施〔試験実施中〕

品質管理写真撮影箇所一覧表

品質管理写真のうち試験場持ち込み分については、不要である。

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
21	捨石工	岩石の見掛比重	産地又は岩質毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚	
		岩石の吸水率			
		岩石の圧縮強さ			
		岩石の形状			
22	コンクリートダム (材料)	主管課と協議するものとする。			
	コンクリートダム (施工)	主管課と協議するものとする。			
23	覆工コンクリート (NATM)	スランプ試験	品質に変化が認められた場合 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚	
		コンクリートの圧縮強度試験			
		塩化物総量規制	配合毎に1回 〔試験実施中〕		
		空気量測定			
		コアによる強度試験	品質に変化が認められた場合 〔試験実施中〕		
		コンクリートの洗い分析試験			
24	吹付けコンクリート (NATM)	塩化物総量規制	配合毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚	圧縮強度試験に 使用したコンクリートの 供試体が、当該現場の 供試体であることが 確認できるもの
		コンクリートの圧縮強度試験			
		スランプ試験	品質に変化が認められた場合 〔試験実施中〕		
		空気量測定			
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕		
		吹付けコンクリートの初期強度			トンネル延長40mごとに1回
		25	ロックボルト (NATM)		モルタルの圧縮強度試験
モルタルのフロー値試験					
ロックボルトの引抜き試験	適宜				
26	路上再生路盤工 (材料)	修正CBR試験	材料毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚	
		土の粒度試験			
		土の含水比試験			
		土の液性限界・塑性限界試験			
	路上再生路盤工 (施工)	現場密度の測定	材料毎に1回 〔試験実施中〕		
		土の一軸圧縮試験			
		CAEの一軸圧縮試験			
		含水比試験			

## 品質管理写真撮影箇所一覧表

品質管理写真のうち試験場持ち込み分については、不要である。

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
27	路上表層再生工 (材料)	旧アスファルト針入度	材料毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚	
		旧アスファルトの軟化点			
	路上表層再生工 (施工)	現場密度の測定	材料毎に1回 〔試験実施中〕		
		温度測定			
		かきほぐし深さ			
		粒度			
	アスファルト量抽出粒度分析 試験				
28	排水性舗装工・透 水性舗装工 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚	
		アスファルト量抽出粒度分析 試験			
		温度測定			
	排水性舗装工・透 水性舗装工 (舗設現場)	温度測定			
		現場透水試験			
		現場密度の測定			
	外観検査				
29	プラント再生舗装 工 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚	
		再生アスファルト量			
	プラント再生舗装 工 (舗設現場)	外観検査			
		温度測定			
		現場密度の測定			
30	工場製作工	外観検査	1橋に1回又は1工事に1回 〔現物照合時〕	代表箇所各1枚	
		在庫品切出	当初の物件で1枚〔切出時〕 ※他は焼き増し		
		機械試験	1橋に1回又は1工事に1回 〔試験実施中〕		
31	ガス切断工	表面粗さ	試験毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚	
		ノッチ深さ			
		スラグ			
		上縁の溶け			
		平面度			
		ベベル精度			
		真直度			

品質管理写真撮影箇所一覧表

品質管理写真のうち試験場持ち込み分については、不要である。

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
32	溶接工	引張試験	試験毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚	
		型曲げ試験			
		衝撃試験			
		マクロ試験			
		非破壊試験			
		突合せ継手の内部欠陥に対する検査			
		外観検査			
		曲げ試験			
		ハンマー打撃試験	外観検査が不合格となったスタッドジベルについて 〔試験実施中〕		
33	路床土処理工	配合試験	試験毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚	
		現場処理士の室内管理試験	試験毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚	
		現場密度の測定			
34	中層混合処理	テーブルフロー試験	適宜 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚	
		土の一軸圧縮試	材質毎に1回 〔試験実施中〕		

品質管理写真撮影箇所一覧表

品質管理写真のうち試験場持ち込み分については、不要である。

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
35	高木	高さ	樹種別、規格別に1回 〔計測中〕	適宜	
		幹周			
		枝張			
	中低木	高さ	樹種別、規格別に1回 〔計測中〕	適宜	
		枝張(葉張)			
	地被類	茎長	樹種別、規格別に1回 〔計測中〕	適宜	
芽立					



## 【第1編 共通編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁	
第2章 土工					
第3節 河川土工・海岸土工・砂防土工	2-3-2	掘削工		4-48	
	2-3-3	盛土工		4-49	
	2-3-4	盛土補強工	補強土(テールアルメ)壁工法		〃
			多数アンカー式補強土工法		〃
			ジオテキスタイルを用いた補強土工法		〃
	2-3-5	法面整形工	盛土部		4-50
	2-3-6	堤防天端工			〃
第4節 道路土工	2-4-2	掘削工		〃	
	2-4-3	路体盛土工		4-51	
	2-4-4	路床盛土工		〃	
	2-4-5	法面整形工	盛土部		〃
第3章 無筋、鉄筋コンクリート					
第7節 鉄筋工	3-7-4	組立て		4-52	

## 【第3編 土木工事共通編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第2章 一般施工				
第3節 共通の工種	2-3-4 矢板工	鋼矢板		4-53
		軽量鋼矢板		〃
		コンクリート矢板		〃
		広幅鋼矢板		〃
		可とう鋼矢板		〃
	2-3-5 縁石工	縁石・アスカープ		〃
	2-3-6 小型標識工			〃
	2-3-7 防止柵工	立入防止柵		〃
		転落(横断)防止柵		〃
		車止めポスト		〃
	2-3-8 路側防護柵工	ガードレール		〃
		ガードケーブル		〃
	2-3-9 区画線工			〃
	2-3-10 道路付属物工	視線誘導標		4-54
		距離標		〃
	2-3-11 コンクリート面塗装工			〃
	2-3-12 プレテンション桁製作工(購入工)	けた橋		〃
		スラブ橋		〃
	2-3-13 ポストテンション桁製作工			〃
	2-3-14 プレキャストセグメント製作工(購入工)			〃
	2-3-14 プレキャストセグメント主桁組立工			〃
	2-3-15 PCホロースラブ製作工			4-55
	2-3-16 PC箱桁製作工			〃
	2-3-16 PC押出し箱桁製作工			〃
	2-3-17 根固めブロック工			〃
	2-3-18 沈床工			〃
	2-3-19 捨石工			〃
	2-3-22 階段工			4-56
	2-3-24 伸縮装置工	ゴムジョイント		〃
		鋼製フィンガージョイント		〃
	2-3-26 多自然型護岸工	巨石張り、巨石積み		〃
		かごマット		〃
	2-3-27 羽口工	じゃかご		〃
		ふとんかご、かご枠		〃
2-3-28 プレキャストカルバート工	プレキャストボックス工		4-57	
	プレキャストパイプ工		〃	
2-3-29 側溝工	プレキャストU型側溝		〃	
	L型側溝		〃	
	自由勾配側溝		〃	
	管渠		〃	
2-3-29 場所打水路工			〃	

## 【第3編 土木工事共通編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第3節 共通の工種	2-3-29 暗渠工			4-57
	2-3-30 集水樋工			〃
	2-3-31 現場塗装工			〃
第4節 基礎工	2-4-1 一般事項	切込砂利		4-58
		砕石基礎工		〃
		割ぐり石基礎工		〃
		均しコンクリート		〃
	2-4-3 基礎工(護岸)	現場打		〃
		プレキャスト		〃
	2-4-4 既製杭工	既製コンクリート杭		〃
		鋼管杭		〃
		H鋼杭		〃
	2-4-5 場所打杭工			〃
	2-4-6 深礎工			〃
2-4-7 オープンケーソン基礎工			4-59	
2-4-8 ニューマチックケーソン基礎工			〃	
2-4-9 鋼矢板基礎工			〃	
第5節 石・ブロック積(張)工	2-5-3 コンクリートブロック工	コンクリートブロック積		〃
		コンクリートブロック張り		〃
		連節ブロック張り		4-60
		天端保護ブロック		〃
	2-5-4 緑化ブロック工			〃
2-5-5 石積(張)工			〃	
第6節 一般舗装工	2-6-7 アスファルト舗装工	下層路盤工		4-61
		上層路盤工(粒度調整路盤工)		4-62
		上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)		4-63
		加熱アスファルト安定処理工		4-64
		基層工		〃
		表層工		4-65
	2-6-8 半たわみ性舗装工	下層路盤工		4-65
		上層路盤工(粒度調整路盤工)		4-66
		上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)		4-67
		加熱アスファルト安定処理工		4-68
		基層工		〃
		表層工		〃
	2-6-9 排水性舗装工	下層路盤工		4-69
		上層路盤工(粒度調整路盤工)		4-70
		上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)		4-71
		加熱アスファルト安定処理工		4-72
		基層工		〃
		表層工		〃

## 【第3編 土木工事共通編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第6節 一般舗装工	2-6-10 透水性舗装工	路盤工		4-73
		表層工		〃
	2-6-11 グースアスファルト舗装工	加熱アスファルト安定処理工		4-74
		基層工		〃
		表層工		〃
	2-6-12 コンクリート舗装工	下層路盤工		4-75
		粒度調整路盤工		4-76
		セメント(石灰・瀝青)安定処理工		4-77
		アスファルト中間層		4-78
		コンクリート舗装版工		〃
		転圧コンクリート版工(下層路盤工)		4-79
		転圧コンクリート版工(粒度調整路盤工)		4-80
		転圧コンクリート版工(セメント(石灰・瀝青)安定処理工)		4-81
		転圧コンクリート版工(アスファルト中間層)		4-82
		転圧コンクリート版工		〃
		連続鉄筋コンクリート舗装工		4-83
	2-6-13 薄層カラー舗装工	下層路盤工		〃
		上層路盤工(粒度調整路盤工)		4-84
		上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)		〃
		加熱アスファルト安定処理工		〃
		基層工		4-85
	2-6-14 ブロック舗装工	下層路盤工		〃
		上層路盤工(粒度調整路盤工)		〃
		上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)		4-86
		加熱アスファルト安定処理工		〃
		基層工		〃
	2-6-15 路面切削工			〃
2-6-16 舗装打換え工			4-87	
2-6-17 オーバーレイ工			〃	
第7節 地盤改良工	2-7-2 路床安定処理工			〃
	2-7-3 置換工			〃
	2-7-4 表層安定処理工	サンドマット	第3編2-7-6 サンドマット工	〃
		サンドマット海上	第3編2-7-6 サンドマット工	〃
	2-7-5 パイルネット工			〃
	2-7-6 サンドマット工			〃
	2-7-7 バーチカルドレーン工	サンドドレーン工		4-88
		ペーパードレーン工		〃
		袋詰式サンドドレーン工		〃
2-7-8 締めめ改良工	サンドコンパクションパイル工		〃	
2-7-9 固結工	粉末噴射攪拌工		〃	
	高圧噴射攪拌工		〃	

## 【第3編 土木工事共通編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第7節 地盤改良工	2-7-9 固結工	スラリー攪拌工		4-88
		生石灰パイル工		〃
		中層混合処理		〃
第10節 仮設工	2-10-5 土留・仮締切工	H鋼杭		〃
		鋼矢板		〃
		アンカー工		〃
		連節ブロック張り工		〃
		締切盛土		4-89
		中詰盛土		〃
	2-10-9 地中連続壁工(壁式)			〃
2-10-10 地中連続壁工(柱列式)			〃	
2-10-22 法面吹付工			〃	
第11節 軽量盛土工	2-11-2 軽量盛土工		第1編2-4-3 路体盛土工	〃
第12節 工場製作工(共通)	2-12-1 鋳造費	金属支承工		〃
		大型ゴム支承工		〃
	2-12-1 仮設材製作工			4-90
	2-12-1 刃口金物製作工			〃
	2-12-3 桁製作工	仮組立による検査を実施する場合		〃
		シミュレーション仮組立検査を行う場合		〃
		仮組立検査を実施しない場合		〃
		鋼製堰堤製作工(仮組立時)		〃
	2-12-4 検査路製作工			〃
	2-12-5 鋼製伸縮継手製作工			4-91
	2-12-6 落橋防止装置製作工			〃
	2-12-7 橋梁用防護柵製作工			〃
	2-12-8 アンカーフレーム製作工			〃
2-12-9 プレベーム用桁製作工			〃	
2-12-10 鋼製排水管製作工			〃	
2-12-11 工場塗装工			4-92	
第13節 橋梁架設工	2-13-1 架設工	クレーン架設		〃
		ケーブルクレーン架設		〃
		ケーブルエレクション架設		〃
		架設桁架設 送出し架設		〃
		トラベラークレーン架設		〃
第14節 法面工(共通)	2-14-2 植生工	種子散布工		〃
		張芝工		〃
		筋芝工		〃
		市松芝工		〃
		植生シート工		〃
		植生マット工		〃
		植生筋工		〃
		人工張芝工		〃
植生穴工		〃		

## 【第3編 土木工事共通編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第14節 法面工(共通)	2-14-2 植生工	植生基材吹付工		4-92
		客土吹付工		〃
	2-14-3 吹付工	コンクリート		〃
		モルタル		〃
	2-14-4 法枠工	現場打法枠工		4-93
		現場吹付法枠工		〃
		プレキャスト法枠工		〃
2-14-6 アンカー工			〃	
第15節 擁壁工(共通)	2-15-1 場所打擁壁工			〃
	2-15-2 プレキャスト擁壁工			〃
	2-15-3 井桁ブロック工			〃
第16節 浚渫工(共通)	2-16-1 浚渫船運転工	ポンプ浚渫船		4-94
		グラブ船		〃
第18節 床版工	2-18-1 床版・横組工			〃

出来形管理写真目次

第4編 港湾・水産編 . . . . . 4- 95

第5編 農林土木編 . . . . . 4-137

## 【第6編 河川編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁	
第1章 築堤・護岸					
第5節 護岸基礎工	1-5-3 基礎工		第3編2-4-3 基礎工(護岸)	4-58	
	1-5-4 矢板工		第3編2-3-4 矢板工	4-53	
第6節 矢板護岸工	1-6-3 笠コンクリート工		第3編2-5-3 コンクリートブロック工 (天端保護ブロック)	4-60	
	1-6-4 矢板工		第3編2-3-4 矢板工	4-53	
第7節 法覆護岸工	1-7-3 コンクリートブロック工		第3編2-5-3 コンクリートブロック工	4-59	
	1-7-4 護岸付属物工			4-138	
	1-7-5 緑化ブロック工		第3編2-5-4 緑化ブロック工	4-60	
	1-7-6 環境護岸ブロック工		第3編2-5-3 コンクリートブロック工	4-59	
	1-7-7 石積(張)工		第3編2-5-5 石積(張)工	4-60	
	1-7-8 法枠工		第3編2-14-4 法枠工	4-93	
	1-7-9 多自然型護岸工	巨石張り		第3編2-3-26 巨石張り、巨石積み	4-56
		巨石積み		第3編2-3-26 巨石張り、巨石積み	〃
		かごマット		第3編2-3-26 かごマット	〃
	1-7-10 吹付工		第3編2-14-3 吹付工	4-92	
	1-7-11 植生工		第3編2-14-2 植生工	4-92	
	1-7-12 覆土工		第1編2-4-5 法面整形工	4-51	
	1-7-13 羽口工	じゃかご		第3編2-3-27 じゃかご	4-56
		ふとんかご		第3編2-3-27 ふとんかご、かご枠	〃
		かご枠		第3編2-3-27 ふとんかご、かご枠	〃
連節ブロック張り			第3編2-5-3-2 連節ブロック張り	4-60	
第8節 擁壁護岸工	1-8-3 場所打擁壁工		第3編2-15-1 場所打擁壁工	4-93	
	1-8-4 プレキャスト擁壁工		第3編2-15-2 プレキャスト擁壁工	〃	
第9節 根固め工	1-9-3 根固めブロック工		第3編2-3-17 根固めブロック工	4-55	
	1-9-5 沈床工		第3編2-3-18 沈床工	〃	
	1-9-6 捨石工		第3編2-3-19 捨石工	〃	
	1-9-7 かご工	じゃかご		第3編2-3-27 じゃかご	4-56
		ふとんかご		第3編2-3-27 ふとんかご、かご枠	〃
第10節 水制工	1-10-3 沈床工		第3編2-3-18 沈床工	4-55	
	1-10-4 捨石工		第3編2-3-19 捨石工	〃	
	1-10-5 かご工	じゃかご		第3編2-3-27 じゃかご	4-56
		ふとんかご		第3編2-3-27 ふとんかご、かご枠	〃
	1-10-8 杭出し水制工			4-138	
第11節 付帯道路工	1-11-3 路側防護柵工		第3編2-3-8 路側防護柵工	4-53	
	1-11-5 アスファルト舗装工		第3編2-6-7 アスファルト舗装工	4-61	
	1-11-6 コンクリート舗装工		第3編2-6-12 コンクリート舗装工	4-75	



## 【第6編 河川編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁	
第11節 付帯道路工	1-11-7 薄層カラー舗装工		第3編2-6-13 薄層カラー舗装工	4-83	
	1-11-8 ブロック舗装工		第3編2-6-14 ブロック舗装工	4-85	
	1-11-9 側溝工		第3編2-3-29 側溝工	4-57	
	1-11-10 集水柵工		第3編2-3-30 集水柵工	〃	
	1-11-11 縁石工		第3編2-3-5 縁石工	4-53	
	1-11-12 区画線工		第3編2-3-9 区画線工	〃	
第12節 付帯道路施設工	1-12-3 道路付属物工		第3編2-3-10 道路付属物工	4-54	
	1-12-4 標識工		第3編2-3-6 小型標識工	4-53	
第13節 光ケーブル配管工	1-13-3 配管工			4-138	
	1-13-4 ハンドホール工			〃	
第2章 浚渫(川)					
第3節 浚渫工(ポンプ浚渫船)	2-3-2 浚渫船運転工(民船・官船)		第3編2-16-1 浚渫船運転工	4-94	
第4節 浚渫工(グラブ船)	2-4-2 浚渫船運転工		第3編2-16-1 浚渫船運転工	〃	
第5節 浚渫工(バックホウ浚渫船)	2-5-2 浚渫船運転工		第3編2-16-1 浚渫船運転工	〃	
第3章 樋門・樋管					
第5節 樋門・樋管本体工	3-5-3 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	4-58	
	3-5-4 場所打杭工		第3編2-4-5 場所打杭工	〃	
	3-5-5 矢板工		第3編2-3-4 矢板工	4-53	
	3-5-6 函(管)渠工	本体工			4-138
		ヒューム管			4-139
		PC管			〃
		コルゲートパイプ			〃
		ダクタイル铸铁管			〃
		PC函渠	第3編2-3-28 プレキャストカルバート工		4-57
3-5-7 翼壁工			4-139		
3-5-8 水叩工			〃		
第6節 護床工	3-6-3 根固めブロック工		第3編2-3-17 根固めブロック	4-55	
	3-6-5 沈床工		第3編2-3-18 沈床工	〃	
	3-6-6 捨石工		第3編2-3-19 捨石工	〃	
	3-6-7 かご工	じゃかご	第3編2-3-27 じゃかご	4-56	
		ふとんかご	第3編2-3-27 ふとんかご、かご枠	〃	
第7節 水路工	3-7-3 側溝工		第3編2-3-29 場所打水路工	4-57	
	3-7-4 集水柵工		第3編2-3-30 集水柵工	〃	
	3-7-5 暗渠工		第3編2-3-29 暗渠工	〃	

## 【第6編 河川編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁	
第7節 水路工	3-7-6 樋門接続暗渠工		第3編2-3-28 プレキャストカルバート工	4-57	
第8節 付属物設置工	3-8-3 防止柵工		第3編2-3-7 防止柵工	4-53	
	3-8-7 階段工		第3編2-3-22 階段工	4-56	
第4章 水門					
第3節 工場製作工	4-3-3 桁製作工		第3編2-12-3 桁製作工	4-90	
	4-3-4 鋼製伸縮継手製作工		第3編2-12-5 鋼製伸縮継手製作工	4-91	
	4-3-5 落橋防止装置製作工		第3編2-12-6 落橋防止装置製作工	〃	
	4-3-6 鋼製排水管製作工		第3編2-12-10 鋼製排水管製作工	〃	
	4-3-7 橋梁用防護柵製作工		第3編2-12-7 橋梁用防護柵製作工	〃	
	4-3-8 鑄造費		第3編2-12-1 鑄造費	4-89	
	4-3-9 仮設材製作工		第3編2-12-1 仮設材製作工	4-90	
	4-3-10 工場塗装工		第3編2-12-11 工場塗装工	4-92	
	第6節 水門本体内工	4-6-4 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	4-58
		4-6-5 場所打杭工		第3編2-4-5 場所打杭工	〃
4-6-6 矢板工(遮水矢板)			第3編2-3-4矢板工	4-53	
4-6-7 床版工				4-139	
4-6-8 堰柱工				〃	
4-6-9 門柱工				〃	
4-6-10 ゲート操作台工				〃	
4-6-11 胸壁工				〃	
4-6-12 翼壁工			第6編3-5-7 翼壁工	〃	
4-6-13 水叩工			第6編3-5-8 水叩工	〃	
第7節 護床工	4-7-3 根固めブロック工		第3編2-3-17 根固めブロック	4-55	
	4-7-5 沈床工		第3編2-3-18 沈床工	〃	
	4-7-6 捨石工		第3編2-3-19 捨石工	〃	
	4-7-7 かご工	じゃかご	第3編2-3-27 じゃかご	4-56	
		ふとんかご	第3編2-3-27 ふとんかご、かご枠	〃	
第8節 付属物設置工	4-8-3 防止柵工		第3編2-3-7 防止柵工	4-53	
	4-8-8 階段工		第3編2-3-22 階段工	4-56	
第9節 鋼管理橋上部工	4-9-4 架設工(クレーン架設)		第3編2-13-1 架設工(クレーン架設)	4-92	
	4-9-5 架設工(ケーブルクレーン架設)		第3編2-13-1 架設工(ケーブルクレーン架設)	〃	
	4-9-6 架設工(ケーブルエレクション架設)		第3編2-13-1 架設工(ケーブルエレクション架設)	〃	
	4-9-7 架設工(架設桁架設)		第3編2-13-1 架設工(架設桁架設)	〃	

## 【第6編 河川編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第9節 鋼管理橋上部工	4-9-8 架設工(送出し架設)		第3編2-13-1 架設工(送出し架設)	4-92
	4-9-9 架設工(トラバラークレーン架設)		第3編2-13-1 架設工(トラバラークレーン架設)	〃
	4-9-10 支承工			4-139
第10節 橋梁現場塗装工	4-10-2 現場塗装工		第3編2-3-31 現場塗装工	4-57
第11節 床版工	4-11-2 床版工		第3編2-18-1 床版・横組工	4-94
第12節 橋梁付属物工(鋼管理橋)	4-12-2 伸縮装置工		第3編2-3-24 伸縮装置工	4-56
	4-12-4 地覆工			4-140
	4-12-5 橋梁用防護柵工			〃
	4-12-6 橋梁用高欄工			〃
	4-12-7 検査路工			〃
第14節 コンクリート管理橋上部工(PC橋)	4-14-2 プレテンション桁製作工(購入工)		第3編2-3-12 プレテンション桁製作工(購入工)	4-54
	4-14-3 ポストテンション桁製作工		第3編2-3-13 ポストテンション桁製作工	〃
	4-14-4 プレキャストセグメント製作工(購入工)		第3編2-3-14 プレキャストセグメント製作工(購入工)	〃
	4-14-5 プレキャストセグメント主桁組立工		第3編2-3-14 プレキャストセグメント主桁組立工	〃
	4-14-6 支承工		第6編4-9-10 支承工	4-139
	4-14-7 架設工(クレーン架設工)		第3編2-13-1 架設工(クレーン架設)	4-92
	4-14-8 架設工(架設桁架設)		第3編2-13-1 架設工(架設桁架設)	〃
	4-14-9 床版・横組工		第3編2-18-1 床版・横組工	4-94
	4-14-10 落橋防止装置工		第10編16-22-4 落橋防止装置工	4-157
	第15節 コンクリート管理橋上部工(PCホロースラブ橋)	4-15-2 架設支保工(固定)		第3編2-13-1 架設工
4-15-3 支承工			第6編4-9-10 支承工	4-139
4-15-4 落橋防止装置工			第10編16-22-4 落橋防止装置工	4-157
4-15-5 PCホロースラブ製作工			第3編2-3-15 PCホロースラブ製作工	4-55
第16節 橋梁付属物工(コンクリート管理橋)		4-16-2 伸縮装置工		第3編2-3-24 伸縮装置工
	4-16-4 地覆工		第6編4-12-4 地覆工	4-140
	4-16-5 橋梁用防護柵工		第6編4-12-5 橋梁用防護柵工	〃
	4-16-6 橋梁用高欄工		第6編4-12-6 橋梁用高欄工	〃
	4-16-7 検査路工		第6編4-12-7 検査路工	〃
	第18節 舗装工	4-18-5 アスファルト舗装工		第3編2-6-7 アスファルト舗装工
4-18-6 半たわみ性舗装工			第3編2-6-8 半たわみ性舗装工	4-65
4-18-7 排水性舗装工			第3編2-6-9 排水性舗装工	4-69
4-18-8 透水性舗装工			第3編2-6-10 透水性舗装工	4-73
4-18-9 グースアスファルト舗装工			第3編2-6-11 グースアスファルト舗装工	4-74
4-18-10 コンクリート舗装工			第3編2-6-12 コンクリート舗装工	4-75

## 【第6編 河川編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁	
第18節 舗装工	4-18-11 薄層カラー舗装工		第3編2-6-13 薄層カラー舗装	4-83	
	4-18-12 ブロック舗装工		第3編2-6-14 ブロック舗装工	4-85	
第5章 堰					
第3節 工場製作工	5-3-3 刃口金物製作工		第3編2-12-1 刃口金物製作工	4-90	
	5-3-4 桁製作工		第3編2-12-3 桁製作工	〃	
	5-3-5 検査路製作工		第3編2-12-4 検査路製作工	〃	
	5-3-6 鋼製伸縮継手製作工		第3編2-12-5 鋼製伸縮継手製作工	4-91	
	5-3-7 落橋防止装置製作工		第3編2-12-6 落橋防止装置製作工	〃	
	5-3-8 鋼製排水管製作工		第3編2-12-10 鋼製排水管製作工	〃	
	5-3-9 プレベーム用桁製作工		第3編2-12-9 プレベーム用桁製作工	〃	
	5-3-10 橋梁用防護柵製作工		第3編2-12-7 橋梁用防護柵製作工	〃	
	5-3-11 鋳造費		第3編2-12-1 鋳造費	4-89	
	5-3-12 アンカーフレーム製作工		第3編2-12-8 アンカーフレーム製作工	4-91	
	5-3-13 仮設材製作工		第3編2-12-1 仮設材製作工	4-90	
	5-3-14 工場塗装工		第3編2-12-11 工場塗装工	4-92	
	第6節 可動堰本体工	5-6-3 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	4-58
		5-6-4 場所打杭工		第3編2-4-5 場所打杭工	〃
5-6-5 オープンケーソン基礎工			第3編2-4-7 オープンケーソン基礎工	4-59	
5-6-6 ニューマチックケーソン基礎工			第3編2-4-8 ニューマチックケーソン基礎工	〃	
5-6-7 矢板工			第3編2-3-4 矢板工	4-53	
5-6-8 床版工			第6編4-6-7 床版工	4-139	
5-6-9 堰柱工			第6編4-6-8 堰柱工	〃	
5-6-10 門柱工			第6編4-6-9 門柱工	〃	
5-6-11 ゲート操作台工			第6編4-6-10 ゲート操作台工	〃	
5-6-12 水叩工			第6編3-5-8 水叩工	〃	
5-6-13 閘門工				4-141	
5-6-14 土砂吐工				〃	
5-6-15 取付擁壁工			第3編2-15-1 場所打擁壁工	4-93	
第7節 固定堰本体工		5-7-3 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	4-58
		5-7-4 場所打杭工		第3編2-4-5 場所打杭工	〃
	5-7-5 オープンケーソン基礎工		第3編2-4-7 オープンケーソン基礎工	4-59	
	5-7-6 ニューマチックケーソン基礎工		第3編2-4-8 ニューマチックケーソン基礎工	〃	
	5-7-7 矢板工		第3編2-3-4 矢板工	4-53	
	5-7-8 堰本体工			4-141	
	5-7-9 水叩工			〃	

## 【第6編 河川編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第7節 固定堰本体工	5-7-10 土砂吐工			4-141
	5-7-11 取付擁壁工		第3編2-15-1 場所打擁壁工	4-93
第8節 魚道工	5-8-3 魚道本体工			4-141
第9節 管理橋下部工	5-9-2 管理橋橋台工			〃
第10節 鋼管理橋上部工	5-10-4 架設工(クレーン架設)		第3編2-13-1 架設工(クレーン架設)	4-92
	5-10-5 架設工(ケーブルクレーン架設)		第3編2-13-1 架設工(ケーブルクレーン架設)	〃
	5-10-6 架設工(ケーブルエレクション架設)		第3編2-13-1 架設工(ケーブルエレクション架設)	〃
	5-10-7 架設工(架設桁架設)		第3編2-13-1 架設工(架設桁架設)	〃
	5-10-8 架設工(送出し架設)		第3編2-13-1 架設工(送出し架設)	〃
	5-10-9 架設工(トラバークレーン架設)		第3編2-13-1 架設工(トラバークレーン架設)	〃
	5-10-10 支承工		第6編4-9-10 支承工	4-139
第11節 橋梁現場塗装工	5-11-2 現場塗装工		第3編2-3-31 現場塗装工	4-57
第12節 床版工	5-12-2 床版工		第3編2-18-1 床版・横組工	4-94
第13節 橋梁付属物工(鋼管理橋)	5-13-2 伸縮装置工		第3編2-3-24 伸縮装置工	4-56
	5-13-4 地覆工		第6編4-12-4 地覆工	4-140
	5-13-5 橋梁用防護柵工		第6編4-12-5 橋梁用防護柵工	〃
	5-13-6 橋梁用高欄工		第6編4-12-6 橋梁用高欄工	〃
	5-13-7 検査路工		第6編4-12-7 検査路工	〃
第15節 コンクリート管理橋上部工(PC橋)	5-15-2 プレテンション桁製作工(購入工)		第3編2-3-12 プレテンション桁製作工(購入工)	4-54
	5-15-3 ポストテンション桁製作工		第3編2-3-13 ポストテンション桁製作工	〃
	5-15-4 プレキャストセグメント製作工(購入工)		第3編2-3-14 プレキャストセグメント製作工(購入工)	〃
	5-15-5 プレキャストセグメント主桁組立工		第3編2-3-14 プレキャストセグメント主桁組立工	〃
	5-15-6 支承工		第6編4-9-10 支承工	4-139
	5-15-7 架設工(クレーン架設)		第3編2-13-1 架設工(クレーン架設)	4-92
	5-15-8 架設工(架設桁架設)		第3編2-13-1 架設工(架設桁架設)	〃
	5-15-9 床版・横組工		第3編2-18-1 床版・横組工	4-94
	5-15-10 落橋防止装置工		第10編16-22-4 落橋防止装置工	4-157
	第16節 コンクリート管理橋上部工(PC橋ホロースラブ橋)	5-16-2 架設支保工(固定)		第3編2-13-1 架設工
5-16-3 支承工			第6編4-9-10 支承工	4-139
5-16-4 落橋防止装置工			第10編16-22-4 落橋防止装置工	4-157
5-16-5 PCホロースラブ製作工			第3編2-3-15 PCホロースラブ製作工	4-55
第17節 コンクリート管理橋上部工(PC箱桁橋)		5-17-2 架設支保工(固定)		第3編2-13-1 架設工
	5-17-3 支承工		第6編4-9-10 支承工	4-139

## 【第6編 河川編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁	
第17節 コンクリート管理 橋上部工(PC箱桁橋)	5-17-4 PC箱桁製作工		第3編2-3-16 PC箱桁製作工	4-55	
	5-17-5 落橋防止装置工		第10編16-22-4 落橋防止装置工	4-157	
第18節 橋梁付属物工(コ ンクリート管理橋)	5-18-2 伸縮装置工		第3編2-3-24 伸縮装置工	4-56	
	5-18-4 地覆工		第6編4-12-4 地覆工	4-140	
	5-18-5 橋梁用防護柵工		第6編4-12-5 橋梁用防護柵工	〃	
	5-18-6 橋梁用高欄工		第6編4-12-6 橋梁用高欄工	〃	
	5-18-7 検査路工		第6編4-12-7 検査路工	〃	
第20節 付属物設置工	5-20-3 防止柵工		第3編2-3-7 防止柵工	4-53	
	5-20-7 階段工		第3編2-3-22 階段工	4-56	
第6章 排水機場					
第4節 機場本体工	6-4-3 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	4-58	
	6-4-4 場所打杭工		第3編2-4-5 場所打杭工	〃	
	6-4-5 矢板工		第3編2-3-4 矢板工	4-53	
	6-4-6 本体工			4-141	
	6-4-7 燃料貯油槽工			〃	
第5節 沈砂池工	6-5-3 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	4-58	
	6-5-4 場所打杭工		第3編2-4-5 場所打杭工	〃	
	6-5-5 矢板工		第3編2-3-4 矢板工	4-53	
	6-5-6 場所打擁壁工		第3編2-15-1 場所打擁壁工	4-93	
	6-5-7 コンクリート床版工			4-141	
	6-5-8 ブロック床版工		第3編2-3-17 根固めブロック	4-55	
6-5-9 場所打水路工		第3編2-3-29 場所打水路工	4-57		
第6節 吐出水槽工	6-6-3 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	4-58	
	6-6-4 場所打杭工		第3編2-4-5 場所打杭工	〃	
	6-6-5 矢板工		第3編2-3-4 矢板工	4-53	
	6-6-6 本体工		第6編6-4-6 本体工	4-141	
第7章 床止め・床固め					
第4節 床止め工	7-4-4 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	4-58	
	7-4-5 矢板工		第3編2-3-4 矢板工	4-53	
	7-4-6 本体工	床固め本体工			4-142
		植石張り		第3編2-5-5 石積(張)工	4-60
		根固めブロック		第3編2-3-17 根固めブロック	4-55
	7-4-7 取付擁壁工		第3編2-15-1 場所打擁壁工	4-93	
	7-4-8 水叩工				4-142
		巨石張り		第3編2-3-26 巨石張り、巨石積み	4-56
根固めブロック			第3編2-3-17 根固めブロック工	4-55	

## 【第6編 河川編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第5節 床固め工	7-5-4 本堤工		第6編7-4-6 本体工	4-142
	7-5-5 垂直壁工		第6編7-4-6 本体工	〃
	7-5-6 側壁工			〃
	7-5-7 水叩工		第6編7-4-8 水叩工	〃
第6節 山留擁壁工	7-6-3 コンクリート擁壁工		第3編2-15-1 場所打擁壁工	4-93
	7-6-4 ブロック積擁壁工		第3編2-5-3 コンクリートブロック工	4-59
	7-6-5 石積擁壁工		第3編2-5-5 石積(張)工	4-60
	7-6-6 山留擁壁基礎工		第3編2-4-3 基礎工(護岸)	4-58
第8章 河川維持				
第7節 路面補修工	8-7-3 不陸整正工		第1編2-3-6 堤防天端工	4-50
	8-7-4 コンクリート舗装補修工		第3編2-6-12 コンクリート舗装工	4-75
	8-7-5 アスファルト舗装補修工		第3編2-6-7 アスファルト舗装工	4-61
第8節 付属物復旧工	8-8-2 付属物復旧工		第3編2-3-8 路側防護柵工	4-53
第9節 付属物設置工	8-9-3 防護柵工		第3編2-3-7 防止柵工	〃
	8-9-5 付属物設置工		第3編2-3-10 道路付属物工	4-54
第10節 光ケーブル配管工	8-10-3 配管工		第6編1-13-3 配管工	4-138
	8-10-4 ハンドホール工		第6編1-13-4 ハンドホール工	〃
第12節 植栽維持工	8-12-3 樹木・芝生管理工		第3編2-14-2 植生工	4-92
第9章 河川修繕				
第4節 腹付工	9-4-2 覆土工		第1編2-3-5 法面整形工	4-50
	9-4-3 植生工		第3編2-14-2 植生工	4-92
第5節 側帯工	9-5-2 縁切工	じゃかご	第3編2-3-27 じゃかご	4-56
		連節ブロック張り	第3編2-5-3 コンクリートブロック工	4-59
		コンクリートブロック張り	第3編2-5-3 コンクリートブロック工	〃
		石張工	第3編2-5-5 石積(張)工	4-60
	9-5-3 植生工		第3編2-14-2 植生工	4-92
第6節 堤脚保護工	9-6-3 石積工		第3編2-5-5 石積(張)工	4-60
	9-6-4 コンクリートブロック工		第3編2-5-3 コンクリートブロック工	4-59
第7節 管理用通路工	9-7-2 防護柵工		第3編2-3-7 防止柵工	4-53
	9-7-4 路面切削工		第3編2-6-15 路面切削工	4-86
	9-7-5 舗装打換え工		第3編2-6-16 舗装打換え工	4-87
	9-7-6 オーバーレイ工		第3編2-6-17 オーバーレイ工	〃
	9-7-7 排水構造物工	プレキャストU型側溝・管(函)渠	第3編2-3-29 側溝工	4-57
		集水柵工	第3編2-3-30 集水柵工	〃
	9-7-8 道路付属物工	歩車道境界ブロック	第3編2-3-5 縁石工	4-53
第8節 現場塗装工	9-8-3 付属物塗装工		第3編2-3-31 現場塗装工	4-57
	9-8-4 コンクリート面塗装工		第3編2-3-11 コンクリート面塗装工	4-54

## 【第7編 河川海岸編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第1章 堤防・護岸				
第5節 護岸基礎工	1-5-4 捨石工		第3編2-3-19 捨石工	4-55
	1-5-5 場所打コンクリート工			4-143
	1-5-6 海岸コンクリートブロック工			〃
	1-5-7 笠コンクリート工		第3編2-4-3 基礎工(護岸)	4-58
	1-5-8 基礎工		第3編2-4-3 基礎工(護岸)	〃
	1-5-9 矢板工		第3編2-3-4 矢板工	4-53
第6節 護岸工	1-6-3 石積(張)工		第3編2-5-5 石積(張)工	4-60
	1-6-4 海岸コンクリートブロック工			4-143
	1-6-5 コンクリート被覆工			〃
第7節 擁壁工	1-7-3 場所打擁壁工		第3編2-15-1 場所打擁壁工	4-93
第8節 天端被覆工	1-8-2 コンクリート被覆工			4-143
第9節 波返工	1-9-3 波返工			〃
第10節 裏法被覆工	1-10-2 石積(張)工		第3編2-5-5 石積(張)工	4-60
	1-10-3 コンクリートブロック工		第3編2-5-3 コンクリートブロック工	4-59
	1-10-4 コンクリート被覆工		第7編1-6-5 コンクリート被覆工	4-143
	1-10-5 法枠工		第3編2-14-4 法枠工	4-93
第11節 カルバート工	1-11-3 プレキャストカルバート工		第3編2-3-28 プレキャストカルバート工	4-57
第12節 排水構造物工	1-12-3 側溝工		第3編2-3-29 側溝工	〃
	1-12-4 集水柵工		第3編2-3-30 集水柵工	〃
	1-12-5 管渠工	プレキャストパイプ	第3編2-3-29 暗渠工	〃
		プレキャストボックス	第3編2-3-29 暗渠工	〃
		コルゲートパイプ	第3編2-3-29 暗渠工	〃
		タグタイル铸铁管	第3編2-3-29 暗渠工	〃
	1-12-6 場所打水路工		第3編2-3-29 場所打水路工	〃
第13節 付属物設置工	1-13-3 防止柵工		第3編2-3-7 防止柵工	4-53
	1-13-6 階段工		第3編2-3-22 階段工	4-56
第14節 付帯道路工	1-14-3 路側防護柵工		第3編2-3-8 路側防護柵工	4-53
	1-14-5 アスファルト舗装工		第3編2-6-7 アスファルト舗装工	4-61
	1-14-6 コンクリート舗装工		第3編2-6-12 コンクリート舗装工	4-75
	1-14-7 薄層カラー舗装工		第3編2-6-13 薄層カラー舗装工	4-83
	1-14-8 側溝工		第3編2-3-29 側溝工	4-57
	1-14-9 集水柵工		第3編2-3-30 集水柵工	〃
	1-14-10 縁石工		第3編2-3-5 縁石工	4-53
	1-14-11 区画線工		第3編2-3-9 区画線工	〃



## 【第7編 河川海岸編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁	
第15節 付帯道路施設工	1-15-3 道路付属物工		第3編2-3-10 道路付属物工	4-54	
	1-15-4 小型標識工		第3編2-3-6 小型標識工	4-53	
第2章 突堤・人工岬					
第4節 突堤基礎工	2-4-4 捨石工			4-143	
	2-4-5 吸出し防止工			4-144	
第5節 突堤本体工	2-5-2 捨石工			〃	
	2-5-5 海岸コンクリートブロック工			〃	
	2-5-6 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	4-58	
	2-5-7 詰杭工		第3編2-4-4 既製杭工	〃	
	2-5-8 矢板工		第3編2-3-4 矢板工	4-53	
	2-5-9 石枠工			4-144	
	2-5-10 場所打コンクリート工			〃	
	2-5-11 ケーソン工	ケーソン工製作			〃
		ケーソン工据付			〃
		突堤上部工 (場所打コンクリート) (海岸コンクリートブロック)			4-145
	2-5-12 セルラー工	セルラー工製作			〃
セルラー工据付				〃	
突堤上部工 (場所打コンクリート) (海岸コンクリートブロック)				〃	
第6節 根固め工	2-6-2 捨石工			〃	
	2-6-3 根固めブロック工			〃	
第7節 消波工	2-7-2 捨石工		第7編2-6-2 捨石工	〃	
	2-7-3 消波ブロック工			〃	
第3章 海域堤防(人工リーフ、離岸堤、潜堤)					
第3節 海域堤基礎工	3-3-3 捨石工			4-146	
	3-3-4 吸出し防止工		第7編2-4-5 吸出し防止工	4-144	
第4節 海域堤本体工	3-4-2 捨石工		第7編2-4-4 捨石工	4-143	
	3-4-3 海岸コンクリートブロック工		第7編2-5-5 海岸コンクリートブロック工	4-144	
	3-4-4 ケーソン工		第7編2-5-11 ケーソン工	〃	
	3-4-5 セルラー工		第7編2-5-12 セルラー工	4-145	
	3-4-6 場所打コンクリート工		第7編2-5-10 場所打ちコンクリート工	4-144	
第4章 浚渫(海)					
第2節 浚渫工(ホンブ浚渫船)	4-3-2 浚渫船運転工		第3編2-16-1 浚渫船運転工	4-94	
第3節 浚渫工(グラブ船)	4-4-2 浚渫船運転工		第3編2-16-1 浚渫船運転工	〃	
第5章 養浜					
第3節 砂止工	5-4-2 根固めブロック工		第7編2-6-3 根固めブロック工	4-145	

## 【第8編 砂防編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第1章 砂防えん堤				
第3節 工場製作工	1-3-3 鋼製堰堤製作工		第3編2-12-3 桁製作工 (鋼製堰堤製作工(仮組立時))	4-90
	1-3-4 鋼製堰堤仮設材製作工			4-147
	1-3-5 工場塗装工		第3編2-12-11 工場塗装工	4-92
第6節 法面工	1-6-2 植生工		第3編2-14-2 植生工	〃
	1-6-3 法面吹付け工		第3編2-14-3 吹付工	〃
	1-6-4 法枠工		第3編2-14-4 法枠工	4-93
	1-6-6 アンカー工		第3編2-14-6 アンカー工	〃
	1-6-7 かご工	じゃかご	第3編2-3-27 じゃかご	4-56
ふとんかご		第3編2-3-27 ふとんかご、かご枠	〃	
第8節 コンクリートえん堤工	1-8-4 コンクリート堰堤本体内工			4-147
	1-8-5 コンクリート副堰堤工		第8編1-8-4 コンクリート堰堤本体内工	〃
	1-8-6 コンクリート側壁工			〃
	1-8-8 水叩工			〃
第9節 鋼製えん堤工	1-9-5 鋼製堰堤本体内工	不透過型		〃
		透過型		〃
	1-9-6 鋼製側壁工			〃
	1-9-7 コンクリート側壁工		第8編1-8-6 コンクリート側壁工	〃
	1-9-9 水叩工		第8編1-8-8 水叩工	〃
	1-9-10 現場塗装工		第3編2-3-31 現場塗装工	4-57
第10節 護床工・根固め工	1-10-4 根固めブロック工		第3編2-3-17 根固めブロック工	4-55
	1-10-6 沈床工		第3編2-3-18 沈床工	〃
	1-10-7 かご工	じゃかご	第3編2-3-27 じゃかご	4-56
		ふとんかご	第3編2-3-27 ふとんかご、かご枠	〃
第11節 砂防えん堤付属物設置工	1-11-3 防止柵工		第3編2-3-7 防止柵工	4-53
第12節 付帯道路工	1-12-3 路側防護柵工		第3編2-3-8 路側防護柵工	〃
	1-12-5 アスファルト舗装工		第3編2-6-7 アスファルト舗装工	4-61
	1-12-6 コンクリート舗装工		第3編2-6-12 コンクリート舗装工	4-75
	1-12-7 薄層カラー舗装工		第3編2-6-13 薄層カラー舗装工	4-83
	1-12-8 側溝工		第3編2-3-29 場所打水路工	4-57
	1-12-9 集水柵工		第3編2-3-30 集水柵工	〃
	1-12-10 縁石工		第3編2-3-5 縁石工	4-53
	1-12-11 区画線工		第3編2-3-9 区画線工	〃

## 【第8編 砂防編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第13節 付帯道路施設工	1-13-3 道路付属物工		第3編2-3-10 道路付属物工	4-54
	1-13-4 小型標識工		第3編2-3-6 小型標識工	4-53
第2章 流路				
第4節 流路護岸工	2-4-4 基礎工(護岸)		第3編2-4-3 基礎工(護岸)	4-58
	2-4-5 コンクリート擁壁工		第3編2-15-1 場所打擁壁工	4-93
	2-4-6 ブロック積擁壁工		第3編2-5-3 コンクリートブロック工	4-59
	2-4-7 石積擁壁工		第3編2-5-5 石積(張)工	4-60
	2-4-8 護岸付属物工		第6編1-7-4 護岸付属物工	4-138
	2-4-9 植生工		第3編2-14-2 植生工	4-92
第5節 床固め工	2-5-4 床固め本體工		第8編1-8-4 コンクリートえん堤本體工	4-147
	2-5-5 垂直壁工		第8編1-8-4 コンクリートえん堤本體工	〃
	2-5-6 側壁工		第8編1-8-6 コンクリート側壁工	〃
	2-5-7 水叩工		第8編1-8-8 水叩工	〃
	2-5-8 魚道工			4-148
第6節 根固め・水制工	2-6-4 根固めブロック工		第3編2-3-17 根固めブロック工	4-55
	2-6-6 捨石工		第3編2-3-19 捨石工	〃
	2-6-7 かご工	じゃかご	第3編2-3-27 じゃかご	4-56
		ふとんかご	第3編2-3-27 ふとんかご、かご枠	〃
かごマット		第3編2-3-26 かごマット	〃	
第7節 流路付属物設置工	2-7-2 階段工		第3編2-3-22 階段工	〃
	2-7-3 防止柵工		第3編2-3-7 防止柵工	4-53
第3章 斜面对策				
第4節 法面工	3-4-2 植生工		第3編2-14-2 植生工	4-92
	3-4-3 吹付工		第3編2-14-3 吹付工	〃
	3-4-4 法枠工		第3編2-14-4 法枠工	4-93
	3-4-5 かご工	じゃかご	第3編2-3-27 じゃかご	4-56
		ふとんかご	第3編2-3-27 ふとんかご、かご枠	〃
	3-4-6 アンカー工(プレキャストコンクリート板)		第3編2-14-6 アンカー工	4-93
	3-4-7 抑止アンカー工		第3編2-14-6 アンカー工	〃
第5節 擁壁工	3-5-3 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	4-58
	3-5-4 場所打擁壁工		第3編2-15-1 場所打擁壁工	4-93
	3-5-5 プレキャスト擁壁工		第3編2-15-2 プレキャスト擁壁工	〃
	3-5-6 補強土壁工		第1編2-3-4 盛土補強工	4-49

## 【第8編 砂防編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第5節 擁壁工	3-5-7 井桁ブロック工		第3編2-15-3 井桁ブロック工	4-93
	3-5-8 落石防護工		第10編1-11-5 落石防護柵工	4-149
第6節 山腹水路工	3-6-3 山腹集水路・排水路工		第3編2-3-29 場所打水路工	4-57
	3-6-4 山腹明暗渠工			4-148
	3-6-5 山腹暗渠工		第3編2-3-29 暗渠工	4-57
	3-6-6 現場打水路工		第3編2-3-29 場所打水路工	〃
	3-6-7 集水柵工		第3編2-3-30 集水柵工	〃
第7節 地下水排除工	3-7-4 集排水ボーリング工			4-148
	3-7-5 集水井工			〃
第8節 地下水遮断工	3-8-3 場所打擁壁工		第3編2-15-1 場所打擁壁工	4-93
	3-8-4 固結工		第3編2-7-9 固結工	4-88
	3-8-5 矢板工		第3編2-3-4 矢板工	4-53
第9節 抑止杭工	3-9-3 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	4-58
	3-9-4 場所打杭工		第3編2-4-5 場所打杭工	〃
	3-9-5 シャフト工(深礎工)		第3編2-4-6 深礎工	〃
	3-9-6 合成杭工			4-148

## 【第10編 道路編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第1章 道路改良				
第3節 工場製作工	1-5-2 遮音壁支柱製作工	遮音壁支柱製作工		4-149
		工場塗装工	第3編2-12-11 工場塗装工	4-92
第5節 法面工	1-5-2 植生工		第3編2-14-2 植生工	〃
	1-5-3 法面吹付工		第3編2-14-3 吹付工	〃
	1-5-4 法枠工		第3編2-14-4 法枠工	4-93
	1-5-6 アンカー工		第3編2-14-6 アンカー工	〃
	1-5-7 かご工	じゃかご	第3編2-3-27 じゃかご	4-56
		ふとんかご	第3編2-3-27 じゃかご、ふとんかご	〃
第7節 擁壁工	1-7-3 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	4-58
	1-7-4 場所打杭工		第3編2-4-5 場所打杭工	〃
	1-7-5 場所打擁壁工		第3編2-15-1 場所打擁壁工	4-93
	1-7-6 プレキャスト擁壁工		第3編2-15-2 プレキャスト擁壁工	〃
	1-7-7 補強土壁工	補強土(テールアルメ)壁工法	第1編2-3-4 盛土補強工	4-49
		多数アンカー式補強土工法	第1編2-3-4 盛土補強工	〃
		ジオテキスタイルを用いた補強土工法	第1編2-3-4 盛土補強工	〃
	1-7-8 井桁ブロック工		第3編2-15-3 井桁ブロック工	4-93
第8節 石・ブロック積(張)工	1-8-3 コンクリートブロック工		第3編 2-5-3 コンクリートブロック工	4-59
	1-8-4 石積・石張工		第3編2-5-5 石積(張)工	4-60
第9節 カルバート工	1-9-4 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	4-58
	1-9-5 場所打杭工		第3編2-4-5 場所打杭工	〃
	1-9-6 場所打函渠工			4-149
	1-9-7 プレキャストカルバート工		第3編2-3-28 プレキャストカルバート工	4-57
第10節 排水構造物工(小型水路工)	1-10-3 側溝工		第3編2-3-29 側溝工	〃
	1-10-4 管渠工		第3編2-3-29 側溝工	〃
	1-10-5 集水樹・マンホール工		第3編2-3-30 集水樹工	〃
	1-10-6 地下排水工		第3編2-3-29 暗渠工	〃
	1-10-7 場所打水路工		第3編2-3-29 場所打水路工	〃
	1-10-8 排水工(小段排水・縦排水)		第3編2-3-29 側溝工	〃
第11節 落石雪害防止工	1-11-4 落石防止網工			4-149
	1-11-5 落石防護柵工			〃
	1-11-6 防雪柵工			〃
	1-11-7 雪崩予防柵工			〃
第12節 遮音壁工	1-12-4 遮音壁基礎工			〃
	1-12-5 遮音壁本体工			4-150

## 【第10編 道路編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第2章 舗装				
第4節 舗装工	2-4-5	アスファルト舗装工	第3編2-6-7 アスファルト舗装工	4-61
	2-4-6	半たわみ性舗装工	第3編2-6-8 半たわみ性舗装工	4-65
	2-4-7	排水性舗装工	第3編2-6-9 排水性舗装工	4-69
	2-4-8	透水性舗装工	第3編2-6-10 透水性舗装工	4-73
	2-4-9	グースアスファルト舗装工	第3編2-6-11 グースアスファルト舗装工	4-74
	2-4-10	コンクリート舗装工	第3編2-6-12 コンクリート舗装工	4-75
	2-4-11	薄層カラー舗装工	第3編2-6-13 薄層カラー舗装工	4-83
	2-4-12	ブロック舗装工	第3編2-6-14 ブロック舗装工	4-85
	2-4	歩道路盤工		4-150
	2-4	取合舗装路盤工		〃
	2-4	路肩舗装路盤工		〃
	2-4	歩道舗装工		〃
	2-4	取合舗装工		〃
	2-4	路肩舗装工		〃
	2-4	表層工		〃
	第5節 排水構造物工(路面排水工)	2-5-3	側溝工	第3編2-3-29 側溝工
2-5-4		管渠工	第3編2-3-29 側溝工	〃
2-5-5		集水柵(街渠柵)・マンホール工	第3編2-3-30 集水柵工	〃
2-5-6		地下排水工	第3編2-3-29 暗渠工	〃
2-5-7		場所打水路工	第3編2-3-29 場所打水路工	〃
2-5-8		排水工(小段排水・縦排水)	第3編2-3-29 側溝工	〃
2-5-9		排水性舗装用路肩排水工		4-150
第6節 縁石工	2-6-3	縁石工	第3編2-3-5 縁石工	4-53
第7節 踏掛版工	2-7-4	踏掛版工	コンクリート工	4-150
			ラバーシュー	〃
			アンカーボルト	〃
第8節 防護柵工	2-8-3	路側防護柵工	第3編2-3-8 路側防護柵工	4-53
	2-8-4	防止柵工	第3編2-3-7 防止柵工	〃
	2-8-5	ボックスビーム工	第3編2-3-8 路側防護柵工	〃
	2-8-6	車止めポスト工	第3編2-3-7 防止柵工	〃
第9節 標識工	2-9-3	小型標識工	第3編2-3-6 小型標識工	〃
	2-9-4	大型標識工	標識基礎工	4-150
			標識柱工	4-151

## 【第10編 道路編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第10節 区画線工	2-10-2 区画線工		第3編2-3-9 区画線工	4-53
第12節 道路付属施設工	2-12-4 道路付属物工		第3編2-3-10 道路付属物工	4-54
	2-12-5 ケーブル配管工			4-151
		ハンドホール		
	2-12-6 照明工	照明柱基礎工		〃
第13節 橋梁付属物工	2-13-2 伸縮装置工		第3編2-3-24 伸縮装置工	4-56
第3章 橋梁下部				
第3節 工場製作工	3-3-2 刃口金物製作工		第3編2-12-1 刃口金物製作工	4-90
	3-3-3 鋼製橋脚製作工			4-151
	3-3-4 アンカーフレーム製作工		第3編2-12-8 アンカーフレーム製作工	4-91
	3-3-5 工場塗装工		第3編2-12-11 工場塗装工	4-92
第6節 橋台工	3-6-3 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	4-58
	3-6-4 場所打杭工		第3編2-4-5 場所打杭工	〃
	3-6-5 深礎工		第3編2-4-6 深礎工	〃
	3-6-6 オープンケーソン基礎工		第3編2-4-7 オープンケーソン基礎工	4-59
	3-6-7 ニューマチックケーソン基礎工		第3編2-4-8 ニューマチックケーソン基礎工	〃
	3-6-8 橋台躯体工			4-151
第7節 RC橋脚工	3-7-3 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	4-58
	3-7-4 場所打杭工		第3編2-4-5 場所打杭工	〃
	3-7-5 深礎工		第3編2-4-6 深礎工	〃
	3-7-6 オープンケーソン基礎工		第3編2-4-7 オープンケーソン基礎工	4-59
	3-7-7 ニューマチックケーソン基礎工		第3編2-4-8 ニューマチックケーソン基礎工	〃
	3-7-8 鋼管矢板基礎工		第3編2-4-9 鋼管矢板基礎工	〃
	3-7-9 橋脚躯体工	張出式		
ラーメン式				4-152
第8節 鋼製橋脚工	3-8-3 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	4-58
	3-8-4 場所打杭工		第3編2-4-5 場所打杭工	〃
	3-8-5 深礎工		第3編2-4-6 深礎工	〃
	3-8-6 オープンケーソン基礎工		第3編2-4-7 オープンケーソン基礎工	4-59
	3-8-7 ニューマチックケーソン基礎工		第3編2-4-8 ニューマチックケーソン基礎工	〃
	3-8-8 鋼管矢板基礎工		第3編2-4-9 鋼管矢板基礎工	〃
	3-8-9 橋脚フーチング工	I型・T型		
門型				〃

## 【第10編 道路編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁	
第8節 鋼製橋脚工	3-8-10 橋脚架設工	I型・T型		4-152	
		門型		〃	
	3-8-11 現場継手工			〃	
	3-8-12 現場塗装工		第3編2-3-31 現場塗装工	4-57	
第9節 護岸基礎工	3-9-3 基礎工		第3編2-4-3 基礎工(護岸)	4-53	
	3-9-4 矢板工		第3編2-3-4 矢板工	4-53	
第10節 矢板護岸工	3-10-3 笠コンクリート工		第3編2-4-3 基礎工(護岸)	4-58	
	3-10-4 矢板工		第3編2-3-4 矢板工	4-53	
第11節 法覆護岸工	3-11-2 コンクリートブロック工		第3編2-5-3 コンクリートブロック工	4-59	
	3-11-3 護岸付属物工		第6編1-7-4 護岸付属物工	4-138	
	3-11-4 緑化ブロック工		第3編2-5-4 緑化ブロック工	4-60	
	3-11-5 環境護岸ブロック工		第3編2-5-3 コンクリートブロック工	4-59	
	3-11-6 石積(張)工		第3編2-5-5 石積(張)工	4-60	
	3-11-7 法枠工		第3編2-14-4 法枠工	4-93	
	3-11-8 多自然型護岸工	巨石張り		第3編2-3-26 巨石張り、巨石積み	4-56
		巨石積み		第3編2-3-26 巨石張り、巨石積み	〃
		かごマット		第3編2-3-26 かごマット	〃
	3-11-9 吹付工		第3編2-14-3 吹付工	4-92	
	3-11-10 植生工		第3編2-14-2 植生工	〃	
	3-11-11 覆土工		第1編2-3-5 法面整形工	4-50	
3-11-12 羽口工	じゃかご		第3編2-3-27 じゃかご	4-56	
	ふとんかご		第3編2-3-27 ふとんかご、かご枠	〃	
	かご枠		第3編2-3-27 ふとんかご、かご枠	〃	
	連節ブロック張り		第3編2-5-3 連節ブロック張り	4-60	
第12節 擁壁護岸工	3-12-3 場所打擁壁工		第3編2-15-1 場所打擁壁工	4-93	
	3-12-4 プレキャスト擁壁工		第3編2-15-2 プレキャスト擁壁工	〃	
第4章 鋼橋上部					
第3節 工場製作工	4-3-3 桁製作工		第3編2-12-3 桁製作工	4-90	
	4-3-4 検査路製作工		第3編2-12-4 検査路製作工	〃	
	4-3-5 鋼製伸縮継手製作工		第3編2-12-5 鋼製伸縮継手製作工	4-91	
	4-3-6 落橋防止装置製作工		第3編2-12-6 落橋防止装置製作工	〃	
	4-3-7 鋼製排水管製作工		第3編2-12-10 鋼製排水管製作工	〃	



## 【第10編 道路編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁	
第3節 工場製作工	4-3-8 橋梁用防護柵製作工		第3編2-12-7 橋梁用防護柵製作工	4-91	
	4-3-9 橋梁用高欄製作工			4-152	
	4-3-10 横断歩道橋製作工		第3編2-12-3 桁製作工	4-90	
	4-3-11 鋳造費		第3編2-12-1 鋳造費	4-89	
	4-3-12 アンカーフレーム製作工		第3編2-12-8 アンカーフレーム製作工	4-91	
	4-3-13 工場塗装工		第3編2-12-11 工場塗装工	4-92	
第5節 鋼橋架設工	4-5-4 架設工(クレーン架設)		第3編2-13-1 架設工(クレーン架設)	〃	
	4-5-5 架設工(ケーブルクレーン架設)		第3編2-13-1 架設工(ケーブルクレーン架設)	〃	
	4-5-6 架設工(ケーブルエレクション架設)		第3編2-13-1 架設工(ケーブルエレクション架設)	〃	
	4-5-7 架設工(架設桁架設)		第3編2-13-1 架設工(架設桁架設)	〃	
	4-5-8 架設工(送出し架設)		第3編2-13-1 架設工(送出し架設)	〃	
	4-5-9 架設工(トラベラークレーン架設)		第3編2-13-1 架設工(トラベラークレーン架設)	〃	
	4-5-10 支承工		第6編4-9-10 支承工	4-139	
第6節 橋梁現場塗装工	4-6-3 現場塗装工		第3編2-3-31 現場塗装工	4-57	
第7節 床版工	4-7-2 床版工		第3編2-18-1 床版・横組工	4-94	
第8節 橋梁付属物工	4-8-2 伸縮装置工		第3編2-3-24 伸縮装置工	4-56	
	4-8-3 落橋防止装置工			4-152	
	4-8-5 地覆工		第6編4-12-4 地覆工	4-140	
	4-8-6 橋梁用防護柵工		第6編4-12-5 橋梁用防護柵工	〃	
	4-8-7 橋梁用高欄工		第6編4-12-6 橋梁用高欄工	〃	
	4-8-8 検査路工		第6編4-12-7 検査路工	〃	
第9節 歩道橋本体工	4-9-3 既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工	4-58	
	4-9-4 場所打杭工		第3編2-4-5 場所打杭工	〃	
	4-9-5 橋脚フーチング工	I型		第10編3-8-9 橋脚フーチング工	4-152
		T型		第10編3-8-9 橋脚フーチング工	〃
	4-9-6 歩道橋(側道橋)架設工		第3編2-13-1 架設工	4-92	
	4-9-7 現場塗装工		第3編2-3-31 現場塗装工	4-57	
第5章 コンクリート橋上部					
第3節 工場製作工	5-3-2 プレベーム用桁製作工		第3編2-12-9 プレベーム用桁製作工	4-91	
	5-3-3 橋梁用防護柵製作工		第3編2-12-7 橋梁用防護柵製作工	〃	
	5-3-4 鋼製伸縮継手製作工		第3編2-12-5 鋼製伸縮継手製作工	〃	

## 【第10編 道路編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第3節 工場製作工	5-3-5 検査路製作工		第3編2-12-4 検査路製作工	4-90
	5-3-6 工場塗装工		第3編2-12-11 工場塗装工	4-92
	5-3-7 鋳造費		第3編2-12-1 鋳造費	4-89
第5節 PC橋工	5-5-2 プレテンション桁製作工(購入工)	けた橋	第3編2-3-12 プレテンション桁製作工(購入工)	4-54
		スラブ橋	第3編2-3-12 プレテンション桁製作工(購入工)	〃
	5-5-3 ポステンション桁製作工		第3編2-3-13 ポステンション桁製作工	〃
	5-5-4 プレキャストセグメント製作工(購入工)		第3編2-3-14 プレキャストセグメント製作工(購入工)	〃
	5-5-5 プレキャストセグメント主桁組立工		第3編2-3-14 プレキャストセグメント主桁組立工	〃
	5-5-6 支承工		第6編4-9-10 支承工	4-139
	5-5-7 架設工(クレーン架設)		第3編2-13-1 架設工(クレーン架設)	4-92
	5-5-8 架設工(架設桁架設)		第3編2-13-1 架設工(架設桁架設)	〃
	5-5-9 床版・横組工		第3編2-18-1 床版・横組工	4-94
	5-5-10 落橋防止装置工		第10編16-22-4 落橋防止装置工	4-157
第6節 プレビーム桁橋工	5-6-2 プレビーム桁製作工(現場)			4-153
	5-6-3 支承工		第6編4-9-10 支承工	4-139
	5-6-4 架設工(クレーン架設)		第3編2-13-1 架設工(クレーン架設)	4-92
	5-6-5 架設工(架設桁架設)		第3編2-13-1 架設工(架設桁架設)	〃
	5-6-6 床版・横組工		第3編2-18-1 床版・横組工	4-94
	5-6-9 落橋防止装置工		第10編16-22-4 落橋防止装置工	4-157
第7節 PCホロースラブ橋工	5-7-2 架設支保工(固定)		第3編2-13-1 架設工	4-92
	5-7-3 支承工		第6編4-9-10 支承工	4-139
	5-7-4 PCホロースラブ製作工		第3編2-3-15 PCホロースラブ製作工	4-55
	5-7-5 落橋防止装置工		第10編16-22-4 落橋防止装置工	4-157
第8節 RCホロースラブ橋工	5-8-2 架設支保工(固定)		第3編2-13-1 架設工	4-92
	5-8-3 支承工		第6編4-9-10 支承工	4-139
	5-8-4 RC場所打ホロースラブ製作工		第3編2-3-15 PCホロースラブ製作工	4-55
	5-8-5 落橋防止装置工		第10編16-22-4 落橋防止装置工	4-157
第9節 PC版桁橋工	5-9-2 PC版桁製作工		第3編2-3-15 PCホロースラブ製作工	4-55
第10節 PC箱桁橋工	5-10-2 架設支保工(固定)		第3編2-13-1 架設工	4-92
	5-10-3 支承工		第6編4-9-10 支承工	4-139

## 【第10編 道路編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁	
第10節 PC箱桁橋工	5-10-4 PC箱桁製作工		第3編2-3-16 PC箱桁製作工	4-55	
	5-10-5 落橋防止装置工		第10編16-22-4 落橋防止装置工	4-157	
第11節 PC片持箱桁橋工	5-11-2 PC片持箱桁製作工		第3編2-3-16 PC箱桁製作工	4-55	
	5-11-3 支承工		第6編4-9-10 支承工	4-139	
	5-11-4 架設工(片持架設)		第3編2-13-1 架設工	4-92	
第12節 PC押し箱桁橋工	5-12-2 PC押し箱桁製作工		第3編2-3-16 PC押し箱桁製作工	4-55	
	5-12-3 架設工(押し架設)		第3編2-13-1 架設工	4-92	
第13節 橋梁付属物工	5-13-2 伸縮装置工		第3編2-3-24 伸縮装置工	4-56	
	5-13-4 地覆工		第6編4-12-4 地覆工	4-140	
	5-13-5 橋梁用防護柵工		第6編4-12-5 橋梁用防護柵工	〃	
	5-13-6 橋梁用高欄工		第6編4-12-6 橋梁用高欄工	〃	
	5-13-7 検査路工		第6編4-12-7 検査路工	〃	
第6章 トンネル(NATM)					
第4節 支保工	6-4-3 吹付工			4-153	
	6-4-4 ロックボルト工			〃	
第5節 覆工	6-5-3 覆工コンクリート工			〃	
	6-5-4 側壁コンクリート工		第10編6-5-3 覆工コンクリート工	〃	
	6-5-5 床版コンクリート工			4-154	
第6節 インバート工	6-6-4 インバート本体工			〃	
第7節 坑内付帯工	6-7-5 地下排水工		第3編2-3-29 暗渠工	4-57	
第8節 坑門工	6-8-4 坑門本体工			4-154	
	6-8-5 明り巻工			〃	
第11章 共同溝					
第3節 工場製作工	11-3-3 工場塗装工		第3編2-12-11 工場塗装工	4-92	
第6節 現場打構築工	11-6-2 現場打躯体工			4-155	
	11-6-4 カラー継手工			〃	
	11-6-5 防水工	防水			〃
		防水保護工			〃
防水壁				〃	
第7節 プレキャスト構築工	11-7-2 プレキャスト躯体工			〃	
第12章 電線共同溝					
第5節 電線共同溝工	12-5-2 管路工(管路部)			4-156	
	12-5-3 プレキャストボックス工(特殊部)			〃	
	12-5-4 現場打ちボックス工(特殊部)			〃	

## 【第10編 道路編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第6節 付帯設備工	12-6-2	ハンドホール工		4-156
第13章 情報ボックス工				
第3節 情報ボックス工	13-3-4	管路工(管路部)	第10編12-5-2 管路工(管路部)	4-156
第4節 付帯設備工	13-4-2	ハンドホール工	第10編12-6-2 ハンドホール工	〃
第14章 道路維持				
第4節 舗装工	14-4-3	路面切削工	第3編2-6-15 路面切削工	4-86
	14-4-4	舗装打換え工	第3編2-6-16 舗装打換え工	4-87
	14-4-5	切削オーバーレイ工		4-156
	14-4-6	オーバーレイ工	第3編2-6-17 オーバーレイ工	4-87
	14-4-7	路上再生工		4-156
	14-4-8	薄層カラー舗装工	第3編2-6-13 薄層カラー舗装工	4-83
	14-4-11	グルーピング工		4-157
第5節 排水構造物工	14-5-3	側溝工	第3編2-3-29 側溝工	4-57
	14-5-4	管渠工	第3編2-3-29 側溝工	〃
	14-5-5	集水桝・マンホール工	第3編2-3-30 集水桝工	〃
	14-5-6	地下排水工	第3編2-3-29 暗渠工	〃
	14-5-7	場所打水路工	第3編2-3-29 場所打水路工	〃
	14-5-8	排水工	第3編2-3-29 側溝工	〃
第6節 防護柵工	14-6-3	路側防護柵工	第3編2-3-8 路側防護柵工	4-53
	14-6-4	防護柵工	第3編2-3-7 防止柵工	〃
	14-6-5	ボックスビーム工	第3編2-3-8 路側防護柵工	〃
	14-6-6	車止めポスト工	第3編2-3-7 防止柵工	〃
第7節 標識工	14-7-3	小型標識工	第3編2-3-6 小型標識工	〃
	14-7-4	大型標識工	第10編2-9-4 大型標識工	4-150
第8節 道路付属施設工	14-8-4	道路付属物工	第3編2-3-10 道路付属物工	4-54
	14-8-5	ケーブル配管工	第10編2-12-5 ケーブル配管工	4-151
	14-8-6	照明工	第10編2-12-6 照明工	〃
第10節 擁壁工	14-10-3	場所打擁壁工	第3編2-15-1 場所打擁壁工	4-93
	14-10-4	プレキャスト擁壁工	第3編2-15-2 プレキャスト擁壁工	〃
第11節 石・ブロック積(張)工	14-11-3	コンクリートブロック工	第3編2-5-3 コンクリートブロック工	4-59
	14-11-4	石積(張)工	第3編2-5-5 石積(張)工	4-60
第12節 カルバート工	14-12-4	場所打函渠工	第10編1-9-6 場所打函渠工	4-149
	14-12-5	プレキャストカルバート工	第3編2-3-28 プレキャストカルバート工	4-57
第13節 法面工	14-13-2	植生工	第3編2-14-2 植生工	4-92
	14-13-3	法面吹付工	第3編2-14-3 吹付工	〃

## 【第10編 道路編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第13節 法面工	14-13-4 法枠工		第3編2-14-4 法枠工	4-93
	14-13-6 アンカー工		第3編2-14-6 アンカー工	〃
	14-13-7 かご工	じゃかご	第3編2-3-27 じゃかご	4-56
		ふとんかご	第3編2-3-27 ふとんかご、かご枠	〃
第15節 橋梁付属物工	14-15-2 伸縮継手工		第3編2-3-24 伸縮装置工	〃
	14-15-4 地覆工		第6編4-12-4 地覆工	4-140
	14-15-5 橋梁用防護柵工		第6編4-12-5、6 橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	〃
	14-15-6 橋梁用高欄工		第6編4-12-5、6 橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	〃
	14-15-7 検査路工		第6編4-12-7 検査路工	〃
第17節 現場塗装工	14-17-6 コンクリート面塗装工		第3編2-3-11 コンクリート面塗装工	4-54
第16章 道路修繕				
第3節 工場製作工	16-3-4 桁補強材製作工			4-157
	16-3-5 落橋防止装置製作工		第3編2-12-6 落橋防止装置製作工	4-91
第5節 舗装工	16-5-3 路面切削工		第3編2-6-15 路面切削工	4-86
	16-5-4 舗装打換え工		第3編2-6-16 舗装打換え工	4-87
	16-5-5 切削オーバーレイ工		第10編14-4-5 切削オーバーレイ工	4-156
	16-5-6 オーバーレイ工		第3編2-6-17 オーバーレイ工	4-87
	16-5-7 路上再生工		第10編14-4-7 路上再生工	4-156
	16-5-8 薄層カラー舗装工		第3編2-6-13 薄層カラー舗装工	4-83
第6節 排水構造物工	16-6-3 側溝工		第3編2-3-29 側溝工	4-57
	16-6-4 管渠工		第3編2-3-29 側溝工	〃
	16-6-5 集水桝・マンホール工		第3編2-3-30 集水桝工	〃
	16-6-6 地下排水工		第3編2-3-29 暗渠工	〃
	16-6-7 場所打水路工		第3編2-3-29 場所打水路工	〃
	16-6-8 排水工		第3編2-3-29 側溝工	〃
第7節 縁石工	16-7-3 縁石工		第3編2-3-5 縁石工	4-53
第8節 防護柵工	16-8-3 路側防護柵工		第3編2-3-8 路側防護柵工	〃
	16-8-4 防止柵工		第3編2-3-7 防止柵工	〃
	16-8-5 ボックスビーム工		第3編2-3-8 路側防護柵工	〃
	16-8-6 車止めポスト工		第3編2-3-7 防止柵工	〃
第9節 標識工	16-9-3 小型標識工		第3編2-3-6 小型標識工	〃
	16-9-4 大型標識工		第10編2-9-4 大型標識工	4-150
第10節 区画線工	16-10-2 区画線工		第3編2-3-9 区画線工	4-53

## 【第10編 道路編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第12節 道路付属物施設工	16-12-4 道路付属物工		第3編2-3-10 道路付属物工	4-54
	16-12-5 ケーブル配管工		第10編2-12-5 ケーブル配管工	4-151
	16-12-6 照明工		第10編2-12-6 照明工	〃
第14節 擁壁工	16-14-3 場所打擁壁工		第3編2-15-1 場所打擁壁工	4-93
	16-14-4 プレキャスト擁壁工		第3編2-15-2 プレキャスト擁壁工	〃
第15節 石・ブロック積(張)工	16-15-3 コンクリートブロック工		第3編2-5-3 コンクリートブロック工	4-59
	16-15-4 石積(張)工		第3編2-5-5 石積(張)工	4-60
第16節 カルバート工	16-16-4 場所打函渠工		第10編1-9-6 場所打函渠工	4-149
	16-16-5 プレキャストカルバート工		第3編2-3-28 プレキャストカルバート工	4-57
第17節 法面工	16-17-2 植生工		第3編2-14-2 植生工	4-92
	16-17-3 法面吹付工		第3編2-14-3 吹付工	〃
	16-17-4 法枠工		第3編2-14-4 法枠工	4-93
	16-17-6 アンカー工		第3編2-14-6 アンカー工	〃
	16-17-7 かご工	じゃかご	第3編2-3-27 じゃかご	4-56
		ふとんかご	第3編2-3-27 ふとんかご、かご枠	〃
第18節 落石雪害防止工	16-18-4 落石防止網工		第10編1-11-4 落石防止網工	4-149
	16-18-5 落石防護柵工		第10編1-11-5 落石防護柵工	〃
	16-18-6 防雪柵工		第10編1-11-6 防雪柵工	〃
	16-18-7 雪崩予防柵工		第10編1-11-7 雪崩予防柵工	〃
第20節 鋼桁工	16-20-3 鋼桁補強工		第10編16-3-4 桁補強材製作工	4-157
第21節 橋梁支承工	16-21-3 鋼橋支承工		第6編4-9-10 支承工	4-139
	16-21-4 PC橋支承工		第6編4-9-10 支承工	〃
第22節 橋梁付属物工	16-22-4 落橋防止装置工			4-157
	16-22-6 地覆工		第6編4-12-4 地覆工	4-140
	16-22-7 橋梁用防護柵工		第6編4-12-5 橋梁用防護柵工	〃
	16-22-8 橋梁用高欄工		第6編4-12-6 橋梁用高欄工	〃
	16-22-9 検査路工		第6編4-12-7 検査路工	〃
第25節 現場塗装工	16-25-3 橋梁塗装工		第3編2-3-31 現場塗装工	4-57
	16-25-6 コンクリート面塗装工		第3編2-3-11 コンクリート面塗装工	4-54

## 【第11編 公園緑地編】

## 出来形管理写真目次

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第2章 植栽				
第3節 植栽工	2-3-3 高木植栽工	高木植栽		4-158
		高木植栽(支柱有・幹巻有)		〃
		高木植栽(支柱有・幹巻無)		〃
	2-3-4 中低木植栽工	中低木植栽		〃
		中低木植栽(支柱無)		〃
		中低木植栽(支柱有)		〃
	2-3-6 地被類植栽工	地被類植栽		〃
第3章 施設整備				
第7節 園路広場整備工	3-7-10 土系舗装工	土系舗装		〃
第9節 遊戯施設整備工	3-9-3 遊具組立設置工	ブランコ		4-159
		ジャングルジム		〃
		滑台		〃
		鉄棒		〃
		ラダー		〃
		はん登棒		〃
		スプリング遊具		〃
		複合遊具		〃
		健康器具		〃
第9節 遊戯施設整備工	3-9-4 小規模現場打遊具工	砂場		〃
第10節 サービス施設工	3-10-4 水飲み場工	水飲み場		〃
		ベンチ		〃
	3-10-5 ベンチ・テーブル工	縁台		〃
		テーブル		〃
		スツール		〃
		野外卓		〃

## 【第12編 下水道編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第1章 管路				
第3節 管渠工	1-3-3 管路土工	床掘		4-160
		埋戻		〃
	1-3-4 管布設工	管布設		〃
	1-3-5 管基礎工	管基礎工		〃
	1-3-7 土留工	土留工		〃
	1-3-11 開削水替工	水替		〃
第7節 マンホール工		マンホール基礎工		〃
		組立・小型・円形マンホール工		〃
第8節 特殊マンホール工		特殊マンホール工		〃
第9節 取付管及び樹設置工	1-9-4 樹設置工	樹		〃
	1-9-5 取付管布設工	取付管		4-161
第4節 管渠工 (小口径推進)	1-4-3 推進工	掘削		〃
		推進工		〃
		グラウト		〃

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
-----	---	----	------------	---

## 【第13編 上水道編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第1章 上水道				4-162

## 【その他】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
その他				4-163



出来形管理写真撮影箇所一覧表  
 【第1編共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所各1枚	<ul style="list-style-type: none"> <li>出来映えの撮影</li> <li>TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影</li> </ul>
						法長 ※右のいずれかで撮影する。	40m又は1施工箇所に1回 〔掘削後〕		
							「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は1工事に1回 〔掘削後〕		
									「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」に基づき写真測量に用いた全ての画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第1編共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要	
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度		
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	3		盛土工	巻出し厚	100mに1回 〔巻出し時〕	代表箇所各1枚	<ul style="list-style-type: none"> <li>出来映えの撮影・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影</li> </ul>	
							「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要			
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回 〔締固め時〕			
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	4		盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	厚さ	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚		
							法長 幅 ※右のいずれかで撮影する。			40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は1工事に1回 〔施工後〕
										「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」に基づき写真測量に用いた全ての画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。

出来形管理写真撮影箇所一覧表  
 【第1編共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	5		法面整形工(盛土部)	仕上げ状況 厚さ	40m又は1施工箇所 に1回 〔仕上げ時〕	代表箇所各1枚	
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	6		堤防天端工	厚さ 幅	100mに1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
1 共通編	2 土工	4 道路土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所各1枚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出来映えの撮影</li> <li>・ TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが必要な場合のみ)がわかるように撮影</li> </ul>
						法長 ※右のいずれかで撮影する。	40m又は1施工箇所 に1回 〔掘削後〕		
						「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「無人航空機搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による場合は1工事に1回 〔掘削後〕			
						「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」に基づき写真測量に用いた全ての画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。			

出来形管理写真撮影箇所一覧表  
【第1編共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
1 共通編	2 土工	4 道路土工	3 4		路体盛土工 路床盛土工	巻出し厚	100mに1回 〔巻出し時〕	代表箇所各1枚	<ul style="list-style-type: none"> <li>出来映えの撮影・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影</li> </ul>
							「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要		
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回 〔締固め時〕		
		法長幅 ※右のいずれかで撮影する。	40m又は1施工箇所に1回 〔掘削後〕	「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は1工事に1回 〔施工後〕					
						「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」に基づき写真測量に用いた全ての画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。			
1 共通編	2 土工	4 道路土工	5		法面整形工(盛土部)	仕上げ状況 厚さ	40m又は1施工箇所に1回 〔仕上げ時〕	代表箇所各1枚	

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第1編共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
1 共通編	3 無筋、 鉄筋 コンクリート	7 鉄筋工	4	1	組立て	平均間隔	コンクリート打設毎に1回 (重要構造物かつ主鉄筋について適用)	代表箇所各1枚	
						かぶり	コンクリート打設毎に1回 (重要構造物かつ主鉄筋について適用)	代表箇所各1枚	
1 共通編	3 無筋、 鉄筋 コンクリート	7 鉄筋工	4	2	組立て ※新設のコンクリート構造物のうち、橋梁上部工事と下部工事	非破壊試験 (電磁誘導法、電磁波レーダ法)	試験毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚 〔試験種別毎〕	

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	3 共通 的工 種	4		矢板工〔指定仮設・ 任意仮設は除く〕 (鋼矢板) (軽量鋼矢板) (コンクリート矢板) (広幅鋼矢板) (可とう鋼矢板)	根入長	40m又は1施工箇所 に1回 〔打込前後〕	代表箇所各1枚	
						変位	40m又は1施工箇所 に1回 〔打込後〕		
						数量	全数量 〔打込後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	3 共通 的工 種	5		縁石工(縁石・ア スカーブ)	出来ばえ	種別毎に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	3 共通 的工 種	6		小型標識工	基礎幅 基礎高さ 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1 回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	3 共通 的工 種	7		防止柵工 (立入防止柵) (転落(横断)防止 柵) (車止めポスト)	※基礎幅 ※基礎高さ	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分 がある場合) 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
						パイプ取付高	1施工箇所に1回 〔施工後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	3 共通 的工 種	8	1	路側防護柵工 (ガードレール)	※基礎幅 ※基礎高さ ※配筋状況	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分 がある場合) 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
						ビーム取付高	1施工箇所に1回 〔施工後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	3 共通 的工 種	8	2	路側防護柵工 (ガードケーブル)	※基礎幅 ※基礎高さ ※基礎延長	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分 がある場合) 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
						ケーブル取付高	1施工箇所に1回 〔施工後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	3 共通 的工 種	9		区画線工	材料使用量	全数量 〔施工前後〕	代表箇所各1枚	
						出来ばえ	施工日に1回 〔施工前後〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	3	10		道路付属物工 (視線誘導標) (距離標)	高さ	1施工箇所 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	3	11		コンクリート面塗 装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量〔使用前後〕	代表箇所各1枚	
						素地調整状況 (塗替)	スパン毎、部材別 〔施工前後〕		
						塗装状況	各層毎に1回 〔塗装後〕		
3	2	3	12	1	プレテンション桁 製作工(購入工) (けた橋)	断面の外形寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	1スパンに1回 〔製作後〕	代表箇所各1枚	
3	2	3	12	2	プレテンション桁 製作工(購入工) (スラブ橋)	断面の外形寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	1スパンに1回 〔製作後〕	代表箇所各1枚	
3	2	3	13		ポストテンション 桁製作工	シース、PC鋼材 配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕	代表箇所各1枚	
						幅(上) 幅(下) 高さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕		
						中詰め及びグラ ウト状況	1スパンに1回 〔施工時〕		
3	2	3	14	1	プレキャストセグ メント製作工 (購入工)	断面の外形寸法	1スパンに1回 〔製作後〕	代表箇所各1枚	
3	2	3	14	2	プレキャストセグ メント主桁組立工	組立状況	1スパンに1回 〔組立時〕	代表箇所各1枚	

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	15		PCホロースラブ製作工	シーす、PC鋼材配置状況	桁毎に1回〔打設前〕	代表箇所各1枚	
						幅厚さ	桁毎に1回〔型枠取外し後〕		
						中詰め及びグラウト状況	1スパンに1回〔施工時〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	16	1	PC箱桁製作工	シーす、PC鋼材配置状況	桁毎に1回〔打設前〕	代表箇所各1枚	
						幅(上)幅(下)高さ	桁毎に1回〔型枠取外し後〕		
						内空幅内空高さ	桁毎に1回〔型枠設置後〕		
						中詰め及びグラウト状況	1スパンに1回〔施工時〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	16	2	PC押し箱桁製作工	シーす、PC鋼材配置状況	桁毎に1回〔打設前〕	代表箇所各1枚	
						幅(上)幅(下)高さ	桁毎に1回〔型枠取外し後〕		
						内空幅内空高さ	桁毎に1回〔型枠設置後〕		
						中詰め及びグラウト状況	1スパンに1回〔施工時〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	17		根固めブロック工	数量	全数量〔製作後〕	代表箇所各1枚	
						ブロックの形状寸法	形状寸法変わる毎に1回〔製作後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	18		沈床工	格子寸法厚さ割石状況幅	40m又は1施工箇所1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	19		捨石工	幅	40m又は1施工箇所1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	



## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	3	22		階段工	幅 高さ 長さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	3	24	1	伸縮装置工(ゴム ジョイント)	設置状況	1スパンに1回 〔設置後〕	代表箇所各1枚	
3	2	3	24	2	伸縮装置工(鋼製 フィンガージョイ ント)	設置状況	1スパンに1回 〔設置後〕	代表箇所各1枚	
3	2	3	26	1	多自然型護岸工 (巨石張り、巨石 積み)	胴込裏込厚	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						法長			
3	2	3	26	2	多自然型護岸工 (かごマット)	高さ 法長	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	3	27	1	羽口工 (じゃかご)	法長 厚さ	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	3	27	2	羽口工 (ふとんかご、か ご枠)	高さ	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	28		プレキャストカルバート工 (プレキャストボックス工) (プレキャストパイプ工)	据付状況	40m又は1施工箇所 に1回〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						※幅 ※高さ	40m又は1施工箇所 に1回(※印は場所打ち のある場合)〔埋戻し前〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	29	1	側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝) (自由勾配側溝) (管渠)	据付状況	40m又は1施工箇所 に1回〔埋戻し前〕	代表箇所各1枚	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	29	2	場所打水路工	厚さ 幅 高さ	40m又は1施工箇所 に1回〔型枠取外し後〕	代表箇所各1枚	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	29	3	暗渠工	幅 深さ	40m又は1施工箇所 に1回〔埋戻し前〕	代表箇所各1枚	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	30		集水枡工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所各1枚	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	31		現場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量 〔使用前後〕	代表箇所各1枚	
						ケレン状況 (塗替)	スパン毎、部材別 〔施工前後〕		
						塗装状況	各層毎1スパンに1回 〔塗装後〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	4	1		一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均しコンクリート)	幅 厚さ	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	4	3	1	基礎工護岸(現場打)	幅 高さ	40m又は1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所各1枚	
3	2	4	3	2	基礎工護岸(プレキャスト)	据付状況	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	4	4		既製杭工 (既製コンクリート杭) (鋼管杭) (H鋼杭)	偏心量 根入長 数量 杭頭処理状況	1施工箇所に1回 〔打込後〕 1施工箇所に1回 〔打込前〕 全数量 〔打込後〕 1施工箇所に1回 〔処理前、中、後〕	代表箇所各1枚	
3	2	4	5		場所打杭工	根入長 偏心量 数量、杭径 杭頭処理状況 鉄筋組立状況	1施工箇所に1回 〔施工中〕 1施工箇所に1回 〔打込後〕 全数量 〔杭頭余盛部の撤去前、 杭頭処理後〕 1施工箇所に1回 〔処理前、中、後〕 1施工箇所に1回 〔組立後〕	代表箇所各1枚	
3	2	4	6		深礎工	根入長 偏心量 数量、基礎径 ライナープレート設置状況 土質 鉄筋組立状況	全数量 〔掘削後〕 全数量 〔施工後〕 1施工箇所に1回 〔掘削後〕 土質の変わる毎に1回 〔掘削中〕 全数量 〔組立後〕	代表箇所各1枚	

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	7		オープンケーソン 基礎工	沓	1基に1回 〔据付後〕	全枚数	
						ケーソンの長さ ケーソンの幅 ケーソンの高さ ケーソンの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況	1ロットに1回 〔設置後及び型枠取外 し後〕		
						載荷状況	1基に1回 〔載荷時〕		
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に1回 〔施工時〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	8		ニューマチック ケーソン基礎工	沓	1基に1回 〔据付後〕	全枚数	
						ケーソンの長さ ケーソンの幅 ケーソンの高さ ケーソンの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況	1ロットに1回 〔設置後及び型枠取外 し後〕		
						載荷状況	1基に1回 〔載荷時〕		
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に1回 〔施工時〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	9		鋼矢板基礎工	沓	1基に1回 〔据付後〕	全枚数	
						根入長 偏心量 鉄筋組立状況	1基に1回 〔設置後〕		
						載荷状況	1基に1回 〔載荷時〕		
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に1回 〔施工時〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	5 石・ブロック積（張）工	3	1	コンクリートブ ロック工 （コンクリートブ ロック積） （コンクリートブ ロック張り）	厚さ（裏込）	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						法長 厚さ （ブロック積張）	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	5	3	2	コンクリートブロック工 (連節ブロック張り)	法長	40m又は1施工箇所 に1回〔施工後〕 ただし、根入部は40mに 1回	代表箇所各1枚	
3	2	5	3	3	コンクリートブロック工 (天端保護ブロック)	幅	40m又は1施工箇所 に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	5	4		緑化ブロック工	厚さ(裏込)	40m又は1施工箇所 に1回〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						法長 厚さ(ブロック)	40m又は1施工箇所 に1回〔施工後〕 ただし、根入部は40mに 1回		
3	2	5	5		石積(張)工	厚さ(裏込)	40m又は1施工箇所 に1回〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						法長 厚さ(石積・張)	40m又は1施工箇所 に1回〔施工後〕 ただし、根入部は40mに 1回		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	7	1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に準 ずる〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャ ンナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レー ザーキャンナーを用いた出 来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノ ンプリズム方式)を用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」により「厚さ あるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャ ンナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭 載型レーザーキャンナーを 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	7	2	アスファルト舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に準 ずる〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャ ンナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レー ザーキャンナーを用いた出 来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノ ンプリズム方式)を用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」により「厚さ あるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕		
幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャ ンナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭 載型レーザーキャンナーを 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕								

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	7	3	アスファルト舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に準ずる〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザーキャナを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザーキャナを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		



## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	4	アスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	5	アスファルト舗装工(基層工)	整正状況	100mに1回 〔整正後〕	代表箇所各1枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	7	6	アスファルト舗装工(表層工)	整正状況	100mに1回 〔整正後〕	代表箇所各1枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	8	1	半たわみ性舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に準ずる〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	8	2	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に準 ずる〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)」、「地上 型レーザースキャナーを用 いた出来形管理要領(舗装 工事編)(案)」、「地上移 動体搭載型レーザースキャ ナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「TS(ノンブ リズム方式)を用いた出来 形管理要領(舗装工事編) (案)」により「厚さある いは標高較差」を管理する 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャ ナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭 載型レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、「T S(ノンリズム方式)を用 いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	8	3	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安 定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に準 ずる〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写 真不要 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャ ナードを用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レー ザースキャナードを用いた出 来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノ ンプリズム方式)を用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」により「厚さ あるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕		
		幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャ ナードを用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭 載型レーザーキャナードを 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕						

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	8	4	半たわみ性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャ ナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭 載型レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	8	5	半たわみ性舗装工 (基層工)	整正状況	100mに1回 〔整正後〕	代表箇所各1枚	
						タックコート、プ ライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	8	6	半たわみ性舗装工 (表層工)	整正状況	100mに1回 〔整正後〕	代表箇所各1枚	
						タックコート、プ ライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						浸透性ミルク注入 状況	100mに1回 〔注入時〕		
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	9	1	排水性舗装工(下 層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に準 ずる〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャ ナードを用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レー ザースキャナードを用いた出 来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノ ンプリズム方式)を用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」により「厚さ あるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャ ナードを用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭 載型レーザーキャナードを 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、「TS (ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	9	2	排水性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に準ずる〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	9	3	排水性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に準ずる〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースカナナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースカナナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
					幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースカナナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースカナナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			



## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	4	排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースカナードを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースカナードを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	5	排水性舗装工(基層工)	整正状況	100mに1回 〔整正後〕	代表箇所各1枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	6	排水性舗装工(表層工)	整正状況	100mに1回 〔整正後〕	代表箇所各1枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	10	1	透水性舗装工 路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に準 ずる〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャ ナードを用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レー ザースキャナードを用いた出 来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノ ンプリズム方式)を用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」により「厚さ あるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャ ナードを用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭 載型レーザーキャナードを 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	10	2	透水性舗装工 表層工	整正状況	100mに1回 〔整正後〕	代表箇所各1枚	
						タックコート、プ ライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	11	1	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	11	2	グースアスファルト舗装工 (基層工)	整正状況	100mに1回 〔整正後〕	代表箇所各1枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	11	3	グースアスファルト舗装工 (表層工)	整正状況	100mに1回 〔整正後〕	代表箇所各1枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	12	1	コンクリート舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に準 ずる〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャ ナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レー ザースキャナーを用いた出 来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノ ンプリズム方式)を用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」により「厚さ あるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャ ナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭 載型レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	12	2	コンクリート舗装工(粒度調整路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に準 ずる〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)」、「地上 型レーザースキャナーを用 いた出来形管理要領(舗装 工事編)(案)」、「地上移 動体搭載型レーザースキャ ナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「TS(ノンブ リズム方式)を用いた出来 形管理要領(舗装工事編) (案)」により「厚さある いは標高較差」を管理する 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャ ナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭 載型レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、「T S(ノンリズム方式)を用 いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	12	3	コンクリート舗装工(セメント(石灰・瀝青)安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に準 ずる〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写 真不要 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャ ンナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レー ザースキャナーを用いた出 来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノ ンプリズム方式)を用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」により「厚さ あるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕		
幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャ ンナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭 載型レーザーキャナーを 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕								

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	4	コンクリート舗装工(アスファルト中間層)	修正状況	100mに1回 〔修正後〕	代表箇所各1枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	5	コンクリート舗装工(コンクリート舗装版工)	石粉、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所各1枚	
						スリップバー、タイバー寸法、位置	40mに1回 〔据付後〕		
						鉄網寸法位置	40mに1回 〔据付後〕		
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に準ずる〔型枠据付後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		
目地段差	1工事に1回								

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	12	6	コンクリート舗装 装工(転圧コンク リート版工) 下層路盤工	敷均し厚さ	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕		
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に準 ずる〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャ ナードを用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レー ザースキャナードを用いた出 来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノ ンプリズム方式)を用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」により「厚さ あるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕		
幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャ ナードを用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭 載型レーザーキャナードを 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕								



## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	12	7	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に準ずる〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕		
						幅	各層毎20mに1回〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	12	8	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に準ずる〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザーキャナを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザーキャナを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	9	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) アスファルト中間層	校正状況	100mに1回 〔校正後〕	代表箇所各1枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔校正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔校正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	10	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工)	敷均し厚さ 転圧状況	100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に準ずる〔型枠据付後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔校正後〕		
						平坦性	1工事に1回〔実施中〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	12	11	コンクリート舗装工 (連続鉄筋コン クリート舗装工)	石粉、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所各1枚	
						鉄筋寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕		
						横膨張目地部 ダウエルバー 寸法、位置	1 施工箇所に1回 〔据付後〕		
						縦そり突合せ 目地部・縦そり ダミー目地部ダ イバー寸法、位 置	80mに1回 〔据付後〕		
						平坦性	1 施工箇所に1回 〔実施中〕		
						厚さ	各層毎に1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム工法の 場合は打設前後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャ ナードを用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭 載型レーザーキャナードを 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、「TS (ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		
						目地段差	1 工事に1回		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	13	1	薄層カラー舗装工 (下層盤工)	均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						修正状況	各層毎100mに1回 〔修正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に 準ずる〔修正後〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	2	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に 準ずる 〔整正後〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領（舗装工事編） （案）」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	3	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定 処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に 準ずる〔整正後〕 ※コアを採取した場合は 写真不要		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領（舗装工事編） （案）」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	4	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領（舗装工事編） （案）」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	5	薄層カラー舗装工 (基層工)	整正状況	100mに1回 〔整正後〕	代表箇所各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領（舗装工事編） （案）」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	1	ブロック舗装工 (下路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所 に準ずる〔整正後〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領（舗装工事編） （案）」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	2	ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所 に準ずる〔整正後〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領（舗装工事編） （案）」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	3	ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に準ずる〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「T S等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕 ただし、「T S等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	5	ブロック舗装工 (基層工)	整正状況	100mに1回 〔整正後〕	代表箇所各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	15		路面切削工	幅 厚さ(基準高)	1 施工箇所に1回 〔施工後〕 ただし、「T S等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は1工事に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	6	16		舗装打換え工	幅 延長 厚さ	1 施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	6	17		オーバーレイ工	平坦性	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
						タツクコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						整正状況	100mに1回 〔施工後〕		
3	2	7	2		路床安定処理工	施工厚さ 幅	40mに1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	7	3		置換工	置換厚さ 幅	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	7	5		パイルネット工	厚さ 幅	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	7	6		サンドマット工	施工厚さ 幅	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	



## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	7 地盤改良工	7	8	パーチカルドレーン工 (サンドドレーン工) (ペーパードレーン工) (袋詰式サンドドレーン工) 締固め改良工 (サンドコンパクションパイル工)	打込長さ 出来ばえ	200㎡又は1施工箇所 に1回 〔打込み前後〕	代表箇所各1枚	
						抗径 位置・間隔	200㎡又は1施工箇所 に1回 〔打込後〕		
						砂の投入量	全数量 〔打込前後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	7 地盤改良工	9	1	固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	位置・間隔 杭径	1施工箇所に1回 〔打込後〕	代表箇所各1枚	
						深度	1施工箇所に1回 〔打込前後〕		
							ただし、(スラリー攪拌工)において、「施工履歴データを用いた出来形管理要領(固結工(スラリー攪拌工)編)(案)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。		
3 土木工事共通編	2 一般施工	7 地盤改良工	9	3	固結工 (中層混合処理)	施工厚さ 幅	1,000m <sup>3</sup> ～4,000m <sup>3</sup> につき1回、又は施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1回。 〔施工厚さ 施工中〕 〔幅 施工後〕	代表箇所各1枚	
							ただし、「施工履歴データを用いた出来形管理要領(表層安定処理等・中層地盤改良工事編)(案)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。		
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	5	1	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	変位 根入長	40m又は1施工箇所に1回 〔打込前〕	代表箇所各1枚	
						数量	全数量 〔打込後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	5	2	土留・仮締切工 (アンカー工)	削孔深さ	1施工箇所に1回 〔削孔後〕	代表箇所各1枚	
						配置誤差	1施工箇所に1回 〔施工後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	5	3	土留・仮締切工 (連節ブロック張り工)	法長	40m又は1工箇所に1回 〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1回	代表箇所各1枚	

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	10	5	4	土留・仮締切工 (締切盛土)	天端幅 法長	100m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	10	5	5	土留・仮締切工 (中詰盛土)	出来ばえ	100m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	10	9		地中連続壁工(壁 式)	連壁の長さ 変位	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	10	10		地中連続壁工(柱 列式)	連壁の長さ 変位	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	10	22		法面吹付工		第3編2-14-3吹付工に準 ずる		
3	2	12	1	1	casting fee (metal support work)	製作状況	適宜 〔製作中〕	代表箇所各1枚	
3	2	12	1	2	casting fee (large rubber support work)	製作状況	適宜 〔製作中〕	代表箇所各1枚	

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	1	3	仮設材製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	1	4	刃口金物製作工	刃口高さ 外周長	1施工箇所に1回 〔仮組立時〕	代表箇所各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	3	1	桁製作工(仮組立による検査を実施する場合) (シミュレーション仮組立検査を行う場合)	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所各1枚	※シミュレーション仮組立検査の場合は仮組立寸法を省略
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
						仮組立寸法(撮影項目は適宜)	1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	3	2	桁製作工(仮組立検査を実施しない場合)	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	3	3	桁製作工(鋼製堰堤製作工(仮組立時))	仮組立寸法(撮影項目は適宜)	1基に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕	代表箇所各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	4		検査路製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	5		鋼製伸縮継手製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
						仮組立寸法	1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	6		落橋防止装置製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	7		橋梁用防護柵製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	8		アンカーフレーム製作工	仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕	代表箇所各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	9		プレブーム用桁製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
						仮組立寸法	1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	10		鋼製排水管製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	11		工場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量 〔使用前後〕	代表箇所各1枚	
						素地調整状況 (塗替)	部材別 〔施工前後〕		
						塗装状況	各層毎に1回 〔塗装後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	13 橋梁架設工	1		架設工 (クレーン架設) (ケーブルクレーン架設) (ケーブルエレクション架設) (架設桁架設) (送出し架設) (トラベラークレーン架設)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	代表箇所各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工	2	1	植生工 (種子散布工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート工、 植生マット工) (植生筋工) (人工張芝工) (植生穴工)	材料使用量	1工事に1回 〔混合前〕	代表箇所各1枚	
						土羽土の厚さ	100m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕		
						法長	100m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工	2	2	植生工 (植生基材吹付工) (客土吹付工)	清掃状況	200㎡又は1施工箇所に1回 〔清掃後〕	代表箇所各1枚	
						ラス鉄網の重ね合せ寸法	200㎡又は1施工箇所に1回 〔吹付前〕		
						厚さ(検測孔)	200㎡又は1施工箇所に1回 〔吹付後〕		
						法長	100m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		
						材料使用量	1工事に1回〔混合前〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工	3		吹付工 (コンクリート) (モルタル)	清掃状況	200㎡又は1施工箇所に1回 〔清掃後〕	代表箇所各1枚	
						ラス鉄網の重ね合せ寸法	200㎡又は1施工箇所に1回 〔吹付前〕		
						法長	100m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		
						厚さ(検測孔)	200㎡又は1施工箇所に1回 園 〔吹付後〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	14	4	1	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長、 幅、 高さ、 枠中心間隔	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	14	4	2	法枠工(プレキャ スト法枠工)	法長	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	14	6		アンカー工	削孔深さ	1施工箇所に1回 〔削孔後〕	代表箇所各1枚	
						配置誤差	1施工箇所に1回 〔施工後〕		
3	2	15	1		場所打擁壁工	裏込厚さ	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						厚さ 幅 高さ	40m又は1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕		
3	2	15	2		プレキャスト擁壁 工	据付状況	40m又は1施工箇所 に1回 〔埋戻し前〕	代表箇所各1枚	
3	2	15	3		井桁ブロック工	裏込厚さ	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						法長 厚さ	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕		

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第3編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
3	2	16	1		浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船) (グラブ船)	運転状況	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
3	2	18	1		床版・横組工	幅 厚さ 鉄筋の有効高さ 鉄筋のかぶり 鉄筋間隔	1スパンに1回 〔打設前後〕	代表箇所各1枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表  
第4編 港湾・水産編 写真管理基準



## 1. 共通仮設

### 1-1 汚濁防止膜工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1.水質汚濁防止膜	施工管理	取付け、組立て	取付け、組立状況	組立時、全体及び部分	カーテンの接続、アンカー等の取付状況が判明できるように撮影
		設置	設置状況	設置時	作業状況が判明できるよう使用船舶機械を配慮し撮影
		撤去	撤去状況	撤去時	
	品質管理	カーテンの種類、形状	カーテン	組立時、種類及び形状毎	カーテンの種類、規格、形状等が判明できるように撮影
		汚濁防止膜の構造	アンカー、フロート、ワイヤー等	組立時、種類及び形状毎	アンカー、フロート、ワイヤー等の規格形状等が判明できるように撮影
	出来形管理	設置位置	設置状況	設置完了後	正面、側面等全体の設置状況が判明できるように撮影

## 2. 無筋・鉄筋コンクリート

### 2-1 レディーミクストコンクリート

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
	施工管理	材料の貯蔵	セメント、混和材料及び骨材の貯蔵状況	貯蔵時	但し、JISマーク表示認証工場の場合は省略。
		プラントの設備	全景及び細部	施工時	
		材料の計量及び練混ぜ	計量及び練混ぜ状況	施工時	

### 2-2 コンクリートミキサー船

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
	施工管理	材料の貯蔵	セメント、混和材料及び骨材の貯蔵状況	貯蔵時	
		プラントの設備	全景及び細部	施工時	
		材料の計量及び練混ぜ	計量及び練混ぜ状況	施工時	

### 2-3 現場練りコンクリート

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
	施工管理	材料の貯蔵	セメント、混和材料及び骨材の貯蔵状況	貯蔵時	
		プラントの設備	全景及び細部	施工時	
		材料の計量及び練混ぜ	計量及び練混ぜ状況	施工時	

### 2-4 運搬打設工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
	施工管理	準備	打設準備	打設前	打設面の不純物除去、散水状況等を撮影
		運搬	コンクリートの運搬状況	運搬時	但し、JISマーク表示認証工場の場合は省略
		打設	コンクリート打設	打設時	ポンプ、スキップ、シュート、コンベア等の打設方法及び打込状態、締固状態等を撮影
		打継目	レイタンス除去状況	施工時	レイタンス除去状況を撮影
		表面仕上げ	仕上げ状況	表面仕上げ時	天端均し仕上げ状況を撮影
		養生	養生	養生時	打設後(底版、打継各層、天端)の養生状況を撮影

### 2-5 暑中コンクリート

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
	施工管理	施工状況	セメント、骨材、水の温度の管理状況	測定時	2-1レディミクストコンクリートの関連事項を適用する。
			打設面の状況	打設直前	
			打設状況	運搬装置、防護処置等	
			打設中及び打設完了後の保護状況	打設時及び施工完了時	コンクリートの温度保護を必要とした場合

## 2-6 寒中コンクリート

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
	施工管理	施工状況	セメント、骨材、水の温度の管理状況	測定時	2-1レディミクストコンクリートの関連事項を適用する。
			打設面の状況	打設直前	
			打設状況	運搬装置、防護処置等	コンクリートの温度保護を必要とした場合
			打設中及び打設完了後の保護状況	打設時及び施工完了時	

## 2-7 コンクリートの品質管理

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
	品質管理	試験練り	試験状況、供試体作成及び養生状況	試験時、養生時	ただし、JISマーク表示認証工場の場合は省略
		強度試験	試験状況	試験時	設計基準強度の撮影は $\sigma_{28}$ のみとする。
		現場試験	スランプ、空気量、温度測定状況	供試体作成時	

## 2-8 鉄筋工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
	施工管理	棒鋼	保管状況	荷降し後	まくら木の配置、覆いの状態等を撮影
		鉄筋	保管状況	加工後	まくら木の配置、覆いの状態等を撮影
			組立て及び結束	組立時	組立て、結束状態が確認できるように撮影
			吊筋	取付後	

## 2-9 型枠及び支保工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
	施工管理	型枠	製作及び大組製作の状況	製作時	内枠、外枠、隔壁の取外し状況を撮影
			組立状況	組立時	
			取外し状況	取外し時	
			型枠清掃状況	清掃時	

## 2-10 水中コンクリート

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
	施工管理	打設	打設状況	施工時	2-1レディーミクストコンクリート、2-2コンクリートミキサー船、2-3現場練りコンクリート、2-4運搬打設工及び2-9型枠及び支保工の関連事項を適用する。 トレミー、コンクリートポンプ、底開き箱、底開き袋等
		打設用機械器具等	打設状況	施工時	
	出来形管理	出来形の確認	出来形寸法等の測定状況	出来形測定時	

## 2-11 袋詰コンクリート

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
	施工管理	使用船舶機械等	使用船舶、機械等	施工時	2-1レディーミクストコンクリート、2-2コンクリートミキサー船、2-3現場練りコンクリート、2-4運搬打設工、2-9型枠及び支保工及び2-10水中コンクリートの関連事項を適用する。
		袋詰	コンクリート袋詰状況	施工時	
		設置	設置状況	施工時	
	出来形管理	出来形の確認	出来形寸法等の測定状況、設置(積上)状態	出来形測定時	

## 2-12 水中不分離性コンクリート

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
	施工管理	打設	打設状況	施工時	2-1レディーミストコンクリート、2-2コンクリートミキサー船、2-3現場練りコンクリート、2-8鉄筋工及び2-9型枠及び支保工の関連事項を適用する。 トレミー、コンクリートポンプ等
		打設用機械器具等	打設状況	施工時	
	品質管理	各種試験	スランプフロー、圧縮強度、懸濁物質等の試験状況	試験時	
	出来形管理	出来形の確認	出来形寸法等の測定状況	出来形測定時	

## 2-13 プレパックドコンクリート

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明	
			撮影箇所	撮影時期		
	施工管理	型枠状況一般	型枠組立て、建込状況	施工時	2-1レディーミストコンクリート、2-2コンクリートミキサー船、2-3現場練りコンクリート、2-4運搬打設工、2-8鉄筋工及び2-9型枠及び支保工の関連事項を適用する。	
		骨材の投入	骨材洗浄、投入状況	施工時		
		プラントの設備	設備の全景及び細部	施工時		
		注入管及び検査管	管の配置状況	モルタル注入前		配置間隔が判明できるようにテープ等を同時撮影
		モルタル注入	注入状況	注入時		注入の状態が判明できるように全景を撮影
	品質管理	各種試験	圧縮強度、フロー値、膨張率、ブリーディング率等の試験状況	試験時		
	出来形管理	出来形の確認	出来形寸法等の測定状況、岩盤かき均し状況等	測定時		

3. 一般施工  
3-1 共通の工程

特: 図面および特記仕様書

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明	
			撮影箇所	撮影時期		
1. 排砂管設備工						
1) 排砂管設備	施工管理	排砂管設備	排砂管、零号等設置撤去	布設撤去の作業時	設置状況が判明できるように撮影	
2. 土運船運搬工						
1) 土運船運搬	施工管理	土砂の運搬状況	運搬時積載状況	土砂運搬時	運搬経路が判明できる背景を入れて撮影	
3. 揚土土捨工						
1) バージアンローダ揚土 2) 空気圧送揚土 3) リクレーマ揚土 4) バックホウ揚土	施工管理	使用船舶機械等	作業現場	現地搬入前または現地搬入時	全景及び数量が判明できるように撮影	
		バー吉安ローダ揚土、空気圧送揚土	排砂状況	排砂時		
			海洋汚染防止対策	余水吐における濁り防止処置、設置及び状態	特の内容に対応させる	
		リクレーマ揚土、バックホウ揚土	土砂の揚土状況	揚土作業時		
4. 圧密・排水工						
1) サンドドレーン 【海上】	施工管理	使用船舶機器等	杭打船舶機械	組立完了後船舶機械毎打設		
			記録計器	打設時		
			測量櫓等	測量中、櫓等毎		
			砂運搬船舶機械	運搬中		
	品質管理	材料の確認	材料	現場搬入時(種類、品質及び形状寸法の異なる毎)		
			品質試験状況	試験時		
	【陸上】	施工管理	使用施工機械	クローラクレーン	現場搬入時、組立時、機械毎	全景
			その他	発動発電機	現場搬入時、組立時、機械毎	全景
施工状況			作業状況	施工時	全景	
品質管理		材料の確認	品質試験状況	試験時	全景	
	材料置場		現場搬入時	全景		

工 種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
2)敷 砂 3)敷砂均し	施工管理	使用船舶機械等	運搬船舶機械	投入時	全景が判明できるように撮影
			均し船舶機械	均し作業中	均し用具は、作業前に撮影
		その他	海洋汚染防止対策	対策を講じた時	
			飛砂防止対策	対策を講じた時	
	品質管理	材料の確認	材 料	現場搬入時(種類、品質及び形状寸法の異なる毎)	
			品質試験状況	試験時	
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	全景については、位置が判明できる背景を入れる。
4) 載荷土砂	施工管理	使用船舶機械等	砂運搬船、機械	運搬時、船舶機械毎	
			排砂管設備	敷設時	
				排砂中	
		浚渫船(採取船)	浚渫中		
	その他	海洋汚染防止対策	対策を講じた時		
	品質管理	材料の確認	材 料	現場搬入時(種類、品質及び形状寸法の異なる毎)	
			品質試験状況	試験時	
出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	全景については、位置が判明できる背景を入れる。	
5) ペーパードレーン					3-1-4圧密・排水工 1) サンドドレーンを適用する
6) グラベルマット	施工管理	使用船舶機械等	運搬及び均し(船舶) 機械	施工時	全景が判明できるように撮影
					均し用具は、作業前に撮影
		施工状況	砕石投入状況	投入時、規格毎及び作業機	
			砕石均し状況	規格及び作業機械・船種毎	
	その他	海洋汚染防止対策	対策を講じた時		
	品質管理	材料の確認	材 料	現場搬入時(種類、品質及び形状寸法の異なる毎)	
			品質試験状況	試験時	
出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	全景については、位置が判明できる背景を入れる。	

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
7)グラベルドレーン	施工管理	使用施工機械	クローラクレーン	現場搬入時、組立時、機械毎	全景
		その他	アースオーガマシン、リーダーオーガ、発動発電機、コンプレッサ、トラクターショベル	現場搬入時、組立時、機械毎	全景
		施工状況	作業状況	施工時	全景
	品質管理	材料の確認	品質試験状況	試験時	全景
			材料置場	現場搬入時	全景
5. 締固工					
1) ロッドコンパクション	施工管理	使用施工機械	振動体(バイプロ)	現場搬入時、組立時、機械毎	全景
		その他	ロッド、リーダー、トラクターショベル、発動発電機、ショベルローダー	現場搬入時、組立時、機械毎	全景
		施工状況	作業状況	施工時	全景
	品質管理	材料の確認	品質試験状況	試験時	全景
			材料置場	現場搬入時	全景
2) サンドコンパクションパイル【海上】	施工管理	使用船舶機械等	杭打船舶機械	組立完了後船舶機械毎打設時	
			記録計器	打設時	
			測量櫓等	測量中、櫓等毎	
			砂運搬船舶機械	運搬中	
	品質管理	材料の確認	材料置場	現場搬入時(種類、品質及び形状寸法の異なる毎)	
			品質試験状況	試験時	



工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
【陸上】	施工管理	使用施工機械	クローラクレーン	現場搬入時、組立時、機械毎	全 景
		その他	リーダー、発動発電機、コンプレッサ、トラクターショベル	現場搬入時、組立時、機械毎	全 景
		施工状況		施工時	全 景
	品質管理	材料の確認	材料置場	現場搬入時	全 景
			品質試験状況	試験時	全 景
3) 盛土土砂撤去	施工管理	使用船舶機械等	使用船舶、機械等	施工時	使用機械器具が判明できるように撮影
		施工状況	撤去状況	撤去中	
		その他	海洋汚染防止対策	対策を講じた時	
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	
4) 敷 砂 5) 敷砂均し					3-1-4圧密・排水工 2) 敷砂、3) 敷砂均しを適用する。
6. 固化工					
1) 深層混合処理杭	施工管理	使用船舶機器等	改良船、材料運搬船、潜水士船、引船、揚錨船	搬入時、船舶機械毎	
			施工状況	測量櫓設置、撤去状況	測量櫓設置時、改良船位誘導時
		障害物撤去状況		障害物調査、撤去時	
		改良杭打設状況		試験杭打時、作業時	
		海洋汚染防止対策		対策を講じた時	
		改良船計器類 代表的計器		計測時	
	品質管理	材料の確認	固化材料	現場搬入時、材料毎	
			品質管理試験状況	試験時、試験種類毎	
2) 盛土土砂撤去					3-1-5締固工 3) 盛土土砂撤去を適用する。
3) 敷 砂					3-1-4圧密・排水工 2) 敷砂、3) 敷砂均しを適用する。
4) 敷砂均し					

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
5) 事前混合処理	施工管理	使用船舶機器等	主要船舶機械	搬入時、船舶機械毎	使用する船舶機械の種類が判明できるように撮影
		材料の貯蔵	貯蔵状況	貯蔵時	
		プラントの設備	全景及び細部	施工時	
		施工状況	混合処理状況	混合作業時	
			処理土運搬状況	運搬時	
			処置土投入状況	投入時	
	品質管理	材料の確認	固化材料	現場搬入時、材料毎	
			品質管理試験状況	試験時、試験種類毎	
6) 表層固化処理	施工管理	使用船舶機器等	主要船舶機械	搬入時、船舶機械毎	使用する船舶機械の種類が判明できるように撮影
		材料の貯蔵	貯蔵状況	貯蔵時	
		プラントの設備	全景及び細部	施工時	
		施工状況	配合状況	施工時	
			固化処理状況	施工時	
	品質管理	材料の確認	固化材料	現場搬入時、材料毎	
			配合試験状況	試験時	
			品質管理試験状況	試験時、試験種類毎	
7. 洗掘防止工					
1) 洗掘防止	施工管理	マット類の確認	補強材セット状況	施工時	作業状況が判明できるように撮影
			アスファルトコンクリート打設状況	アスファルトコンクリート打設時	
			搬入仮置	搬入仮置時	
			アンカー取付け、加工	取付加工時	
			運搬	運搬時	
		敷設状況	敷設状況と使用船舶機械	敷設時	
	出来形管理	出来形の確認	敷設位置、重ね幅、延長及びジョイントの確認	敷設完了時	確認箇所が判る背景を入れる。

工 種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明	
			撮影箇所	撮影時期		
8. 中詰工						
1) 砂・石材中詰	施工管理	使用船舶機械等	運搬船等	施工時	作業状況が判明できるように撮影	
		投入	投入状況	施工時		
		均し	均し状況	施工時		
		締固め	締固め状況	施工時		
	品質管理	品質管理	品質試験状況	試験項目毎		
		材料の確認	材料及び作業船等	搬入時に適宜	テープ等を同時撮影	
出来形管理	出来形の確認	測定状況	均し完了後	中詰材の天端とケーソン天端との高低差が判明できるようにテープ等を同時撮影		
2) コンクリート中詰				2.無筋・鉄筋コンクリートの関連事項及び3-1-8 1)砂・石材中詰を適用する。		
9. 蓋コンクリート工						
1) 蓋コンクリート	施工管理	使用船舶機械等	コンクリートミキサー船及び付属船	コンクリート打設前	・コンクリートミキサー船及び付属船の形状が判るように前方、側面からそれぞれ撮影 ・作業状況が判明できるように撮影	
		ルーフィング敷設	中詰上面	コンクリート打設前		
	品質管理				2-7 コンクリートの品質管理を適用する。	
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	打設完了後	蓋コンクリートの施工天端とケーソン又はセルラーブロックの天端との差が判明できるようにテープ等を同時撮影	
10. 蓋ブロック工						
1) 蓋ブロック製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。	
		使用船舶機械等	クレーン等	施工時		
		函 台	製作函台	着工時		
	品質管理				2-7 コンクリートの品質管理を適用する。	
	出来形管理	鉄 筋	組立てかぶり	組立完了時	3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。	
		型 枠	組立完了	組立確認時		
		コンクリート	形状寸法、外観	打設後	番号等を入れて撮影	
		完 成	完成品	完成品	完成時	個数が確認できれば1枚に複数枚入れて撮影(全個数確認必要枚数撮影)
			仮置状況	仮置状況	仮置時	積重ね段数が判明できるように撮影

工 種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
2) 蓋ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	施工時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		据付作業	据付作業状況	据付時	据付作業が判明できるように撮影
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	据付の全体が判明できるように撮影
3) 間詰コンクリート	施工管理	使用船舶機械等	コンクリートミキサー船及び付属船	コンクリート打設前	3-1-9 蓋コンクリート工の関連事項を適用する。
		ルーフィング敷設	中詰上面	コンクリート打設前	
	品質管理				2-7 コンクリートの品質管理を適用する。
11. 鋼矢板工					
1) 先行掘削	施工管理	掘 削	掘削状況	施工時	
2) 鋼矢板	施工管理	矢板の保管	保管状況	保管時	全景及びまくら木、くさび等の変形、転落防止措置を撮影
		矢板の積込み	吊上げ及び積込状況	施工時	使用機械器具、積込方法が判明できるように撮影
		矢板の運搬	運搬状況	施工時	荷ぐずれ防止措置、台船への積載状況、使用船舶機械等が判明できるように撮影
		導材の設置	導材の設置状況	施工時	使用材料及び船舶機械、導材の構造が判明できるように撮影
		矢板の建込み	建込状況(位置出し、吊込み、建込み等)	施工時	作業状況が判明できるように撮影
		矢板の打込み	打込状況	施工時	杭打船等の全景、打込み方法、順序等が判明できるように撮影
			ハンマーの種類、型式等	適 宜	
			打込記録中	測定時	
		飛油、騒音防止対策	対策を講じた時	飛油対策、騒音防止対策等を行った場合	
継ぎ手部の離脱	離脱箇所	離脱があった時	離脱部の状況が判明できるように撮影すること。		
品質管理	矢板の規格、外觀、形状寸法	観察、測定状況	観察、測定時	種類、形状寸法が変る毎にテープ等を同時撮影	
出来形管理	出来形の確認	測定作業状況	施工時及び打込完了時		

工 種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
12. 控工					
1)控鋼矢板 2)控鋼管 3)腹 起 4)タイ材	施工管理	腹起しの取付け	取付け及び締付状況	施工時及び完了時	
		タイロッド受杭			3-1-11鋼矢板工を適用する。
		タイロッド、タイワイヤーの組立て、取付け プレキャストコンクリート控壁控杭、控矢板控頂部コンクリート、揚所打コンクリート控壁	組立て及び取付状況	施工時	3-1-11 鋼矢板工を適用する。 3-5 本体工(ブロック式)を適用する。 3-13-1 上部コンクリート工を適用する。
	品質管理	腹起し材、タイロッド、タイワイヤーの規格、外観、形状寸法	観察、測定状況	観察、測定時	種類、形状寸法が変る毎にテープ等を同時撮影
		タイロッド、タイワイヤーの試験杭、矢板の品質、コンクリート品質	引張試験の状況	試験時	3-1-11 鋼矢板工を適用する。 3-13-1 上部コンクリート工を適用する。
	出来形管理	出来形の確認	測定状況、完成状況	施工時及び取付完了時	

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
13. 鋼杭工					
1) 先行掘削					3-1-11 鋼矢板工 1) 先行掘削を適用する。
2) 鋼杭	施工管理	杭の保管	保管状況	保管時	全景及びまくら木、くさび等の変形、転落防止措置を撮影
		杭の積込み	吊上げ及び積込状況	施工時	使用機械器具、積込方法が判明できるように撮影
		杭の運搬	運搬状況	施工時	荷くずれ防止措置、台船への積載状況、使用船舶機械等が判明できるように撮影
		導材の設置	導材の設置状況	施工時	使用材料及び船舶機械、導材の構造が判明できるように撮影
		杭の建込み	建込状況(位置出し、吊込み、建込み等)	施工時	作業状況が判明できるように撮影
		杭の打込み	打込状況	施工時	杭打船等の全景、打込み方法、順序等が判明できるように撮影
			ハンマーの種類、型式等	適宜	
	打込記録中		測定時		
		飛油、騒音防止対策	対策を講じた時	飛油対策、騒音防止対策等を行った場合	
品質管理	杭の規格、外観、形状寸法	観察、測定状況	観察、測定時	種類、形状寸法が変る毎にテープ等を同時撮影	
出来形管理	出来形の確認	測定作業状況	施工時及び打込完了時		
14. コンクリート杭工					
1) コンクリート杭					3-1-13 鋼杭工 2) 鋼杭を適用する。
15. 防食工					
1) 電気防食	施工管理	使用船舶機械等	曳船、台船、潜水土船、溶接機等	取付時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		製品(陽極)	取付陽極	取付前	取付陽極の部分(1組)及び取付陽極全体
		取付け(陽極)	取付状況	取付時	取付状況(水中写真)
		(電位測定装置)	設置状況	取付時	測定用端子の設置状況
	品質管理	形状寸法	測定状況	測定時	
	出来形管理	出来形の確認(陽極)	取付完了状態	取付完了時	潜水土船または潜水土による確認検査状況
		(電位測定装置)	電位測定	測定時	電位差測定の状況

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
2) FRP-モルタル被覆	施工管理	使用船舶機械等	曳船、台船、潜水士船、溶接機等	取付時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		施工状況	モルタル注入	施工時	
		製品(FRP)		取付前、取付後	
		施工状況	設置状況	取付時	FRP被覆材の設置状況
	品質管理	形状寸法	測定状況	測定時	
	出来形管理	出来形の確認	被覆防食完了状態	取付完了時	完了の部分(1箇所)及び正面全体と延長方向を撮影
(素地調整)	施工管理	使用機械	コンプレッサー、ケレン工具等	施工時	使用機械器具が判明できるように撮影
		施工状況	作業状況	施工時	
	出来形管理	完成	完成全景	完成時	
(モルタル工)	施工管理	使用機械	モルタルポンプ、発電機等	施工時	使用機械器具が判明できるように撮影
		施工状況	作業状況	施工時	
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	
		完成	完成全景	完成時	
3) ペトラタム被覆	施工管理	使用船舶機械等	曳船、台船、潜水士船、溶接機等	取付時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		製品(FRP等)		取付前、取付後	
		施工状況	設置状況	取付時	FRP等保護材設置状況
	品質管理	形状寸法	測定状況	測定時	
	出来形管理	出来形の確認(陽極)	被覆防食完了状態	取付完了時	完了の部分(1箇所)及び正面全体と延長方向を撮影
		(電位測定装置)	電位測定	測定時	電位差測定の状況
(素地調整)	施工管理	使用機械	コンプレッサー、ケレン工具等	施工時	使用機械器具が判明できるように撮影
		施工状況	作業状況	施工時	
	出来形管理	完成	完成全景	完成時	

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
(防食工)	施工管理	使用機械	取付用工具	施工時	使用機械器具が判明できるように撮影
		施工状況	作業状況	施工時	
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	
		完成	完成全景	完成時	
4)コンクリート被覆	施工管理	使用船舶機械等	曳船、台船、潜水士船、溶接機等	施工時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		被覆防食の作業状況	施工状況	施工時	
	出来形管理	出来形の確認	被覆防食完了状態	完了時	完了部分(1箇所)及び正面全体と延長方向を撮影
5)防食塗装	施工管理	使用船舶機械等	曳船、台船、潜水士船、溶接機等	施工時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		塗装	施工状況	施工時、各層毎	
	出来形管理	出来形の確認	塗装完了状態	完了時	完了部分(1箇所)及び正面全体と延長方向を撮影

### 3-2 海上地盤改良工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1. 床掘工					
1) ポンプ床掘	施工管理	使用船舶機械等	作業現場	現地搬入前または現地搬入時	全景及び数量が判明できるように撮影
		床掘	床掘位置測量状況	測量時	法線又は区域標識を入れる。
			中継船設置、撤去	設置撤去の作業時	
			床掘状況	浚渫作業時、作業船毎	床掘位置が判明できる背景を入れる。
		障害物除去	障害物積込状況	積込時	
			運搬船に積込まれた状態	積込完了時、運搬船適宜	運搬個数が判明できるように撮影、或いは障害物の大きさが判明できるようにテープ等を同時に撮影、など障害物の状況に応じ撮影
	障害物捨込状況		捨込時		
出来形管理	出来形の確認	測定状況	測量作業時	全景については、位置が判明できる背景を入れる。	



工 種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明	
			撮影箇所	撮影時期		
2)グラブ床堀 3)硬度盤床堀 4)砕岩床堀 5)バックホウ床堀	施工管理	使用船舶機械等	作業現場	現地搬入前または現地搬入時	全景及び数量が判明できるように撮影。	
		床堀	床堀位置測量状況	測量時	測量時	法線又は区域標識を入れる。
			床堀状況	床堀作業時、作業船毎	床堀作業時、作業船毎	船団の配置及び床堀位置が判明できる背景を入れる。
			土質状況	床堀作業時	床堀作業時	位置、深度又は層を明記する。
			障害物積込状況	積込時	積込時	
			運搬船に積込まれた状態	積込完了時、運搬船毎適宜	積込完了時、運搬船毎適宜	運搬個数が判明できるように撮影、或いは障害物の大きさが判明できるようにテープ等を同時に撮影、など障害物の状況に応じ撮影。
	障害物捨込状況	捨込時	捨込時			
出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	測定時	全景については、位置が判明できる背景を入れる。	
2. 置換工						
1)置換材 2)置換材均し	施工管理	使用船舶機械等	運搬船舶機械	投入時	投入時	全景が判明できるように撮影
			均し船舶機械	均し作業時	均し作業時	均し用具は、作業前に撮影
		その他	海洋汚染防止対策	対策を講じた時	対策を講じた時	
			飛砂防止対策	対策を講じた時	対策を講じた時	
	品質管理	材料の確認	材料	現場搬入時(種類、品質及び形状寸法の異なる毎)	現場搬入時(種類、品質及び形状寸法の異なる毎)	
			品質試験状況	試験時	試験時	
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	測定時	全景については、位置が判明できる背景を入れる。

### 3-3 基礎工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1. 基礎盛砂工					
1)盛砂 2)盛砂均し	施工管理	使用船舶機械等	運搬船舶機械	投入時	全景が判明できるように撮影
			均し船舶機械	均し作業時	均し用具は、作業前に撮影
		その他	海洋汚染防止対策	対策を講じた時	
	品質管理	材料の確認	材料	現場搬入時(種類、品質及び形状寸法の異なる毎)	
			品質試験状況	試験時	
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	全景については、位置が判明できる背景を入れる。
2. 洗掘防止工					3-1-7洗掘防止工を適用する。
3. 基礎捨石工					
1)基礎捨石 2)捨石本均し 3)捨石荒均し	施工管理	準備、仮設	ストックヤード、仮設道路等	仮設道路、ストックヤード使用前	
		陸上運搬	ストック、積み込み、運搬状況	運搬時	使用機械作業状況などが判明できるように撮影
		捨石投入	投入状況	投入時、捨石規格毎及び作業船種毎	
		捨石均し	均し状況	規格及び作業船毎	
	品質管理	材料試験	試験状況	試験時	公的機関が実施する場合は省略できる。
		材料の確認	産地・規格毎	搬入時	スタッフ、テープ等を同時撮影
	出来形管理	出来形の確認	測量状況	測量作業時	
4. 袋詰コンクリート工					2-11袋詰コンクリートを適用する。

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
5. 基礎ブロック工					
1)基礎ブロック製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	ヤード全景及び設備が判明出来るように撮影
		使用船舶機械等	クレーン等	施工時	使用する機械等の種類が判明できるように撮影
		函台	製作函台	着工時	
	品質管理				2-7コンクリートの品質管理を適用する。
	出来形管理	鉄筋	組立てかぶり	組立完了時	3-4-1ケーソン製作工の関連事項を適用する。
		型枠	組立完了	組立確認時	函台、函台の平坦性(敷砂等)及び剥離材(ルーフィング等)敷設状況の撮影
		コンクリート	形状寸法、外観	打設後	番号等を入れて撮影
		完成	完成品	完成時	完成時
	仮置状況		仮置時	仮置時	積重ね段数が判明できるように撮影
	2)基礎ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	施工時
据付作業			据付作業状況	据付時	据付作業が判明できるように撮影
出来形管理		出来形の確認	測定状況	目的測定時及び法線出入の測定時	据付の全体が判明できるように撮影
6. 水中コンクリート工					2-10水中コンクリートを適用する。
7. 水中不分離性コンクリート工					2-12水中不分離コンクリートを適用する。

### 3-4 本體工(ケーソン式)

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1. ケーソン製作工					
1)ケーソン製作用台船	施工管理	使用船舶機械等	フローティングドック、引船、起重機船、運搬船、クレーン運搬機械等	施工時	使用する船舶、機械の種類が判明できるように撮影
		ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	ヤード全景及び設備が判明できるように撮影
2)底面	施工管理	函台	製作函台	着工時及び施工時	函台、函台の平坦性(敷砂等)及び剥離材(ルーフィング等)の敷設状況の撮影

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
3) マット	施工管理	摩擦増大用マット類の確認	補強材セット状況	作業中、完了時	作業状況が判明できるように撮影
			アスファルトコンクリート打設状況	アスファルトコンクリート打設時	
			搬入仮置	搬入仮置時	
			アンカー取付け、加工	取付加工時	
			運搬	運搬時	
	摩擦増大マット敷設状況	敷設状況と使用船舶機械	敷設時		
	出来形管理	摩擦増大マット出来形の確認	敷設位置、重ね幅、延長及びジョイントの確認	敷設完了時	確認箇所が判る背景を入れる。
4) 支保					2-9型枠及び支保工を適用する。
5) 足場	施工管理	足場	組立状況	組立時	内足場及び外足場の組立状況を撮影  足場の構造、安全ネット等が判明できるように撮影
			昇り足場設置状況	同上	
			壁継ぎ設置状況	同上	
			足場スペースの確保状況	同上	
			解体状況	解体時	
6) 鉄筋	施工管理				2-8鉄筋工を適用する。
	出来形管理	鉄筋	組立て	組立段階確認時	組立完了状況が判明できるように撮影
			底版		
			フーチング	組立段階確認時	
			外壁(側壁)	各層 組立段階確認時	
			隔壁	各層 組立段階確認時	
			ハンチ部	上段 組立段階確認時	
			吊筋等	上段 組立段階確認時	
かぶり	各層 組立段階確認時	鉄筋と型枠の間隔が判明できるように撮影			
7) 型枠	施工管理				2-9型枠及び支保工を適用する。
	出来形管理	型枠	組立て	組立段階確認時	組立完了状況が判明できるように撮影
			底版		
			フーチング	組立段階確認時	
			外壁(側壁)	各層 組立段階確認時	
			隔壁	各層 組立段階確認時	
ハンチ部	上段 組立段階確認時				

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明	
			撮影箇所	撮影時期		
8)コンクリート	施工管理				2-4運搬打設工を適用する。	
	品質管理				2-7コンクリートの品質管理を適用する。	
	出来形管理	コンクリート	形状寸法、外観	打設後、各層	打設完了状況が判明できるように撮影	
		完成	完成品全景	完成時、各函毎	ケーソン番号、吃水マーク等を入れて撮影	
2. ケーソン進水据付工						
1)バラスト	施工管理	バラスト投入	バラスト材投入状況	投入時	バラスト投入方法及び材料が判明できるように撮影	
2)止水板	施工管理	止水板	止水板の設置状況	進水時	曳航の場合で蓋の取付状況又は取付完了状態を撮影	
3)上蓋	施工管理	蓋(ネットを含む。)	蓋の設置状況	進水時	曳航の場合で蓋の取付状況又は取付完了状態を撮影	
4)進水	施工管理	進水	進水方法	進水時	斜路式、ドライドック、FD、吊降し等の方法が判明できるように撮影	
			進水設備	進水時	設備(吊降しの場合、起重機船、吊具を含む。)が判明できるように撮影	
			進水状況	進水時	漏水がある場合は漏水状況及び処置状況を撮影	
		浮上	浮上又は吊上げ完了状況	進水(吊上げ)完了時	計画吃水であることが確認できるように撮影	
5)仮置	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、発電機、ポンプ等設置状況	設置時	使用する船舶機械等の種類が判明できるように撮影	
		(沈設の場合)	仮置作業	沈設状況	仮置時	沈設作業(注水を含む。)が判明できるように撮影
		(係留の場合)	仮置作業	係留状況	仮置時	係留作業(係留アンカーを含む。)が判明できるように撮影
	出来形管理	(係留の場合)	仮置完了	沈設完了状況	完了時、各函毎	沈設仮置完了状態が判明できるように撮影
		仮置完了	係留完了状況	完了時、各函毎	係留完了状態(係留ロープを含む。)が判明できるように撮影	
6)回航・えい航	施工管理	蓋の設置状況	完了状況	完了時、各函毎		
		使用船舶	引船全景	えい航開始時	形象物等が判明できるように撮影	
		えい航・回航用ロープ	取付状況及び、吊具取付状況	えい航開始時	えい航・回航用ロープの取付位置及び状況について撮影	
		えい航・回航	えい航・回航姿勢	えい航・回航時	えい航・回航の姿勢が判明できるように撮影	
		寄港避難	寄港及び避難の状況	寄港時及び避難時、各函毎	途中寄港した場合にはその係留等の状態が判明できるように撮影	
	出来形管理	えい航・回航完了	完了(目的地着)状況	えい航・回航完了時	えい航・回航が完了したことが判明できるように撮影(付近の背景を同時撮影)	

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
7)据付	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、発電機、ポンプ等配置状況	施工時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		据付作業	据付作業状況	据付時、各函毎	据付作業が判明できるように撮影
		据付位置	前面又は背面の確認	据付時、各函毎	配筋が非対象の場合に適用する。
	出来形管理	出来形の確認	据付完了状況	完了時	据付完了が判明できるように撮影
		据付目地	据付完了状況	完了時	代表的な部分を撮影
		据付法線の出入	据付完了状況	完了時	完成法線が判明できるように撮影(延長方向へ撮影)

### 3-5 本体工(ブロック式)

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1. 本体ブロック製作工					
1)底面	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	3-4-1ケーソン製作工の関連事項を適用する。
		使用船舶機械等	クレーン等	施工時	
		函台	製作函台	着工時	
2)足場	施工管理	足場	組立て	組立時	3-4-1ケーソン製作工の関連事項を適用する
			解体	解体時	
3)鉄筋	施工管理				2-8鉄筋工を適用する。
	出来形管理	鉄筋	組立て	組立完了時	組立完了状況が判明できるように撮影
			底盤		
			フーチング	組立完了時	
			壁	組立完了時	
			ハンチ部	組立完了時	
			吊筋等	組立完了時	
かぶり	組立完了時	鉄筋と型枠の間隔が判明できるように撮影			
4)型枠	施工管理				2-9型枠及び支保工を適用する。
	出来形管理	型枠	組立完了	組立確認時	組立完了状況が判明できるように撮影

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
5)コンクリート	施工管理				2-4運搬打設工を適用する。
	品質管理				2-7コンクリートの品質管理を適用する。
	出来形管理	コンクリート	形状寸法、外観	打設後	番号等を入れて撮影
		完成	完成品	完成時	個数が確認できれば1枚に複数枚入れて撮影(全個数確認必要枚数撮影)
		仮置状況	仮置時	積重ね段数が判明できるように撮影	
2. 本体ブロック据付工					
1)本体ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	施工時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		据付作業	据付作業状況	据付時	据付作業が判明できるように撮影
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	目地測定時及び法線出入の測定時	据付の全体が判明できるように撮影

### 3-6 本体内(場所打式)

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1. 場所打コンクリート工					
1)足場	施工管理	足場	組立て 解体	組立時 解体時	3-4-1ケーソン製作工の関連事項を適用する
2)鉄筋	施工管理	鉄筋	鉄筋の仮置、溶接、組立作業	施工時	
			組立て、結束及び溶接	組立時	
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	測定作業が判明できるように撮影
3)型枠	施工管理	型枠	型枠の構造	施工時	作業機械、船舶、作業方法が判明できるように撮影
			目地材等の取付状況	施工時	
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	測定作業が判明できるように撮影
4)伸縮目地	施工管理	伸縮目地	伸縮目地の設置状況	施工時	

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
5)コンクリート	施工管理	準備仮設	プラント仮設、コンクリートミキサー船回航、仮設道路、登坂路等	着手前後作業中及び跡片付後	使用船舶、回航の状況などが判明できるように撮影
			コンクリートミキサー船回航	回航開始時、終了時及び作業時	
			仮設道路、登坂路等	仮設作業時、設置後及び撤去時	
		打継ぎ処理	処理作業	施工時	作業方法が判明できるように撮影
		コンクリート	仕上げ状況	表面仕上時	天端均し仕上げ状況を撮影
				穴埋時	型枠取外後の締付材等の穴埋状況を撮影
	その他	灯台基礎、電柱穴、階段等	施工時		
品質管理				2-7コンクリートの品質管理を適用する。	
出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	測定作業が判明できるように撮影	
6)補助ヤード施設	施工管理	補助ヤード	補助ヤード	着工時全景	ヤード全景及び設備が判明できるように撮影

### 3-7 本土工(捨石・捨ブロック式)

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1. 洗堀防止工					3-1-7洗堀防止工を適用する。
2. 本体捨石工					
1)本体捨石	施工管理	準備、仮設	ストックヤード、仮設道路等	仮設道路、ストックヤード使用前	
2)本体捨石均し		陸上運搬	ストック、積込み、運搬状況	運搬時	作業機械作業状況等が判明できるように撮影
		捨石投入	投入状況	投入時、捨石規格毎及び作業船種毎	
		捨石均し	均し状況	規格及び作業船毎	
		品質管理	材料試験	試験状況	試験時
		材料の確認	産地・規格毎	搬入時	スタッフ、テープ等を同時撮影
出来形管理	出来形の確認	測量状況	測量作業時		



工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
3. 捨ブロック工					
1)捨ブロック製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	3-4-1ケーソン製作工の関連事項を適用する。
		使用船舶機械等	クレーン等	施工時	
		函台	製作函台	着工時	
	品質管理				2-7コンクリートの品質管理を適用する。
	出来形管理	鉄筋	組立てかぶり	組立完了時	3-4-1ケーソン製作工の関連事項を適用する。
		型枠	組立完了	組立確認時	
		コンクリート	形状寸法、外観	打設後	番号等を入れて撮影
		完成	完成品	完成時	個数が確認できれば1枚に複数数入れて撮影(全個数確認必要枚数撮影)
仮置状況	仮置時		積重ね段数が判明できるように撮影		
2)捨ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	施工時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		据付作業	据付作業状況	据付時	据付作業が判明できるように撮影
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	据付の全体が判明できるように撮影
4. 場所打コンクリート工					
1)基礎碎石	品質管理	材料の確認	材料	現場搬入時(種類、品質及び形状寸法の異なる毎)	
			品質試験状況	試験時	
2)型枠	施工管理	型枠	型枠の構造	施工時	作業機械、船舶、作業方法が判明できるように撮影
			目地材等の取付状況	施工時	
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	測定作業が判明できるように撮影
3)伸縮目地	施工管理	伸縮目地	伸縮目地の設置状況	施工時	

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
4)コンクリート	施工管理	準備仮設	プラント仮設、コンクリートミキサー船回航、仮設道路、登坂路等	着手前後作業中及び跡片付後	
			コンクリートミキサー船回航	回航開始時、終了時及び施工時	使用船舶、回航の状況等が判明できるように撮影
			仮設道路、登坂路等	仮設作業時、設置後及び撤去時	路線状況が判明できるように撮影
		打継ぎ処理	処理作業	施工時	作業方法が判明できるように撮影
		コンクリート	仕上げ状況	表面仕上時	天端均し仕上状況を撮影
				穴埋時	型枠取外後の締付材等の穴埋状況を撮影
	その他	灯台基礎、電柱穴、階段等	施工時		
品質管理				2-7コンクリートの品質管理を適用する。	
出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	測定作業が判明できるように撮影	

### 3-8 本體工(鋼矢板式)

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1. 鋼矢板工					3-1-11鋼矢板工を適用する。
2. 控工					3-1-12控工を適用する。

### 3-9 本體工(コンクリート矢板式)

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1. コンクリート矢板工					
1)コンクリート矢板					3-1-11鋼矢板工2)鋼矢版を適用する。
2)控工					3-1-12控工を適用する。

### 3-10 本體工(鋼杭式)

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1. 鋼杭工					3-1-13鋼杭工を適用する。

### 3-11 本体工 (コンクリート杭式)

工 種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1. コンクリート杭工					3-1-13鋼杭工を適用する。

### 3-12 被覆・根固工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1. 被覆石工					
1)被覆石					3-3-2基礎捨石工 1)基礎捨石を適用する。
2)被覆石均し					3-3-2基礎捨石工 2)捨石本均し、3)捨石荒均しを適用する。
2. 被覆ブロック工					
1)被覆ブロック製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	3-4-1ケーソン製作工の関連事項を適用する。
		使用船舶機械等	クレーン等	施工時	
		函台	製作函台	着工時	
	品質管理				2-7コンクリートの品質管理を適用する。
	出来形管理	鉄筋	組立てかぶり	組立完了時	3-4-1ケーソン製作工の関連事項を適用する。
		型枠	組立完了	組立確認時	
		コンクリート	形状寸法、外観	打設後	番号等を入れて撮影 出来形寸法の写真管理は種別による打設量100m 3に1回以上もしくは10個に1個以上撮影
				完成時	個数が確認できれば1枚に複個数入れて撮影(全 個数確認必要枚数撮影)
	完成	完成品	仮置時	積重ね段数が判明できるように撮影	
		仮置状況			
2)被覆ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	施工時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		据付作業	据付作業状況	据付時	据付作業が判明できるように撮影
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	据付の全体が判明できるように撮影

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明	
			撮影箇所	撮影時期		
3. 根固ブロック工						
1)根固ブロック製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	3-4-1ケーソン製作工の関連事項を適用する。	
		使用船舶機械等	クレーン等	施工時		
		函台	製作函台	着工時		
	品質管理				2-7コンクリートの品質管理を適用する。	
	出来形管理	鉄筋	組立てかぶり	組立完了時	3-4-1ケーソン製作工の関連事項を適用する。	
		型枠	組立完了	組立確認時		
		コンクリート	形状寸法、外観	打設後		番号を入れて撮影
		完成	完成品	完成時		個数が確認できれば1枚に複数数入れて撮影(全個数確認必要枚数撮影)
	仮置状況		仮置時	積重ね段数が判明できるように撮影		
	2)根固ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	施工時	3-12-2 被覆ブロックエ 2)被覆ブロック据付の関連事項を適用する
据付作業			据付作業状況	据付時		
出来形管理		出来形の確認	測定状況	測定時		
4. サンドマスチック工						
1)サンドマスチック	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	施工時		
		施工状況	作業状況	施工時		
	品質管理	材料の確認	試験及び検査	試験及び検査時		
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時		

### 3-13 上部工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1. 上部コンクリート工					
1) 支保					2-9型枠及び支保工を適用する。
2) 足場	施工管理	足場	組立て	組立時	3-4-1ケーソン製作工の関連事項を適用する
			解体	解体時	
3) 鉄筋	施工管理	鉄筋	鉄筋の仮置、溶接、組立作業	施工時	
			組立て、結束及び溶接	組立時	
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	測定作業が判明できるように撮影

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明	
			撮影箇所	撮影時期		
4) 型枠	施工管理	型枠	型枠の構造	施工時	作業機械、船舶、作業方法が判明できるように撮影	
			目地材等の取付状況	施工時		
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	測定作業が判明できるように撮影	
5) 伸縮目地	施工管理	伸縮目地	伸縮目地の設置状況	施工時		
6) コンクリート	施工管理	準備仮設	プラント仮設、コンクリートミキサー船回航、仮設道路、登坂路等	着手前後作業中及び跡片付後		
			コンクリートミキサー船回航	回航開始時、終了時及び施工時	使用船舶、回航の状況等が判明できるように撮影	
			仮設道路、登坂路等	仮設作業時、設置後及び撤去時	路線状況が判明できるように撮影	
		打継ぎ処理	処理作業	施工時	作業方法が判明できるように撮影	
	コンクリート	仕上状況		表面仕上時	天端均し仕上状況を撮影	
				穴埋時	型枠取外後の締付材等の穴埋状況を撮影	
		その他	灯台基礎、電柱穴、階段等	施工時		
	品質管理				2-7コンクリートの品質管理を適用する。	
出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	測定作業が判明できるように撮影		
7) 補助ヤード施設	施工管理	補助ヤード	補助ヤード	着工時全景	ヤード全景及び設備が判明できるように撮影	
2. 上部ブロック工						
1) 上部ブロック製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	3-4-1ケーソン製作工の関連事項を適用する。	
		使用船舶機械等	クレーン等	施工時		
		函台	製作函台	着工時		
	品質管理				2-7コンクリートの品質管理を適用する。	
	出来形管理	鉄筋	組立てかぶり	組立完了時	組立完了時	3-4-1ケーソン製作工の関連事項を適用する。
		型枠	組立完了	組立確認時		
		コンクリート	形状寸法、外観	打設後	番号等を入れて撮影	
		完成	完成品	完成品	完成時	個数が確認できれば1枚に複数枚入れて撮影(全個数確認必要枚数撮影)
仮置状況	仮置状況		仮置時	積重ね段数が判明できるように撮影		

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
2)上部ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	施工時	3-12-2被覆ブロック工 2)被覆ブロック据付の関連事項を適用する。
		据付作業	据付作業状況	据付時	
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	

### 3-14 付属工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1. 係船柱工					
1) 係船柱	施工管理	使用船舶機械等	杭打機、クレーン車(船)、トラック等	設置時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		施工	基礎工施工状況	施工時	基礎施工状況(杭打ち、基礎石投入、均し及びコンクリート打設等)を撮影(押込ボルトを含む。)
		据付	本体据付状況	据付時	据付状況が判明できるように撮影
	品質管理	搬入数量の確認	係船柱	搬入時	搬入数量及び所定の規格表示が判明できるように撮影
	出来形管理	杭	基礎杭	杭打完了時	基礎杭打込完了状況が判明できるように撮影
		石材投入、均し	基礎石投入均し完了状況	均し完了時	基礎石均しが判明できるように撮影
		型枠	型枠組立完了状況	組立完了時	打設前の型枠、埋め込みボルト検査状態
		基礎完成	基礎完成状況	完成時	完成が判明できるように撮影
		据付完成	本体据付確認状況	完成時	据付完了状態が判明できるように撮影
2. 防舷材工					
1) 防舷材	施工管理	使用船舶機械等	台船、クレーン車(船)	取付時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		取付け	取付位置の状況	取付前	埋込(取付)ボルトの部分及び全景取付状況の撮影
			取付状況	取付時	
	品質管理	搬入数量の確認	防舷材	搬入時	搬入数量及び所定の規格表示が判明できるように撮影
	出来形管理	出来形の確認	取付完了状態	取付完了時	取付完了状態の部分(1基)及び正面全体と延長方向全景

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
3. 車止・縁金物工					
1) 車止・縁金物	施工管理	使用船舶機械等	台船、溶接機、クレーン	取付時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		取付け	取付状況	取付時	取付状況(取付け、溶接、コンクリート打設)
			塗装状況	塗装時、各層毎	各層毎の塗装状況(警戒色塗装を含む。)
	品質管理	形状寸法	測定状況	測定時	
		塗料	塗料の種類毎	搬入時	塗料の種類別に内容が判明できるもの
出来形管理	取付け	取付完了状態	取付完了時	取付完了状態の部分(1基)及び正面全体と法線方向全景	
4. 防食工					3-1-15防食工を適用する。
5. 付属設備工					
1) 係船環	施工管理	使用船舶機械等	クレーン車(船)、トラック等	設置時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		取付	本体取付状況	取付時	取付状況が判明できるように撮影
	品質管理	搬入数量の確認	係船環	搬入時	搬入数量及び所定の規格表示が判明できるように撮影
	出来形管理	取付完了	本体取付確認状況	完了時	取付完了状態が判明できるように撮影

### 3-15 消波工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明	
			撮影箇所	撮影時期		
1. 消波ブロック工						
1)消波ブロック製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	3-12-2被覆ブロック工 1)被覆ブロック製作の関連事項を適用する。	
		使用船舶機械等	クレーン等	施工時		
		函台	製作函台	着工時		
	品質管理				2-3コンクリートの品質管理を適用する。	
	出来形管理	鉄筋	組立てかぶり	組立完了時	3-12-2被覆ブロック工 1)被覆ブロック製作の関連事項を適用する。	
		型枠	組立完了	組立確認時		
		コンクリート	形状寸法、外観	打設後	番号等を入れて撮影	出来形寸法の写真管理は種別による打設量100m <sup>3</sup> に1回以上もしくは10個に1個以上撮影
			完成	完成品	完成時	
		仮置状況	仮置時			

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
2)消波ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	施工時	3-12-2被覆ブロック工 2)被覆ブロック据付の関連事項を適用する。
		据付作業	据付作業状況	据付時	
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	

### 3-16 裏込・裏埋工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1. 裏込工					
1) 目地板	施工管理	目地板の確認	搬入	搬入時	
		敷設状況	敷設状況と使用船舶機械	敷設時	
	品質管理	材料試験	試験状況	試験時	
		目地板の形状寸法	測定状況	測定時	
出来形管理	出来形の確認	敷設完了状態	敷設完了時		
2) 裏込材 3) 瀬取り 4) 裏込均し	施工管理	準備、仮設	ストックヤード、仮設道路等	仮設道路、ストックヤード使用前	
		陸上運搬	ストック、積込み、運搬状況	運搬時、施工時	作業機械及び作業状況等が判明できるように撮影
		瀬取り	瀬取り状況	施工時	
		裏込材投入	投入状況	投入時、捨石規格毎及び作業船種毎	
		裏込均し	均し状況	規格及び作業船毎	
	品質管理	材料試験	試験状況	試験時	公的機関が実施する場合は省略できる
		材料の確認	産地・規格毎	搬入時	スタッフ・テープ等を同時撮影
出来形管理	出来形の確認	測量状況	測量作業時		
5) 吸い出し防止材	施工管理	吸い出し防止材の確認	搬入	搬入時	
		敷設状況	敷設状況と使用船舶機械	敷設時	
	品質管理	材料試験	試験状況	試験時	
		吸い出し防止材の形状寸法	測定状況	測定時	
	出来形管理	出来形の確認	敷設完了状態	敷設完了時	



工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明	
			撮影箇所	撮影時期		
2. 裏埋工						
1) 裏埋材	施工管理	使用船舶機械	主要船舶機械	施工時、船舶機械毎	使用する船舶機械の種類が判明できるように撮影	
		施工状況一般	埋立材の採取状況	採取作業時		
			埋立材運搬の状況	運搬作業時		
			埋立材整地状況	整地作業時		
			余水吐の設置及び撤去	設置作業時及び撤去時	余水吐が判明できるように撮影	
			公害防止対策	防止処置作業時		
	品質管理	材料の品質管理状況	特に定められた品質管理の作業状況	品質管理作業時、品質管理内容毎	撮影事項は品1.土及び2.石材等による。	
出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時			
3. 裏埋土工						
1) 土砂掘削	施工管理	使用機械	主要機械	施工時、機械毎	使用機械の種類が判明できるように撮影	
		仮置場及び土砂処分場	仮置及び土砂処分状況	施工時、機械毎	各作業状況が判明できるように撮影	
		掘削・切土	掘削、切土、穿孔及び発破状況	施工時、機械毎	各作業状況が判明できるように撮影 埋没物等は、その状況が判明できるように撮影	
		運搬	土砂の搬入搬出状況			
	埋戻し及び裏込め	材料の投入及び均し状況				
出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時、作業毎			
2) 土砂盛土	施工管理	使用機械	主要機械	施工時、機械毎	使用機械の種類が判明できるように撮影	
		仮置場及び土砂処分	仮置及び土砂処分状況	施工時、機械毎	各作業状況が判明できるように撮影	
		運搬	土砂の搬入、搬出状況			
		盛土	盛土及び各層の転圧状況			
	品質管理	材料の確認	試験及び搬入状況	試験及び搬入時	主要材料並びに試験及び搬入の状況が判明できるように撮影 撮影事項は品1.土及び2.石材等による。	
出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時、作業毎	盛土の各層の仕上がり厚さが判明できるように撮影		

### 3-17 維持補修工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1. 維持塗装工					
1) 係船柱塗装	施工管理	使用船舶機械等	使用船舶、機械類	施工時	曳船、台船、コンプレッサー等が判明できるように撮影
2) 車止塗装		塗装	施工状況	施工時、各層毎	
3) 縁金物塗装	出来形管理	出来形の確認	塗装完了状態	完了時	完了の部分(1箇所)及び正面全体と延長方向を撮影

### 3-18 構造物撤去工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1. 取壊し工					
1)コンクリート取壊し	施工管理	使用船舶機械等	使用船舶、機械等	施工時	使用機械器具が判明できるように撮影
		施工状況	作業状況	施工時	
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	
		完成	完成全景	完成時	
2. 撤去工					
1) 水中コンクリート撤去工 2)鋼矢板等切断撤去 3)腹起・タイ材撤去 4)舗装盤撤去 5)石材撤去 6)ケーソン撤去 7)ブロック撤去 8)鋼矢板・H形鋼杭引抜き撤去	施工管理	使用船舶機械等	使用船舶、機械等	施工時	使用機械器具が判明できるように撮影
		施工状況	作業状況	施工時	
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	
		完成	完成全景	完成時	

3-19 雑工

特: 図面および特記仕様書

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1. 現場鋼材溶接工					
1)現場鋼材溶接 2)被覆溶接(水中) 3)スタッド溶接(水中)	施工管理	開先の加工	加工状況	施工時	使用機械器具が判明できるように撮影
		溶接	作業状況	施工時	
		水中溶接	作業状況	施工時	
	品質管理	溶接棒、溶接ワイヤ	特の品質であることの表示	使用前	包装の表示が判明できるように撮影
	出来形管理	外観、形状寸法	観察、測定状況	施工時	ゲージを同時撮影
			形状寸法	施工時	
		試験	試料の採取状況	採取前及び採取時	
			強度試験の状況	試験時	
	非破壊試験の状況				
	カラーチェックの結果				
2. 現場鋼材切断工					
1) 現場鋼材切断	施工管理	切断	作業状況	施工時	使用機械器具が判明できるように撮影
		水中切断	作業状況	施工時	
	品質管理	酸素ガス及び溶解アセチレン	特の品質であることの表示	使用前	ボンベの表示等が判明できるように撮影
	出来形管理	外観、形状寸法	観察、測定状況	測定時	ゲージを同時撮影
			形状寸法	測定時	

### 3-20 浚渫工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1. ポンプ浚渫工					
1) ポンプ浚渫	施工管理	使用船舶機械等	作業現場	現地搬入前または現地搬入時	全景及び数量が判明できるように撮影。
		位置測量	浚渫位置測量状況	測量時	法線又は区域標識を入れる。
		施工状況	浚渫状況	浚渫作業時、作業船毎	浚渫位置が判明できる背景を入れる
			中継船設置、撤去	設置撤去の作業時	
		障害物除去	障害物積込状況	積込時	
			運搬船に積込まれた状態	積込完了時、運搬船毎適宜	運搬個数が判明できるように撮影、或いは障害物の大きさが判明できるようにテープ等を同時に撮影、など障害物の状況に応じ撮影
		障害物捨込状況	捨込時		
出来形管理	出来形の確認	測定状況	測量作業時	全景については、位置が判明できる背景を入れる。	
2. グラブ浚渫工					
1) グラブ浚渫	施工管理	使用船舶機械等	作業現場	現地搬入前または現地搬入時	全景及び数量が判明できるように撮影。
		位置測量	浚渫位置測量状況	測量時	法線又は区域標識を入れる。
		施工状況	浚渫状況	浚渫作業時、作業船毎	船団の配置及び浚渫位置が判明できる背景を入れる。
			土質状況	浚渫作業時	位置、深度又は層を明記する。
		障害物除去	障害物積込状況	積込時	
			運搬船に積込まれた状態	積込完了時、運搬船毎適宜	運搬個数が判明できるように撮影、或いは障害物の大きさが判明できるようにテープ等を同時に撮影、など障害物の状況時に応じ撮影
		障害物捨込状況	捨込時		
出来形管理	出来形の確認	測定状況	測量作業時	全景については、位置が判明できる背景を入れる。	

### 3-21 埋立工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1. 余水吐工					
1) 余水吐	施工管理	施工状況一般	余水吐の設置及び撤去	設置作業時及び撤去時	余水吐が判明できるように撮影
			公害防止対策	防止処置作業時	

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明	
			撮影箇所	撮影時期		
2. 埋立工						
1) ポンプ土取 2) グラブ土取 3) ガット土取	施工管理	使用船舶機械	主要船舶機械	施工時、船舶機械毎	使用する船舶機械の種類が判明できるように撮影	
		施工状況一般	埋立材の採取状況	採取作業時		
			埋立材運搬の状況	運搬作業時		
	埋立材整地状況	整地作業時				
	品質管理	材料の品質管理状況	特に定められた品質管理の作業状況	品質管理作業時、品質管理の内容毎	撮影事項は品 1.土及び2.石材等による。	
出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時			

## 3-22 船揚場工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1. 基礎栗石工					
1) 基礎栗石均し	施工管理	基礎栗石投入基礎栗石均し	基礎栗石投入、均し、締固め	施工時	作業機械作業状況等が判明できるように撮影
	品質管理	材料の確認	試験及び検査	試験及び検査時	主要資材については品の項目による試験及び検査の状況が判明できるように撮影
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	基礎栗石の厚さが判明できるように撮影
2. 先端止壁ブロック工、張ブロック工					
1) ブロック製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	3-5-1本体ブロック製作工の関連事項を適用する。
2) ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等	起重機船クレーン等	施工時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		据付作業	据付作業状況	据付時	据付作業が判明できるように撮影
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	据付の全体が判明できるように撮影
3. 中間止壁工					
1) 止壁コンクリート					3-13-1上部コンクリート工の関連事項を適用する。

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
4. 滑り材取付工					
1) 滑り材	施工管理	取付	取付状況	取付時	取付状況が判明できるように撮影
	品質管理	搬入数量の確認	滑り材	搬入時	搬入数量及び所定の規格表示が判明できるように撮影
	出来形管理	出来形の確認	取付完了状態	取付完了時	取付完了状態が判明できるように撮影

### 3-23 魚礁工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1. 単体魚礁製作工					
1) 単体魚礁製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	3-4-1ケーソン製作工の関連事項を適用する。
		使用船舶機械等	クレーン等	作業時	
		函台	製作函台	着工時	
		鉄筋			2-4鉄筋工を適用する。
		型枠			2-5型枠・支保及び足場工を適用する。
		足場			2-5型枠・支保及び足場工を適用する。
		コンクリート			2-2運搬打設工を適用する。
	品質管理				2-3コンクリートの品質管理を適用する。
	出来形管理	鉄筋	組立てかぶり	組立完了時	3-4-1ケーソン製作工の関連事項を適用する。
		型枠	組立完了	組立確認時	
		コンクリート	形状寸法、外観	打設後	番号等を入れて撮影
完成		完成品	完成時	個数が確認できれば1枚に複数枚入れて撮影(全個数確認必要枚数撮影)	
		仮置き状況	仮置時	積重ね段数が判明できるように撮影	
2. 組立魚礁組立工					
1) コンクリート部材組立	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	3-4-1ケーソン製作工の関連事項を適用する。
		使用機械等	クレーン等	作業時	
		足場			2-5型枠・支保及び足場工を適用する。
		組立て部材	運搬状況	作業時	荷崩れ防止装置、積載状況が判明できるように撮影
			保管状況	搬入後	まくら木の配置、覆いの状態等を撮影
	組立状況	組立時	組立部分及び全景組立状況を撮影		

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
	品質管理	組立部材の外観、形状寸法、質量	観察、測定状況	観察、測定時	部材の種類、形状寸法毎にテープ等を同時撮影
	出来形管理	ボルト等	取付外観	観察時	
		完成	完成品	完成時	個数が確認できれば1枚に複個数入れて撮影(全個数確認必要枚数撮影)
			仮置状況	仮置時	
2) 鋼製部材組立	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	3-4-1ケソン製作工の関連事項を適用する。
		使用機械等	クレーン等	作業時	
		足場			2-5型枠・支保及び足場工を適用する。
		組立部材	運搬状況	作業時	荷崩れ防止装置、積載状況が判明できるように撮影
			保管状況	搬入後	まくら木の配置、覆いの状態等を撮影
			組立状況	組立時	組立部分及び全景組立状況を撮影
	品質管理	組立部材の外観、形状寸法、質量	観察、測定状況	観察、測定時	部材の種類、形状寸法毎にテープ等を同時撮影
	出来形管理	溶接の外観	溶接外観	観察時	
		のど厚、脚長、溶接長等	形状寸法	測定時	テープ、ゲージ等を同時撮影
		溶接部試験	非破壊試験の状況	試験時	
		完成	完成品	完成時	個数が確認できれば1枚に複個数入れて撮影(全個数確認必要枚数撮影)
			仮置状況	仮置時	
	3) 化学系(FRP)部材組立	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景
使用機械等			クレーン等	作業時	
足場					2-5型枠・支保及び足場工を適用する。
組立部材			運搬状況	作業時	荷崩れ防止装置、積載状況が判明できるように撮影
			保管状況	搬入後	まくら木の配置、覆いの状態等を撮影
			組立状況	組立時	組立部分及び全景組立状況を撮影
品質管理		組立部材の外観、形状寸法、質量	観察、測定状況	観察、測定時	部材の種類、形状寸法毎にテープ等を同時撮影

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
	出来形管理	接続帯等	取付外観	観察時	個数が確認できれば1枚に複数入れて撮影(全個数確認必要枚数撮影)
		完成	完成品	完成時	
			仮置状況	仮置時	
4) 重錘コンクリート					3-5-1.本体ブロック製作工の関連事項を適用する。
3. 魚礁沈設工					
1) 魚礁沈設	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	作業時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		沈設位置測量作業	測量作業状況	測量時	測量作業状況が判明できるように撮影
		沈設作業	沈設作業状況	沈設時	沈設作業が判明できるように撮影
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	

### 3-24 着定基質工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1. 石材投入工					
1) 石材投入	施工管理	準備	ストックヤード等	ストックヤード使用前後	
		石材投入	投入状況	投入時、石材規格毎及び作業船種毎	
		石材均し	均し状況	規格及び作業船毎	
	品質管理	材料試験	試験状況	試験時	公的機関が実施する場合は省略できる。
		材料の確認	産地・規格毎	搬入時	スタッフ、テープ等を同時撮影
	出来形管理	出来形の確認	測量状況	測量作業時	



### 3-25 増殖場工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	
1. 着定基質製作工・単体着定基質製作					
1)着定基質製作	施工管理				「消波工ブロック工(魚礁タイプは「単体魚礁製作工」)を適用する。
	品質管理				
	出来型管理				
2. 着定基質製作工・組立着定基質製作					
1)着定基質組立	施工管理				「組立魚礁組立工」を適用する。
	品質管理				
	出来型管理				
3. 着定基質設置工					
1)着定基質設置	施工管理				「魚礁沈設工」を適用する。
	品質管理				
	出来型管理				
4. 石材着定基質工					
1) 石材投入	施工管理	準備	ストックヤード等	ストックヤード使用前後	
		石材投入	投入状況	投入時、石材規格毎及び作業船種毎	
		石材均し	均し状況	規格及び作業船毎	
	品質管理	材料試験	試験状況	試験時	公的機関が実施する場合は省略できる。
		材料の確認	産地・規格毎	搬入時	スタッフ、テープ等を同時撮影
	出来形管理	出来形の確認	測量状況	測量作業時	

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第5編 農林土木編】

区分	工 種		撮 影 基 準	撮 影 箇 所
出来 高 管 理 写 真	た め 池 整 備 工 事	1 堤体工	施工延長おおむね 20m～40m につき 1 箇所 盛土高 1 m ごと	盛土幅、まき出し厚さ、転圧、 法長、法面（芝）、法勾配、排水 側溝その他必要箇所を撮影
		2 洪水吐工	概ね 2 スパンにつき 1 箇所 箇所単位の構造物については 適宜撮影	床掘、基礎、幅、高さ、配筋、 打継目、パイプ布設、外観検査、 ジョイント関係、その他必要箇 所を撮影
		3 樋管工 同上付帯構造物 (土砂吐ゲート等)	施工延長おおむね 10mにつき 1 箇所 箇所単位の構造物については 適宜撮影	床掘、基礎、幅、高さ、厚さ、 配筋、打継目その他必要箇所を 撮影

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第6編河川編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
6 河川編	1 築堤・護岸	7 法覆護岸工	4		護岸附属物工	幅 高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
6 河川編	1 築堤・護岸	10 水制工	8		杭出し水制工	径 杭長	1施工箇所に1回 〔打込み前〕	代表箇所各1枚	
						幅 方向	1施工箇所に1回 〔施工後〕		
6 河川編	1 築堤・護岸	13 光ケーブル配管工	3		配管工	配管状況	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
6 河川編	1 築堤・護岸	13 光ケーブル配管工	4		ハンドホール工	厚さ 幅 高さ	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管本体工	6	1	函渠工(本体工)	厚さ 幅 内空幅 内空高	1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所各1枚	

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第6編河川編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管 本体工	6	2	函渠工 (ヒューム管) (PC管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)	据付状況	40m又は1施工箇所 に1回 〔巻立前〕	代表箇所各1枚	
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管 本体工	7		翼壁工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所各1枚	
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管 本体工	8		水叩工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所各1枚	
6 河川編	4 水門	6 水門 本体工	7 8 9 10 11		床版工 堰柱工 門柱工 ゲート操作台工 胸壁工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所各1枚	
6 河川編	4 水門	9 鋼管 埋橋 上部工	10	1	支承工(鋼製支承)	支承取付状況	1スパン に1回 〔取付後〕	代表箇所各1枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第6編河川編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
6 河川編	4 水門	9 鋼管理橋上部工	10	2	支承工(ゴム支承)	支承取付状況	1スパンに1回 〔取付後〕	代表箇所各1枚	
6 河川編	4 水門	12 橋梁付属物工(鋼管理橋)	4		地覆工	地覆の幅 地覆の高さ 有効幅員	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
6 河川編	4 水門	12 橋梁付属物工(鋼管理橋)	5 6		橋梁用防護柵工 橋梁用高欄工	幅 高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
6 河川編	4 水門	12 橋梁付属物工(鋼管理橋)	7		検査路工	幅 高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第6編河川編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
6 河川編	5 堰	6 可動堰 本體工	13 14		開門工 土砂吐工	厚さ 幅 高さ 延長	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
6 河川編	5 堰	7 固定堰 本體工	8 9 10		堰本體工 水叩工 土砂吐工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
6 河川編	5 堰	8 魚道工	3		魚道本體工	厚さ 幅 高さ	40m又は測定箇所 毎に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
6 河川編	5 堰	9 管理橋 橋下部工	2		管理橋橋台工	厚さ 天端幅 (橋軸方向) 敷幅 (橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
6 河川編	6 排水機 場	4 機場本 體工	6		本體工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
6 河川編	6 排水機 場	4 機場本 體工	7		燃料貯油槽工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
6 河川編	6 排水機 場	5 沈砂池 工	7		コンクリート床版工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第6編河川編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
6 河川編	7 床止め・床固め	4 床止め工	6	1	本体工(床固め本体工)	天端幅 堤幅 水通し幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
6 河川編	7 床止め・床固め	4 床止め工	8	1	水叩工	幅 厚さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
6 河川編	7 床止め・床固め	5 床固め工	6		側壁工	天端幅 長さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第7編河川海岸編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要	
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度		
7	河川海岸編	1 堤防・護岸	5 護岸基礎工	5		場所打コンクリート工	幅 高さ	40m又は1施工箇所 〔型枠取外し後〕	代表箇所各1枚	
7	河川海岸編	1 堤防・護岸	5 護岸基礎工	6		海岸コンクリートブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	代表箇所各1枚	
					ブロックの形状 寸法		形状寸法変わる毎に1回 〔製作後〕			
					据付状況		40m又は1施工箇所 〔施工後〕			
7	河川海岸編	1 堤防・護岸	6 護岸工	4		海岸コンクリートブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	代表箇所各1枚	
					ブロックの形状 寸法		形状寸法変わる毎に1回 〔施工後〕			
					法長 厚さ		40m又は1施工箇所 〔施工後〕			
7	河川海岸編	1 堤防・護岸	6 護岸工	5		コンクリート被覆工	法長 厚さ	40m又は1施工箇所 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
					裏込材厚		40m又は1施工箇所 〔施工中〕			
7	河川海岸編	1 堤防・護岸	8 天端被覆工	2		コンクリート被覆工	幅 厚さ	40m又は1施工箇所 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
					基礎厚		40m又は1施工箇所 〔施工中〕			
7	河川海岸編	1 堤防・護岸	9 波返工	3		波返工	幅 高さ	40m又は1施工箇所 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
7	河川海岸編	2 突堤・人工岬	4 突堤基礎工	4		捨石工	法長 天端幅	40m又は1施工箇所 〔施工後〕	代表箇所各1枚	



出来形管理写真撮影箇所一覧表  
 【第7編河川海岸編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要	
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度		
7	河川海岸編	2	4	5	吸出し防止工	幅	40m又は1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚		
7	河川海岸編	2	5	2	捨石工	法長 天端幅	40m又は1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚		
7	河川海岸編	2	5	5	海岸コンクリートブロック工	数量	全数量〔製作後〕	代表箇所各1枚		
						ブロックの形状寸法	形状寸法変わる毎に1回〔製作後〕			
						天端幅	40m又は1施工箇所に1回〔施工後〕			
7	河川海岸編	2	5	9	石砕工	厚さ 高さ	40m又は1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚		
						間詰石状況	1施工箇所に1回〔施工後〕			
7	河川海岸編	2	5	10	場所打コンクリート工	幅 高さ	40m又は1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚		
7	河川海岸編	2	5	11	1	ケーソン工(ケーソン工製作)	壁厚 幅 高さ 長さ 底版厚さ フーチング高さ	1基に1回〔製作後〕	代表箇所各1枚	
7	河川海岸編	2	5	11	2	ケーソン工(ケーソン工据付)	据付状況	1施工箇所に1回〔据付後〕	代表箇所各1枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第7編河川海岸編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要	
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度		
7	河川海岸編	2 突堤・人工岬	5 突堤本体工	11	3	ケーソン工(突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブロック	厚さ 幅	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
7	河川海岸編	2 突堤・人工岬	5 突堤本体工	12	1	セルラー工(セルラー工製作)	壁厚 幅 高さ	1基に1回 〔製作後〕	代表箇所各1枚	
7	河川海岸編	2 突堤・人工岬	5 突堤本体工	12	2	セルラー工(セルラー工据付)	据付状況	1施工箇所に1回 〔据付後〕	代表箇所各1枚	
7	河川海岸編	2 突堤・人工岬	5 突堤本体工	12	3	セルラー工(突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブロック	厚さ 幅	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
7	河川海岸編	2 突堤・人工岬	6 根固め工	2		捨石工	法長 天端幅	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
7	河川海岸編	2 突堤・人工岬	6 根固め工	3		根固めブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	代表箇所各1枚	
							ブロックの形状 寸法	形状寸法変わる毎に1回 〔製作後〕		
7	河川海岸編	2 突堤・人工岬	7 消波工	3		消波ブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	代表箇所各1枚	
							ブロックの形状 寸法	形状寸法変わる毎に1回 〔製作後〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第7編河川海岸編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
7	3	3	3		捨石工	法長 天端幅	40m又は1施工箇所 〔施工後〕	代表箇所各1枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表  
 【第8編砂防編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
8 砂防編	1 砂防堰堤	3 工場製作工	4		鋼製堰堤仮設材製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回〔原寸時〕	代表箇所各1枚	
						製作状況	適宜〔製作中〕		
8 砂防編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	4		コンクリート堰堤本体工	骨材採取製造 コンクリート製造運搬	月に1回〔施工中〕	各月1枚	
						打継目処理 打込・養生	4リフトに1回〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						天端幅 堤幅 水通しの幅	測定箇所毎に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	
8 砂防編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	6		コンクリート側壁工	天端幅 長さ	測定箇所毎に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	
8 砂防編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	8		水叩工	幅 厚さ	測定箇所毎に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	
8 砂防編	1 砂防堰堤	9 鋼製堰堤工	5	1	鋼製堰堤本体工(不透過型)	長さ 幅 下流側倒れ	測定箇所毎に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	
8 砂防編	1 砂防堰堤	9 鋼製堰堤工	5	2	鋼製堰堤本体工(透過型)	堤長 堤幅 高さ	測定箇所毎に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	
8 砂防編	1 砂防堰堤	9 鋼製堰堤工	6		鋼製側壁工	長さ 幅 下流側倒れ 高さ	測定箇所毎に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第8編砂防編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
8 砂防編	2 流路	5 床固め工	8		魚道工	幅 高さ 厚さ	40m又は測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
8 砂防編	3 斜面对策	6 山腹水路工	4		山腹明暗渠工	厚さ 幅 高さ 深さ	40m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所各1枚	
8 砂防編	3 斜面对策	7 地下水排除工	4		集排水ボーリング工	削孔深さ 配置誤差	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
8 砂防編	3 斜面对策	7 地下水排除工	5		集水井工	偏心量 長さ 巻立て幅 巻立て厚さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
8 砂防編	3 斜面对策	9 抑止杭工	6		合成杭工	偏心量	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
						数量	全数量 〔打込後〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表  
 【第10編道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
10 道路編	1 道路改良	5 工場製作工	2	1	遮音壁支柱製作工	部材長	1施工箇所1回 〔製作後〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	1 道路改良	9 カルバート工	6		場所打函渠工	厚さ 幅(内空) 高さ	40m又は1施工箇所1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	1 道路改良	11 落石雪害防止工	4		落石防止網工	幅	1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	1 道路改良	11 落石雪害防止工	5		落石防護柵工	高さ	40m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	1 道路改良	11 落石雪害防止工	6		防雪柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ	40m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	1 道路改良	11 落石雪害防止工	7		雪崩予防柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ アンカー長	1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	1 道路改良	12 遮音壁工	4		遮音壁基礎工	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所に1回 (施工前は必要に応じて) 〔施工前後〕	適宜	

出来形管理写真撮影箇所一覧表  
【第10編道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
10 道路編	1 道路改良	12 遮音壁工	5		遮音壁本体工	支柱間隔 支柱ずれ 支柱倒れ 高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	2 舗装	4 舗装工			歩道舗装工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に 準ずる〔整正後〕		
						幅	各層毎20mに1回 〔整正後〕		
10 道路編	2 舗装	4 舗装工			歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	整正状況	100mに1回 〔整正後〕	代表箇所各1枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕		
10 道路編	2 舗装	5 排水構造物工（路面排水工）	9		排水性舗装用路肩排水工	据付状況	40m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	2 舗装	7 踏掛版工	4	1	踏掛版工 （コンクリート工） （ラバーシュー） （アンカーボルト）	<コンクリート工> 各部の厚さ 各部の長さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
						<ラバーシュー> 各部の長さ 厚さ			
						<アンカーボルト> 中心のずれ アンカー長			
10 道路編	2 舗装	9 標識工	4	1	大型標識工 （標識基礎工）	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所に1回 〔施工後〕	適宜	

出来形管理写真撮影箇所一覧表  
【第10編道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
10 道路編	2 舗装	9 標識工	4	2	大型標識工 (標識柱工)	設置高さ	1施工箇所に1回	適宜	
10 道路編	2 舗装	12 道路付 属施設工	5	1	ケーブル配管工	配管状況	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	2 舗装	12 道路付 属施設工	5	2	ケーブル配管工 (ハンドホール)	厚さ 幅 高さ	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	2 舗装	12 道路付 属施設工	6		照明工 (照明柱基礎工)	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所に1回 (施工前は必要に応じて) 〔施工前後〕	適宜	
10 道路編	3 橋梁下 部	3 工場製 作工	3		鋼製橋脚製作工	原寸状況	1脚に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所各1枚	
						製作状況	適宜〔製作中〕		
						仮組立寸法(撮影項目は適宜)	1脚に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕		
10 道路編	3 橋梁下 部	6 橋台工	8		橋台躯体工	厚さ 天端幅(橋軸方向) 敷幅(橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	3 橋梁下 部	7 RC橋脚工	9	1	橋脚躯体工 (張出式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所各1枚	



出来形管理写真撮影箇所一覧表  
 【第10編道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
10 道路編	3 橋梁下部	7 RC橋脚工	9	2	橋脚躯体工 (ラーメン式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	9	1	橋脚フーチング工 (I型・T型)	幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	9	2	橋脚フーチング工 (門型)	幅 高さ	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	10	1	橋脚架設工 (I型・T型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	10	2	橋脚架設工 (門型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	11		現場継手工	継手部のすき間	1施工箇所につき1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	4 鋼橋上部	3 工場製作工	9		橋梁用高欄製作工	原寸状況	1橋につき1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所各1枚	
						製作状況			
10 道路編	4 鋼橋上部	8 橋梁付属物工	3		落橋防止装置工	アンカーボルト孔 の削孔長	1施工箇所につき1回 〔削孔後〕	代表箇所各1枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表  
【第10編道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
10 道路編	5 コンクリート橋上部	6 プレビーム桁橋工	2		プレビーム桁製作工(現場)	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回〔原寸時〕	代表箇所各1枚	
						製作状況	適宜〔製作中〕		
						仮組立寸法(撮影項目は適宜)	1橋に1回又は1工事に1回〔仮組立時〕		
						幅高さ	桁毎に1回〔型枠取外し後〕		
10 道路編	6 トンネル(NATM)	4 支保工	3		吹付工	岩質	岩質の変わる毎に1回〔掘削中〕	代表箇所各1枚	
						湧水状況	適宜〔掘削中〕		
						吹付面の清掃状況	40m毎に1回〔清掃後〕		
						金網の重合せ状況	40m毎に1回〔2次吹付前〕		
						吹付け厚さ(検測孔)	40m毎に1回〔吹付後〕		
10 道路編	6 トンネル(NATM)	4 支保工	4		ロックボルト工	位置間隔 角度 削孔深さ 孔径 突出量	施工パターン毎又は80mに1断面〔穿孔中〕	代表箇所各1枚	
						ロックボルト注入状況	施工パターン毎又は80mに1断面〔注入中〕		
						ロックボルト打設後の状況	施工パターン毎又は80mに1断面〔打設後〕		
10 道路編	6 トンネル(NATM)	5 覆工	3		覆工コンクリート工	覆工(巻立空間)	1セントルに1回〔型枠組立後〕	代表箇所各1枚	
						覆工(厚さ)	1セントルに1回〔型枠取外し後〕		
						幅高さ	40m又は1施工箇所毎に1回〔施工後〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表  
【第10編道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
10 道路 編	6 ト ン ネ ル ( N A T M )	5 覆 工	5		床版コンクリート工	幅 厚さ	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
10 道路 編	6 ト ン ネ ル ( N A T M )	6 イ ン バ ー ト 工	4		インバート本 体工	インバート (厚さ)	40m又は1施工箇所 に1回 〔埋戻し前〕	代表箇所各1枚	
						幅(全幅)	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕		
10 道路 編	6 ト ン ネ ル ( N A T M )	8 坑 門 工	4		坑門本 体工	幅 高 さ	1施工箇所 に1回 〔埋戻し前〕	代表箇所各1枚	
10 道路 編	6 ト ン ネ ル ( N A T M )	8 坑 門 工	5		明り巻工	覆工 (巻立空間)	40m又は1施工箇所 に1回 〔型枠組立後〕	代表箇所各1枚	
						覆工 (厚さ)	40m又は1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕		
						幅(全幅) 高さ(内法)	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表  
【第10編道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
10 道路編	11 共同溝	6 現場打構築工	2		現場打躯体工	厚さ 内空幅 内空高	40m又は1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	11 共同溝	6 現場打構築工	4		カラー継手工	厚さ 幅 長さ	1施工箇所に1回 〔設置後〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	11 共同溝	6 現場打構築工	5	1	防水工(防水)	幅	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	11 共同溝	6 現場打構築工	5	2	防水工(防水保護工)	厚さ	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	11 共同溝	6 現場打構築工	5	3	防水工(防水壁)	高さ 幅 厚さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	11 共同溝	7 プレキャスト構築工	2		プレキャスト躯体工	据付状況	40m又は1施工箇所に1回 〔埋戻し前〕	代表箇所各1枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表  
【第10編道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
10 道路編	12 電線 共同溝	5 電線 共同溝工	2		管路工(管路部)	敷設状況	40m又は1施工箇所 に1回〔敷設後〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	12 電線 共同溝	5 電線 共同溝工	3		プレキャストボックス 工(特殊部)	据付状況	40m又は1施工箇所 に1回〔据付後〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	12 電線 共同溝	5 電線 共同溝工	4		現場打ちボックス工 (特殊部)	厚さ 内空幅 内空高	40m又は1施工箇所 に1回〔型枠取外し後〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	12 電線 共同溝	6 付帯 設備工	2		ハンドホール工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所各1枚	
10 道路編	14 道路 維持	4 舗装 工	5		切削オーバーレイ工	切削工の幅、延長 厚さ オーバーレイ工の 平坦性、タック コート、切り取りコ ア厚さ、整正状況	3.2.6.15切削工、 3.2.6.17オーバーレイ工 に準ずる	代表箇所各1枚	
10 道路編	14 道路 維持	4 舗装 工	7		路上再生工	敷均厚 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎、測定基準箇所に 準ずる〔整正後〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表  
 【第10編道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
10 道路編	14 道路維持	4 舗装工	11		グルーピング工	出来ばえ	施工日に1回 (施工前後)	代表箇所各1枚	
10 道路編	16 道路修繕	3 工場製作工	4		桁補強材製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所各1枚	
						製作状況	適宜〔製作中〕		
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕		
10 道路編	16 道路修繕	22 橋梁付属物工	4		落橋防止装置工	長さ、径、材質	1橋に1回又は1工事に1回 〔材料搬入時〕	代表箇所各1枚	
						出来ばえ	適宜〔施工中〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第11編公園緑地編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要	
						撮影項目		撮影頻度〔時期〕		提出頻度
11 公園 緑地 編	2 植栽	3 植栽 工	3 高木 植栽 工	1 2 3	高木植栽 高木植栽 (支柱有・幹巻有) 高木植栽 (支柱有・幹巻無)	①植穴	径 深さ	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕	適宜	
						②樹木	施工状況	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕	適宜	
						③支柱	施工状況	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕	適宜	
						④客土 ⑤肥料 ⑥土壌 改良材 ⑦幹巻	施工状況 材料の 使用量 (空袋) 施工状況	樹種別、規格別に1回 〔施工中、施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	2 植栽	3 植栽 工	4 中低 木植 栽工	1 2 3	中低木植栽 中低木植栽 (支柱無) 中低木植栽 (支柱有)	①樹木	施工状況	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕	適宜	
						②支柱	施工状況	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕	適宜	
						③客土 ④肥料 ⑤土壌 改良材	施工状況 材料の 使用量 (空袋)	樹種別、規格別に1回 〔施工中、施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	2 植栽	3 植栽 工	6 地 被 類 植 栽 工	1	地被類植栽	①樹木	施工状況	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕	適宜	
						③客土 ④肥料 ⑤土壌 改良材	施工状況 材料の 使用量 (空袋)	樹種別、規格別に1回 〔施工中、施工後〕	適宜	
11 公園 緑地 編	3 施 設 整 備	7 園 路 広 場 整 備 工	10 土 系 舗 装 工	1	土系舗装	路盤工	敷均し厚 転圧状況	各層毎100mに1回 又は施工面積1000m <sup>2</sup> 毎 に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
							整正状況	各層毎100mに1回 又は施工面積1000m <sup>2</sup> 毎 に1回 〔整正後〕		
							厚さ	各層毎80mに1回 又は施工面積1000m <sup>2</sup> 毎 に1回 〔整正後〕		
							幅	各層毎20mに1回 又は施工面積1000m <sup>2</sup> 毎 に1回 〔整正後〕		
						表層工	整正(施 工)状況	各層毎100mに1回 又は施工面積1000m <sup>2</sup> 毎 に1回 〔整正後〕		

## 【第11編公園緑地編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11 公園 緑地 編	3 施設 整備	9 遊 戯 施 設 整 備 工	3 遊 具 組 立 設 置 工	1	ブランコ	設置高さ	1回／1基 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
				2	ジャングルジム	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回（施工前は必要に 応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕		
				3	滑台			基礎高 基礎幅 根入れ長	
	5	鉄棒	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回（施工前は必要に 応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕					
	6	ラダー			基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回（施工前は必要に 応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕			
	7	はん登棒	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回（施工前は必要に 応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕					
	8	スプリング遊具			基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回（施工前は必要に 応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕			
	9	複合遊具	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回（施工前は必要に 応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕					
	11	健康器具			基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回（施工前は必要に 応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕			
			4 小規模 現場 打遊 具工	1			砂場	厚さ 幅 高さ 施工状況	1 施工箇所に1回 〔施工前〕 〔施工後〕
	10 サー ビス 施設 工	4 水 飲 み 場 工	1	1	水飲み場	設置高さ	1回／1基 〔施工後〕	適宜	
							基礎高 基礎幅 根入れ長		基礎タイプ毎5箇所 に1回（施工前は必要に 応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕
			5 テ ー ブ ル ・ ベ ン チ 工	1	ベンチ	設置高さ	1回／1基 〔施工後〕	適宜	
			2	縁台	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回（施工前は必要に 応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕			
			3	テーブル			基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回（施工前は必要に 応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕	
			4	スツール	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回（施工前は必要に 応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕			
			5	野外卓			基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回（施工前は必要に 応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕	



出来形管理写真撮影箇所一覧表  
 【第12編下水道編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
12	1	3	3		床掘	幅 深さ 土質	掘削中 掘削後	1 スパン 1 箇所	開削工 立 坑
12	1	3	3		埋戻	資材 厚さ 締め固め	施工中 施工後	1 スパン 1 箇所	開削工 立 坑
12	1	3	4		管布設	布設状況	布設中 布設後	1 スパン 1 箇所	開削工 立 坑
12	1	3	5		管基礎工	幅 厚さ	施工中 施工後	1 スパン 1 箇所	開削工 立 坑
12	1	3	7		土留工	種別 矢板長 打込方法 設置状況 引抜方法	施工前 施工中 施工後	1 スパン 1 箇所	開削工 立 坑
12	1	3	11		水替	ポンプ等の設置 状況	設置後	2 スパン 1 箇所	開削工 立 坑
12	1	7	マンホール工		マンホール基礎工	幅 厚さ 配筋状況	施工中 施工後	全個数	開削工 立 坑
					組立・小型・円形 マンホール工	据付状況	施工中 施工後	全個数	開削工 立 坑
	1	8	特殊マンホール工		特殊マンホール工	内法寸法 型枠状況 配筋状況	施工中 施工後	全個数	開削工 立 坑
12	1	9	4		柵	布設状況 設置状況	施工中	種別毎、1 スパ ンに 1 個以上	開削工 立 坑

出来形管理写真撮影箇所一覧表  
 【第12編下水道編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
12 下水道編	1 管路	9 取付管及び 柵設置工	5 取付管工		取付管	布設状況 設置状況	施工中	1 スパンに1 箇所以上	開削工 立 坑
12 下水道編	1 管路	4 管渠工（小口径推進）	3 推進工		掘削	地山状態	施工中	地質が変わる毎に1回	全ての推進工に適用
12 下水道編	1 管路	4 管渠工（小口径推進）	3 推進工		推進工	推進状況	施工中	1 施工単位に1 箇所	全ての推進工に適用
12 下水道編	1 管路	4 管渠工（小口径推進）	3 推進工		グラウト	材料使用量	使用前後	全数量	全ての推進工に適用

出来形管理写真撮影箇所一覧表  
 【第13編上水道編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
1 3 上 水 道 編	1 上 水 道				掘削(床掘)工	幅、深さ及び土質	測点毎1箇所及び変化点〔施工中・後〕	測点間に2箇所	
					土留矢板工(建込)	使用材料、形状寸法及び設置状況	50m程度に1箇所〔施工前・後〕	工種毎代表1枚及び設置延長	
					残土処理工	土捨場及び施工状況	1工事に1箇所〔施工中〕	代表箇所各1枚	
					水替工	ポンプ等の設置状況	1工事に1箇所〔施工中〕	不要	
					埋戻工	材質、層厚	測点毎1箇所及び変化点〔施工後〕	測点間に2箇所	
					管弁類運搬工	積み下ろし及び保管状況	1工事に1箇所〔施工中・後〕	不要	
					管布設工	土被り(深度)	測点及び土被りの変化点〔施工後〕	測点間に2箇所	
					既設管連絡	接続状況	全箇所〔施工前・後〕	不要	
					鉄管防食用ポリエチレンスリーブ被覆工	被覆状況	50m程度に1箇所〔施工後〕	種別毎代表1枚	
					管明示工	設置状況	50m程度に1箇所〔施工後〕	種別毎代表1枚	
					水圧試験または通水状況	作業状況	〔施工中〕	指定範囲(箇所)	
					給水工	埋設管深度 施工状況	10箇所毎に1箇所 分水コア、スリーブについては全箇所 〔施工中・後〕	種別毎代表1枚	
					弁室築造工	支給品～設置状況 現場打～寸法及び施工状況	全箇所 〔施工前・後〕	不要	
					異形管防護(コンクリート)工	幅、長さ、高さ及びコンクリートの打設状況	全箇所 〔施工中・後〕	全箇所 (検測写真のみ)	
					オフセット	構造物からの距離	起終点・IP点 〔施工後〕	起終点・IP点	
					継手工 (DCIP)	管切断状況	監督員の指示する箇所 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						防食塗装塗布	口径毎に50m程度に1箇所 〔施工中〕		
挿口部白線表示(φ700以下)	口径毎に50m程度に1箇所 〔施工後〕								
滑剤塗布	口径毎に50m程度に1箇所 〔施工中〕								
継手状況	口径毎に50m程度に1箇所 〔施工中〕								
締め付けトルク及び購入材料(形状寸法)	口径毎に50m程度に1箇所 〔施工中〕								
胴付間隔	口径毎に50m程度に1箇所 〔施工後〕								

撮影箇所一覧表  
 【その他】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
その他					舗装工関係	橋面防水工	塗布又は設置状況	1施工箇所1回 〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						トンネル関係	トンネル坑門工	厚さ、幅、高さ	1施工箇所1回 〔埋戻し前〕	代表箇所各1枚
					トンネル(矢板工法)		岩質	岩質の変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所各1枚	
							湧水状況	適宜〔掘削中〕		
							埋設支保工(建込間隔、寸法、基数)	40m又は1施工箇所1回 〔建込後〕		
							湧水処理工設置状況	全数量〔設置後〕		
					集水渠(幅、高さ、位置)		40m又は1施工箇所1回 〔設置後〕	代表箇所各1枚		
					地下排水工(管接合据付状況)					
					地下排水工(フィルター厚さ)		40m又は1施工箇所1回 〔投入前後〕	代表箇所各1枚		
					矢板設置状況		岩質の変わる毎に1回 〔設置後〕			
					グラウト材料使用量		全数量〔使用前〕			
					シールド	掘削の地山状態	地質の変化の毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所各1枚		
						セグメント組立状況	1工事に1回〔組立後〕			
						二次覆工(セグメント清掃状況)	1工事に1回〔清掃後〕			
						二次覆工の厚さ	1スパンに1回〔型枠取り外し後〕			
					アスファルト舗装	打換パッチング	施工日に1回 〔施工前後〕	代表箇所各1枚		
					コンクリート舗装	目地掃除	1,000㎡に1回 〔施工前後〕	代表箇所各1枚		
						目地充填	1,000㎡に1回 〔施工後〕			
						注入工、削孔状況(位置、間隔)	500㎡に1回 〔削孔後〕			
						注入工、注入圧	500㎡に1回 〔注入時〕			
						目地亀裂防止材、張付け状況	300㎡に1回 〔張付け後〕			
						局部打換、各層厚さ	各層毎100mに1回又は1施工箇所1回 〔施工前後〕			
					路肩、路側路盤工	厚さ	100mに1回又は1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚		

## 撮影箇所一覧表

【その他】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
その他					維持修繕工関係	道路除草	出来ばえ	500mに1回(1回刈毎) 〔施工前後〕	適宜	
						路肩整正	出来ばえ	500mに1回	適宜	
						新設、更新、 修理防護柵類	出来ばえ	1施工箇所に1回(施工 前は必要に応じて) 〔施工前後〕	適宜	
						新設、更新、 修理標識類	基礎幅、深さ、出 来ばえ	基礎タイプ毎5箇所に 1回(施工前は必要に 応じて)〔施工前 後〕	適宜	
						新設、更新、 修理照明灯	基礎幅、深さ、出 来ばえ	基礎タイプ毎5箇所に 1回(施工前は必要に 応じて)〔施工前 後〕	適宜	
						視線誘導標	出来ばえ	施工日に1回 〔施工後〕	適宜	
						清掃(路面、 標識、側溝、 集水柵)	出来ばえ	施工日に1回 〔施工前後〕	適宜	
						区画線路面表 示	出来ばえ	施工日に1回 〔施工前後〕	適宜	
							材料使用量	全数量 〔施工前後〕	適宜	
						街路樹植樹	出来ばえ	適宜 〔施工前後〕	適宜	
						街路樹補強補 植	出来ばえ	適宜 〔施工前後〕	適宜	
						街路樹剪力	出来ばえ	街路樹50本に1回、グ リーンベルト100mに1 回 〔施工前後〕	適宜	
						街路樹消毒、 施肥	出来ばえ	街路樹50本に1回、グ リーンベルト100mに1 回〔施工中〕	適宜	
							材料使用量	全数量 〔施工前後〕	適宜	
						街路樹雪囲	出来ばえ	適宜 〔施工後〕	適宜	
						排雪除雪	施工状況、機種	施工中に1回 〔施工中〕	適宜	
凍結防止剤散 布	出来ばえ	施工中に1回 〔施工中〕	適宜							
	材料使用量	全数量 〔施工前後〕	適宜							

撮影箇所一覧表

【その他】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
その他				維持修繕工関係	河川除草	出来ばえ	1kmに1回(1回刈毎) 〔施工前後〕	適宜		
					応急処置	処理の状況	その都度	適宜		
					鉄筋・無筋コンクリート関係	配筋	位置、間隔、継手寸法	打設ロット毎に1回又は1施工箇所に1回〔組立後〕	適宜	
					コンクリート打般	打継目処理、締固施工状況	工種種別毎に1回〔施工時〕	1施工ブロック各1枚		
					養生	養生状況	工種種別毎に1回、養生方法毎に1回〔養生時〕			